

# 人権問題に関する市民意識調査

## 【 報 告 書 】

平成 29(2017) 年 3 月

豊後大野市

# 豊後大野市におけるあらゆる差別をなくし人権を擁護する条例

平成17（2005）年7月19日

豊後大野市条例第279号

## （目的）

第1条 この条例は、すべての国民に基本的人権の享有を保障し、法の下での平等を定める日本国憲法並びに自由及び平等を定める世界人権宣言の基本理念に基づき、市及び市民の責務等に関し必要な事項を定めることにより、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護を図りもって平和な明るい地域社会の実現に寄与することを目的とする。

## （市の責務）

第2条 市は、前条の目的を達成するため、第4条に規定する施策の推進を図り、市民の人権意識の高揚及び人権の擁護に努めるものとする。

## （市民の責務）

第3条 市民は、相互に基本的人権を尊重し、あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する施策に協力するとともに、自らも差別及び差別を助長する行為をしないよう努めるものとする。

## （市の施策）

第4条 市は、あらゆる差別を撤廃し、人権を擁護するための教育、啓発及びそれらに必要な施策の推進に努めるものとする。

## （実態調査）

第5条 市は、前条に規定する施策の策定及び推進に反映させるため、必要に応じて実態調査等を行うものとする。

## （審議会）

第6条 市は、この条例の目的を達成するために必要な施策の推進に関する事項を審議するために、豊後大野市差別撤廃・人権擁護審議会（以下「審議会」という。）を置く。

2 前項の審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

## （委任）

第7条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

## 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## はじめに

「人権の世紀」といわれる21世紀に入って既に15年以上が経過しました。

しかし、いまだに様々な人権侵害が発生しています。特に最近では、いじめや体罰、児童虐待などといった子どもに関する人権問題、インターネット上の誹謗中傷、プライバシー侵害といった人権問題に加え、特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動がヘイトスピーチであるとして取り上げられ、差別意識を生じさせかねない言動として、社会的な関心を集めています。

このような人権をとりまく情勢の中、豊後大野市は、平成17（2005）年に「豊後大野市におけるあらゆる差別をなくし人権を擁護する条例」を制定し、平成18（2006）年12月には「豊後大野市人権教育・啓発基本計画」を策定して、人権尊重の理念の定着と人権感覚の豊かな社会を実現するため、あらゆる場、機会を通じて人権意識の高揚のための人権教育・啓発の施策を推進しているところです。

このほど、豊後大野市が推進してきた様々な取り組みの成果や課題を明らかにし、よりいっそう効果的なものにしていくための基礎的な資料を得ることを目的として、市制施行後3回目となる「人権問題に関する市民意識調査」を実施いたしました。

今回の調査で得た市民の皆様のお考えやご意見を、今後の基本計画に反映し、実効性のある人権施策を推進してまいりたいと考えております。

終わりに、調査の実施、報告書の作成にあたり、多大なご尽力、ご協力を賜りました市民の皆様や市民意識調査検討委員会委員の方々に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

平成29（2017）年3月

豊後大野市長 橋本祐輔

# 目 次

<b>第1部</b>	<b>調査の概要</b>	・・・ 1
<b>第2部</b>	<b>調査結果の分析</b>	・・・ 3
問 1	あなたの性別は	・・・ 3
問 2	あなたの年齢は	・・・ 4
問 3	あなたの身の回りでは、一般的に男女平等が実現していると思いますか	・・・ 6
問 4	女性の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか	・・・10
問 5	結婚、家庭、出産、子育てについて、あなたのお考えに近いのはどれでしょうか	・・・11
問 6	女性が社会のあらゆる分野で平等に活躍するために、早急に取り組んでほしいものは何ですか	・・・16
問 7	今の子どもがおかれている状況をどう感じているか、お答えください	・・・17
問 8	子どもの人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか	・・・20
問 9	近所の子どもが虐待を受けている事実を知った場合、どのような行動をとると思いますか	・・・21
問10	今の高齢者がおかれている状況をどう感じていますか	・・・22
問11	高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えますか	・・・25
問12	今の障がい者の人権が保障されていると思いますか	・・・26
問13	障がい者の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか	・・・29
問14	もし、あなたが、職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますか	・・・30
問15	同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですか	・・・32
問16	現在、同和問題(部落差別問題)が起こっている場面はどのようなときでしょうか	・・・34
問17	あなたの家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考えるでしょうか	・・・35
問18	同和問題(部落差別問題)をなくす方法について、あなたはどのように思いますか	・・・37
問19	学校で「人権・同和教育」が行われていますが、あなたはどのような考えですか	・・・38
問20	日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることを、どう思いますか	・・・40
問21	日本に住む外国人の人権を守るための意見について、あなたはどのように思いますか	・・・42
問22	職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、あなたはどうしますか	・・・43
問23	友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をしますか	・・・45
問24	インターネットによる人権侵害に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか	・・・47
問25	性的指向や性同一性障がいに関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか	・・・48
問26	日本には、いろいろ古くから言い伝えや考え方がありますが、あなたのお考えに近いものはどれですか	・・・49
問27	最近(2、3年)ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか	・・・53
問28	大分県や豊後大野市では、さまざまな人権啓発活動を実施していますが、このような啓発活動についてどの程度参加したことがありますか	・・・54
問29	人権問題の講演会や研修会に参加されたきっかけは何ですか	・・・58
問30	人権啓発に関する資料等を、あなたは見聞きしたことがありますか	・・・59
問31	人権問題で関心のあるものについて選んでください	・・・63
問32	人権のたいせつさを多くの人に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますか	・・・64
<b>第3部</b>	<b>調査結果のまとめと課題</b>	・・・65
<b>第4部</b>	<b>年代別自由回答集</b>	・・・71
<b>第5部</b>	<b>単純集計表</b>	・・・79
<b>第6部</b>	<b>参考資料(調査票)</b>	

---

# 第 1 部

## 調査の概要

---

## 1 調査の目的

本調査は、市民の様々な人権に関する意識の現状を調査・分析し、今後の人権施策のあり方や方向性等を考える基礎資料を得ることを目的に実施しました。

## 2 調査の対象

平成28年6月30日現在の豊後大野市民のうち、20歳以上の中から性別、年代別、地域別に人口構成比率に合わせて1,200人を無作為に抽出しました。

## 3 調査の内容

調査の内容については、第6部参考資料に「人権問題に関する市民意識調査」調査票を資料として掲載しています。

## 4 調査の方法

郵送による配布、回収。

## 5 調査の期間

平成28年8月1日(月)～平成28年8月31日(水)まで。

## 6 回収結果

調査票は1,200通配布し、561通の返信がありました。1,200通配布した調査票のうち8通があて先不明により不到達だったため、実質1,192通の配布となります。回収率は47.1%でした。

### 【内訳】

年代・性別		配布数	不到達数	回収数	回収率 (%)	年代別 回収率(%)
20歳代	男性	46	1	10	22.2	28.9
	女性	45	0	16	35.6	
30歳代	男性	62	0	14	22.6	28.7
	女性	60	0	21	35.0	
40歳代	男性	65	0	19	29.2	43.8
	女性	65	0	38	58.5	
50歳代	男性	78	1	31	40.3	52.2
	女性	84	0	53	63.1	
60歳代	男性	126	0	70	55.6	60.5
	女性	128	1	83	65.4	
70歳 以上	男性	168	1	80	47.9	44.5
	女性	273	4	113	42.0	
	不明			1		
不明 (無回答・無効)	女性			2		
	不明			10		
男性 計		545	3	224	41.3	
女性 計		655	5	326	50.2	
合 計		1,200	8	561	47.1	

## 7 その他

- (1) 集計グラフは、調査票回収数(561)を基数とした百分率(%)で表示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答を求めた設問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- (3) 回答がないもの、あるいは回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は「0.0」となり、図表に表記されていません。
- (4) 図表において、「N」は回答者数です。
- (5) 図表において、「不明」とは無回答またはどれを選択したか判断のつかなかったものことです。
- (6) 図表において、設問や選択肢を簡略化して表記している場合があります。

## 8 「人権問題に関する市民意識調査」検討委員及び検討委員会開催状況

### 【 検討委員 】

氏 名	所 属	備 考
安 藤 恒 美	豊後大野市人権問題研修講師	委員(座長)
三 宮 信 雄	豊後大野市人権問題研修講師	委員
足 立 完 治	豊後大野市人権問題研修講師	委員
神 田 幸 子	豊後大野市人権問題研修講師	委員
園 田 暢 子	豊後大野市人権問題研修講師	委員

### 【 検討委員会開催状況 】

- ・ 第1回検討委員会 調査項目の検討 平成28年 6月 9日
- ・ 第2回検討委員会 調査項目の検討及び決定 平成28年 6月21日
- ・ 第3回検討委員会 調査結果の分析 平成28年11月29日
- ・ 第4回検討委員会 調査結果の分析 平成28年12月13日
- ・ 第5回検討委員会 調査結果の分析 平成29年 1月17日
- ・ 第6回検討委員会 調査結果の分析・まとめ 平成29年 2月14日

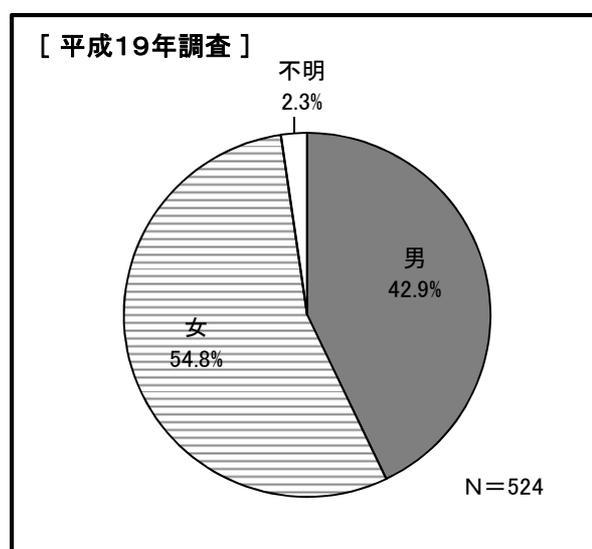
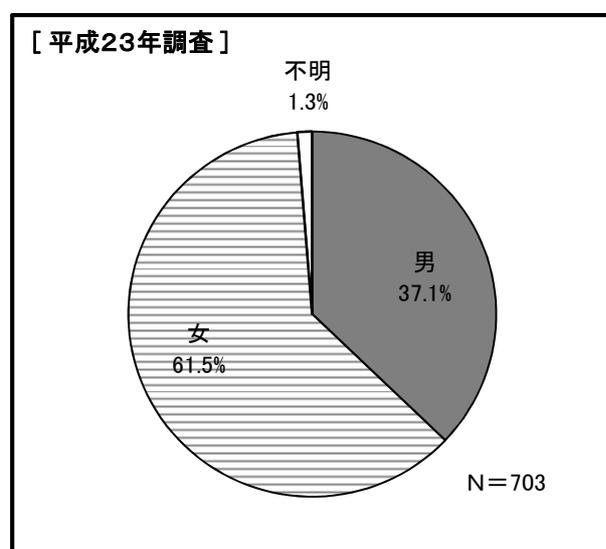
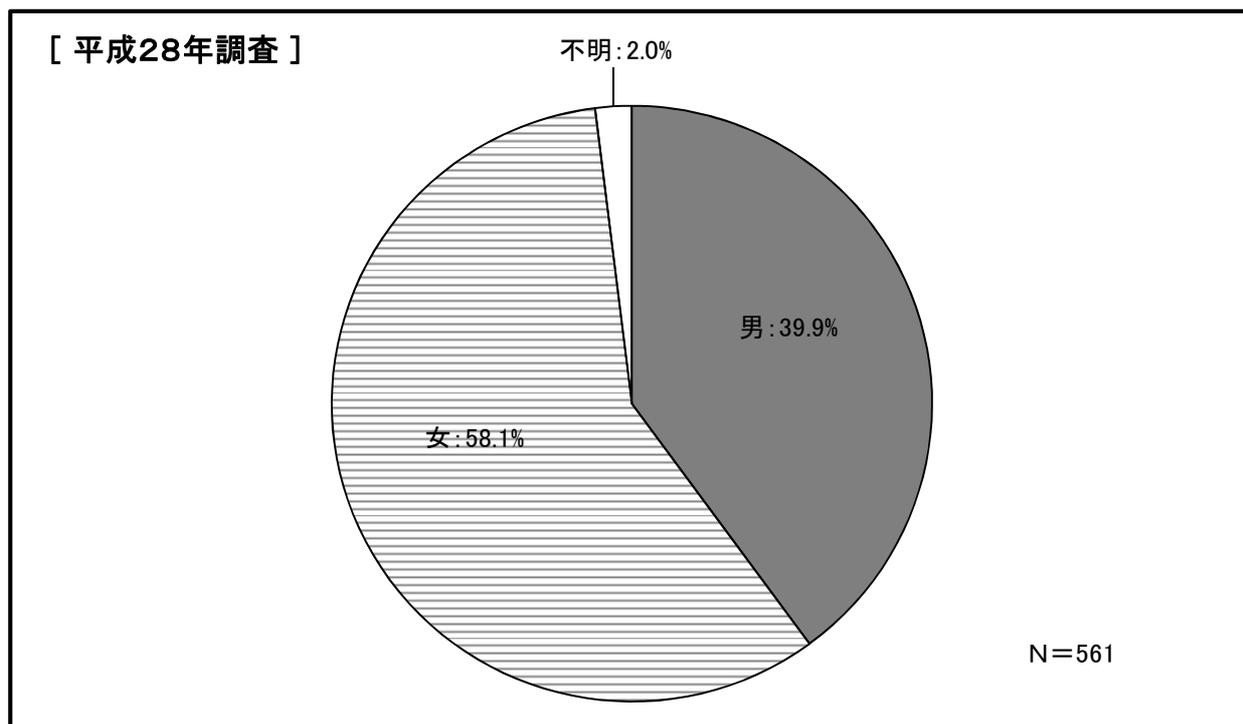
---

## 第 2 部

# 調査結果の分析

---

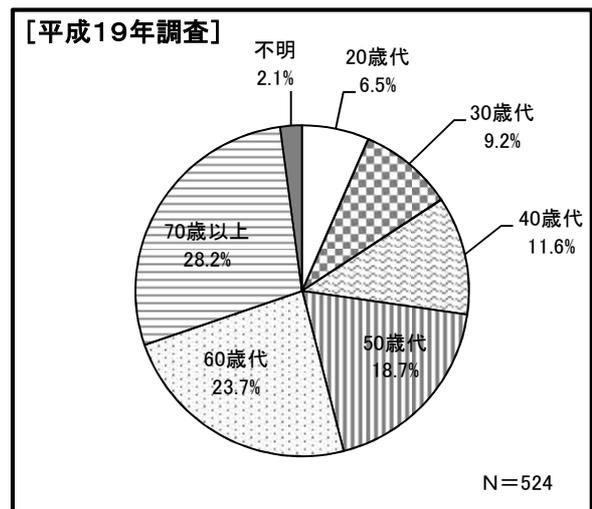
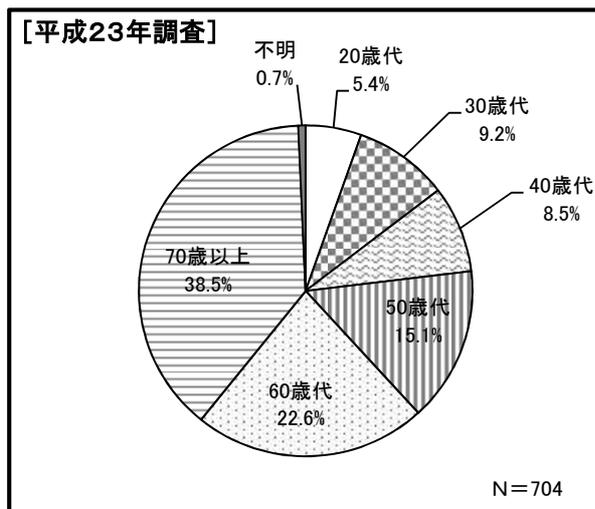
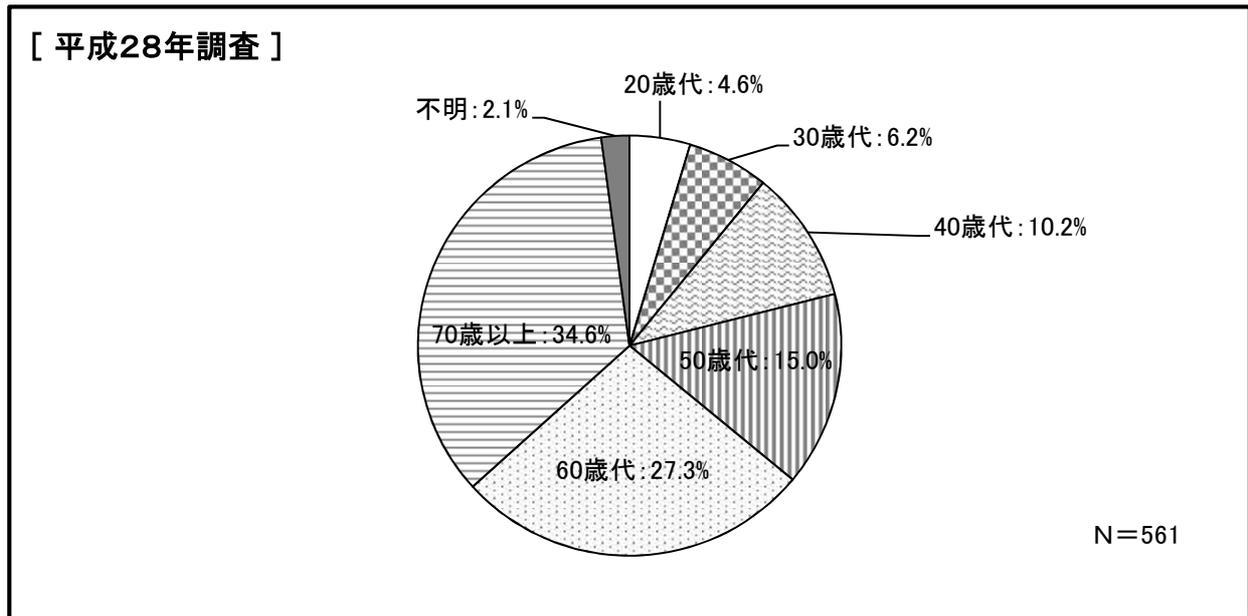
問1 あなたの性別は



男女別回答率は、「男性」が39.9%、「女性」が58.1%となっており、男性に比べ女性の方が回答者の割合が高くなっています。

前回(平成23年)調査と比べると、男性は増加し、女性は減少していますが、3回の調査とも女性の方が回答者の割合が高くなっています。

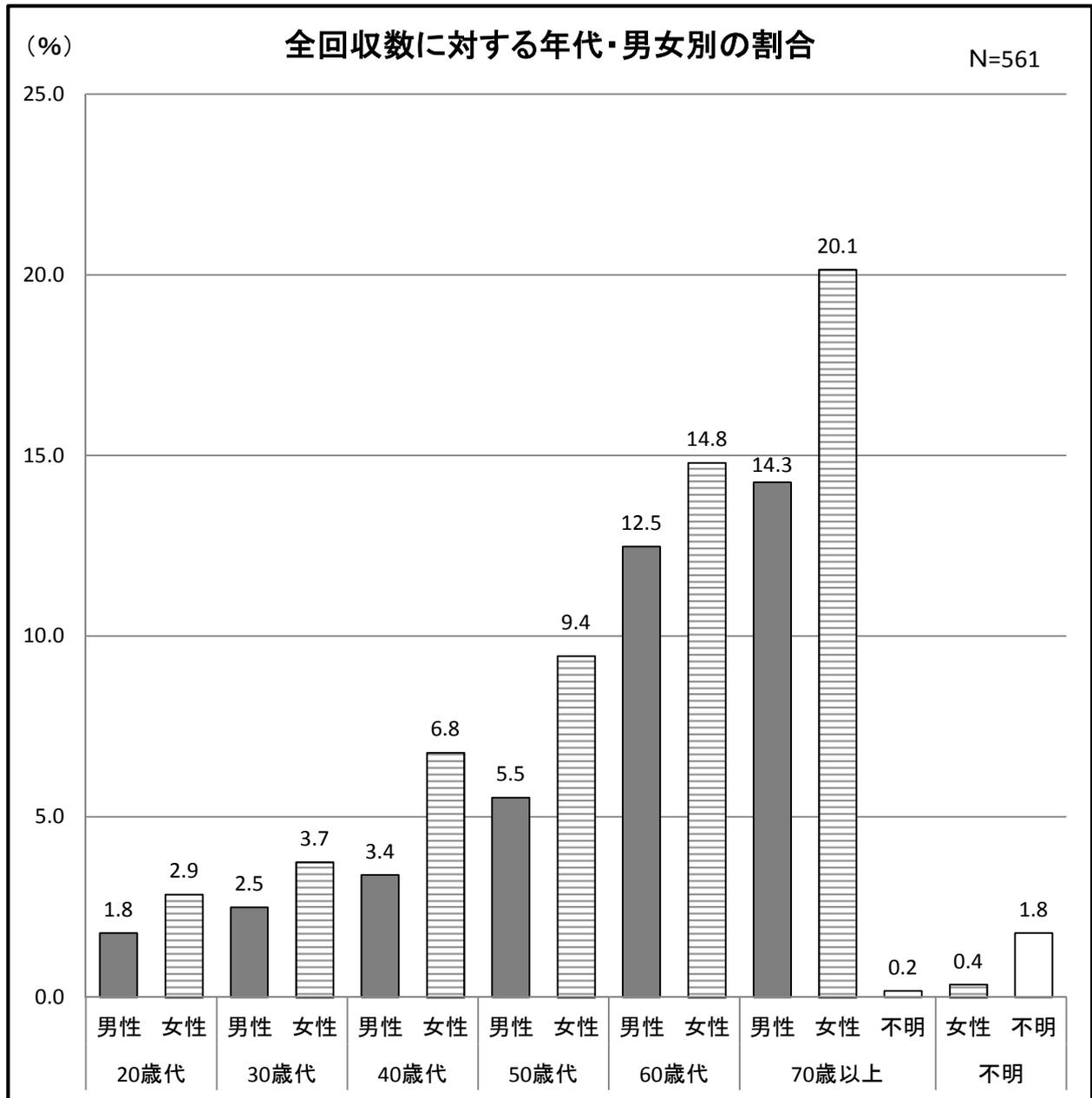
問2 あなたの年齢は(7月1日現在の満年齢)



年代別の回答率は、「70歳以上」と回答した人の割合が34.6%と最も高くなっています。年齢が低くなるに従って、回答者の割合が低くなり、「60歳代」27.3%、「50歳代」15.0%、「40歳代」10.2%、「30歳代」6.2%、「20歳代」4.6%となっています。

前回(平成23年)調査と比べると、「40歳代」及び「60歳代」と回答した人の割合が増加しています。

また、3回の調査とも「20歳代」及び「30歳代」の回答者が極端に少ない傾向にあります。



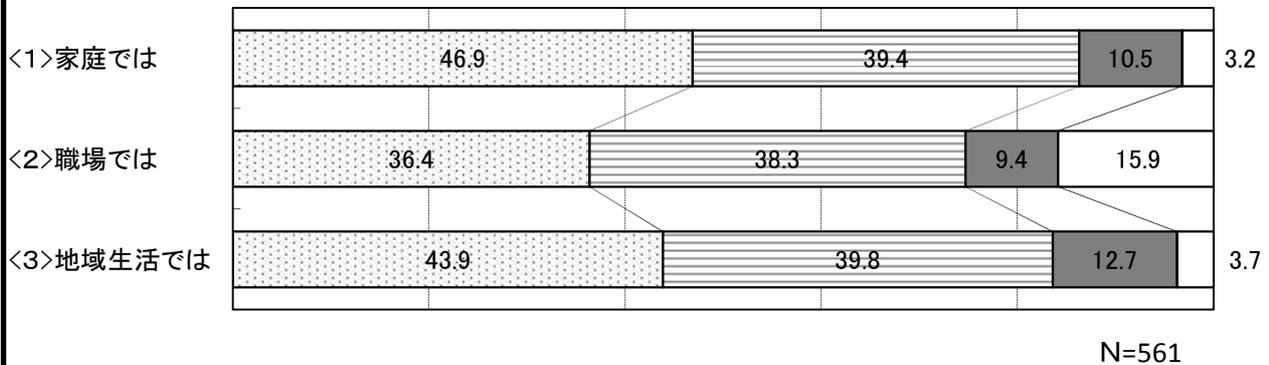
全回収数に対する年代・男女別の割合は、70歳以上の女性の割合が最も高く20.1%、20歳代の男性の割合が最も低く1.8%でした。

また、各年代とも男性より女性の方が割合が高くなっています。  
 前回(平成23年)調査と比べても、同様の傾向となっています。

問3 あなたの身の回りでは、一般的に男女平等が実現していると思いますか

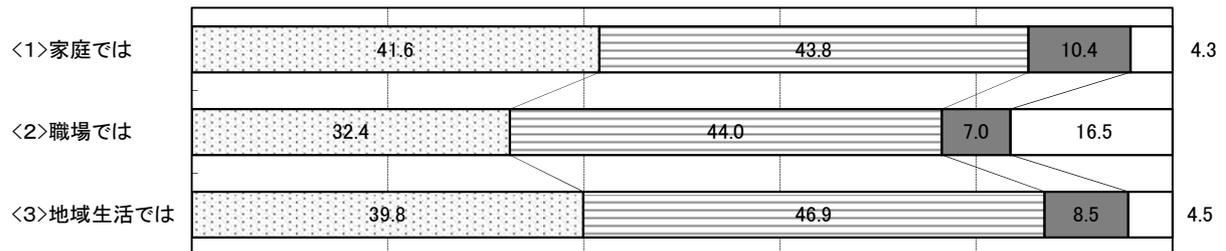
[平成28年調査]

□男女平等が実現していると思う □やや女性に不利益だと思う ■女性に不利益だと思う □不明



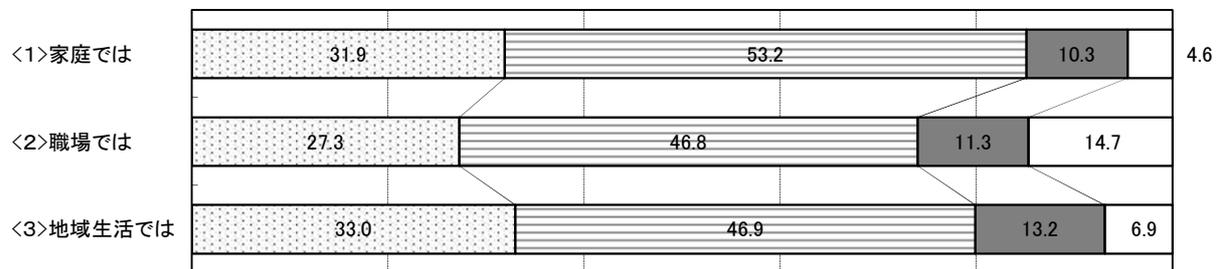
[平成23年調査]

□男女平等が実現していると思う □やや女性に不利益だと思う ■女性に不利益だと思う □不明



[平成19年調査]

□男女平等が実現していると思う □やや女性に不利益だと思う ■女性に不利益だと思う □不明



男女平等の実現状況は、「家庭では」46.9%、「職場では」36.4%、「地域生活では」43.9%の人が「実現していると思う」と回答しています。

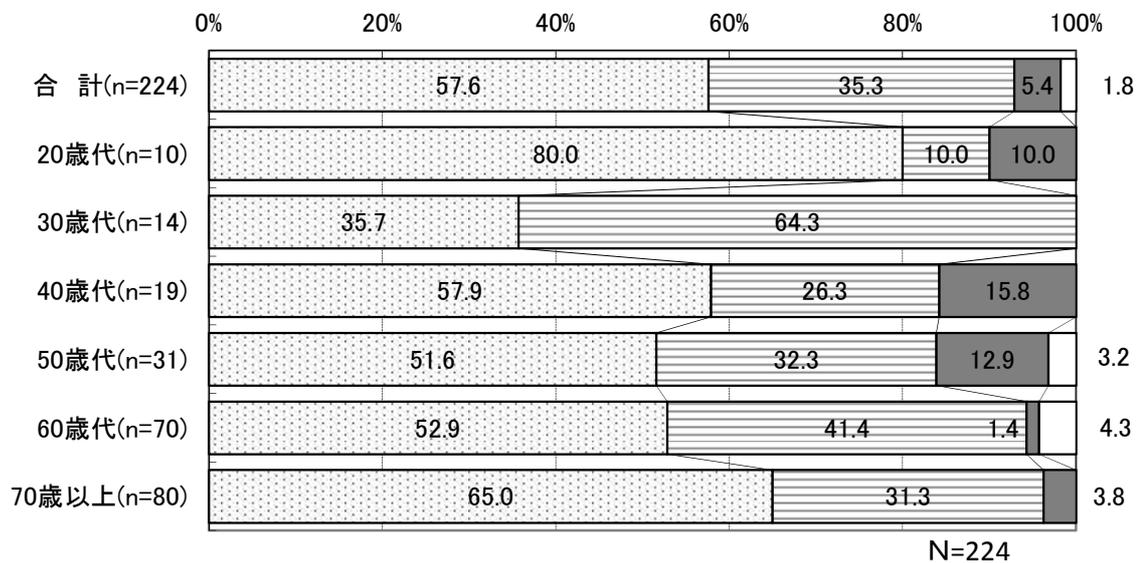
前回(平成23年)、前々回(平成19年)調査と比べると、「家庭」・「職場」・「地域生活」において、「実現していると思う」と回答した人の割合は、調査する度に増加しています。

問3 <1> 家庭では、どうだと思いますか

[平成28年調査]

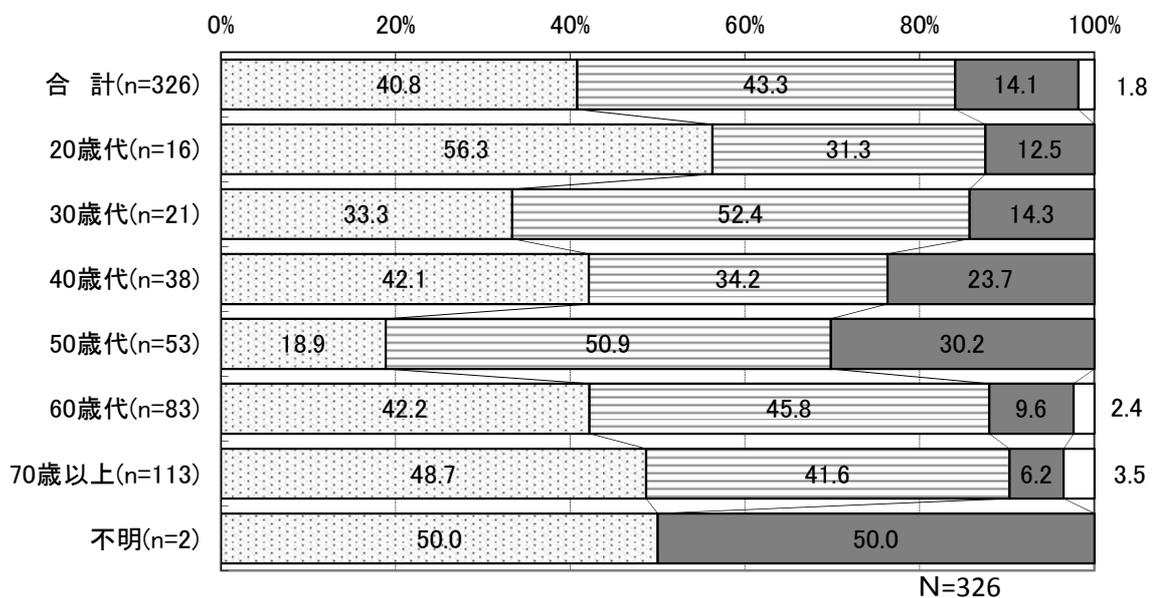
(男)

□男女平等が実現していると思う □やや女性に不利益だと思う ■女性に不利益だと思う □不明



(女)

□男女平等が実現していると思う □やや女性に不利益だと思う ■女性に不利益だと思う □不明



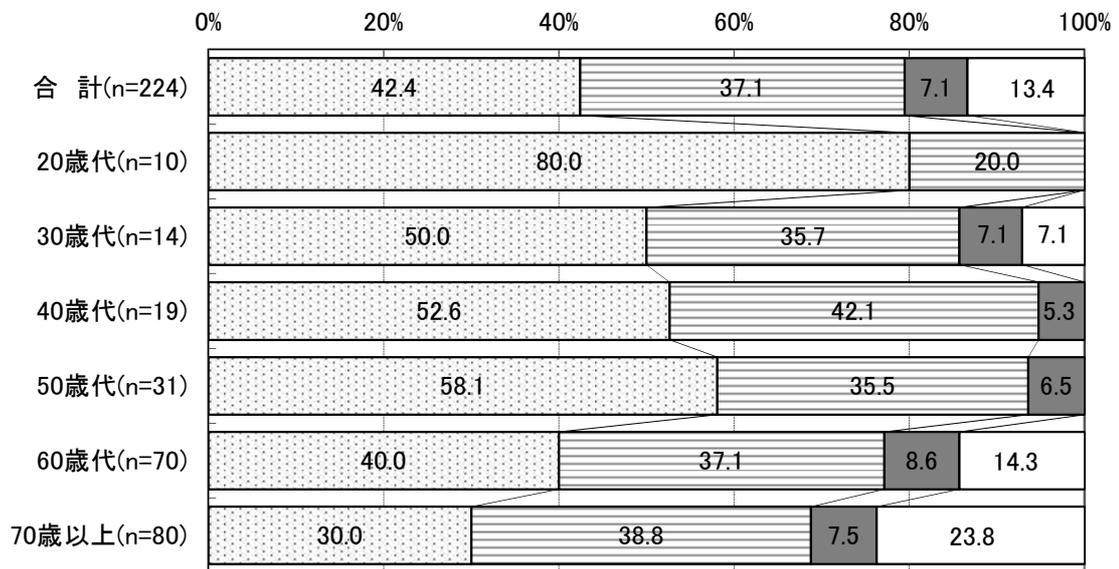
家庭での男女平等の実現状況を男女別にみると、「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合は、男性の57.6%に対し、女性は40.8%となっています。

また、男性では「20歳代」が80.0%、女性も「20歳代」が56.3%と「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合が、最も高くなっています。

問3 <2> 職場では、どうだと思いますか

(男)

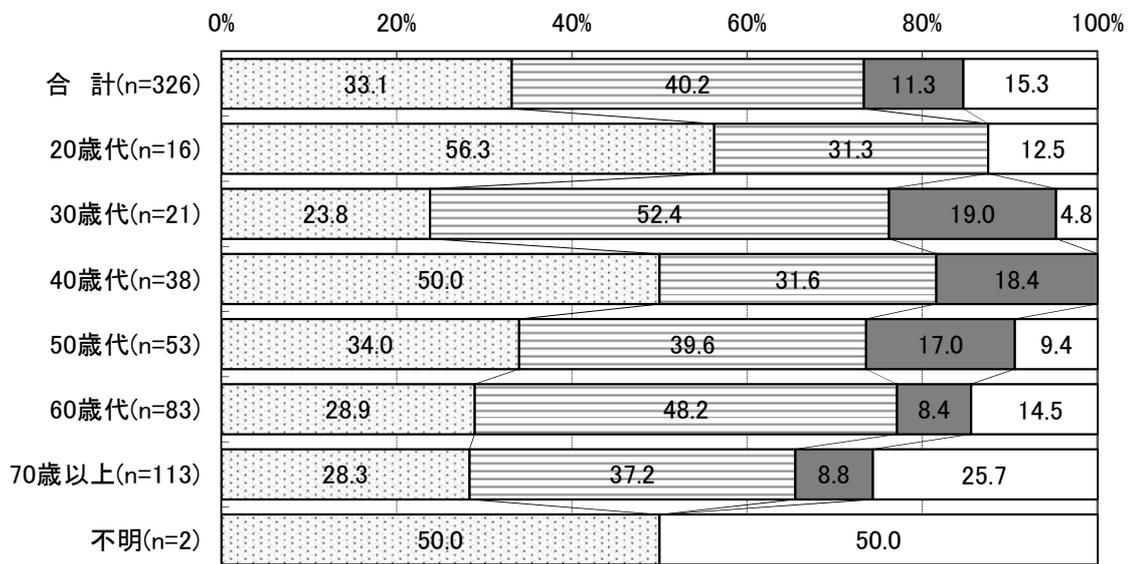
□男女平等が実現していると思う □やや女性に不利益だと思う ■女性に不利益だと思う □不明



N=224

(女)

□男女平等が実現していると思う □やや女性に不利益だと思う ■女性に不利益だと思う □不明



N=326

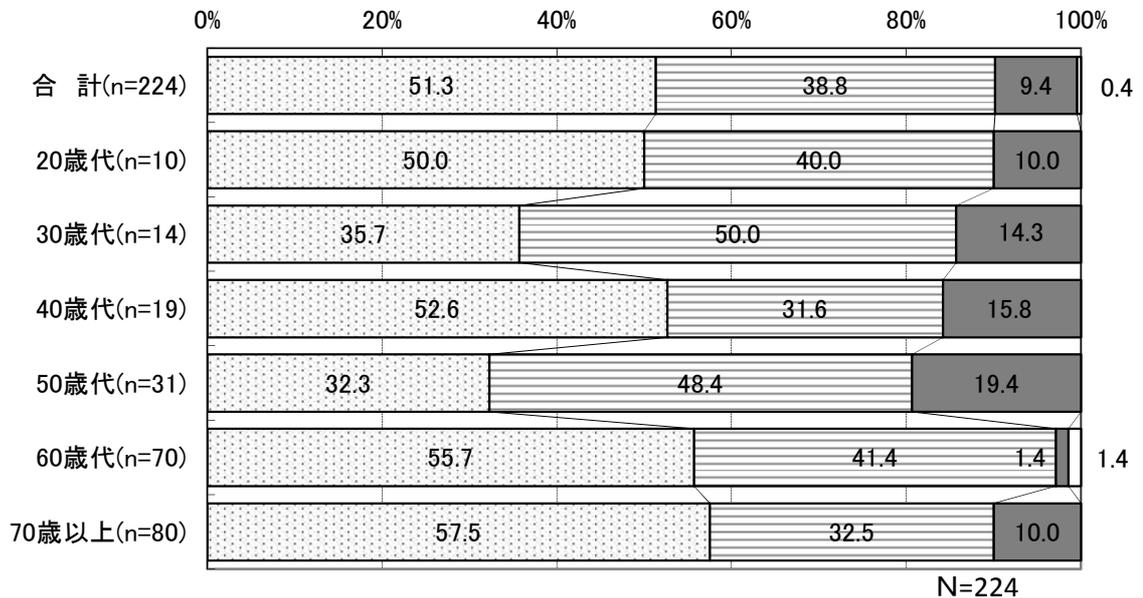
職場での男女平等の実現状況を男女別にみると、「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合は、男性の42.4%に対し、女性は33.1%となっています。

また、男性では「20歳代」が80.0%、女性も「20歳代」が56.3%と「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合が、最も高くなっています。

問3 <3> 地域生活(自治会活動など)では、どうだと思いますか

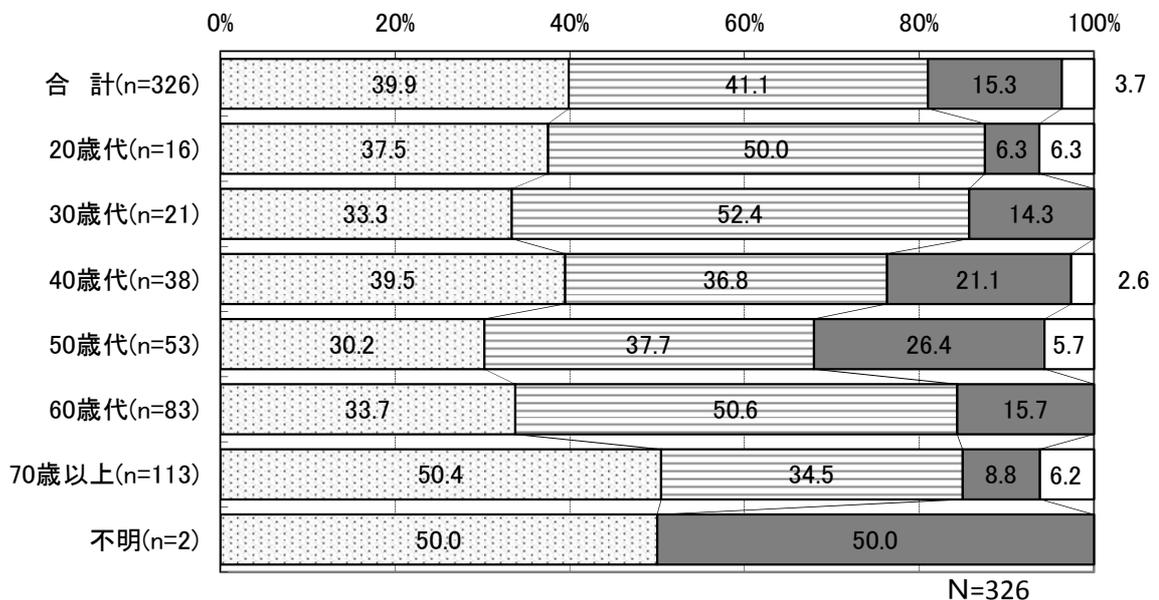
(男)

□男女平等が実現していると思う □やや女性に不利益だと思う ■女性に不利益だと思う □不明



(女)

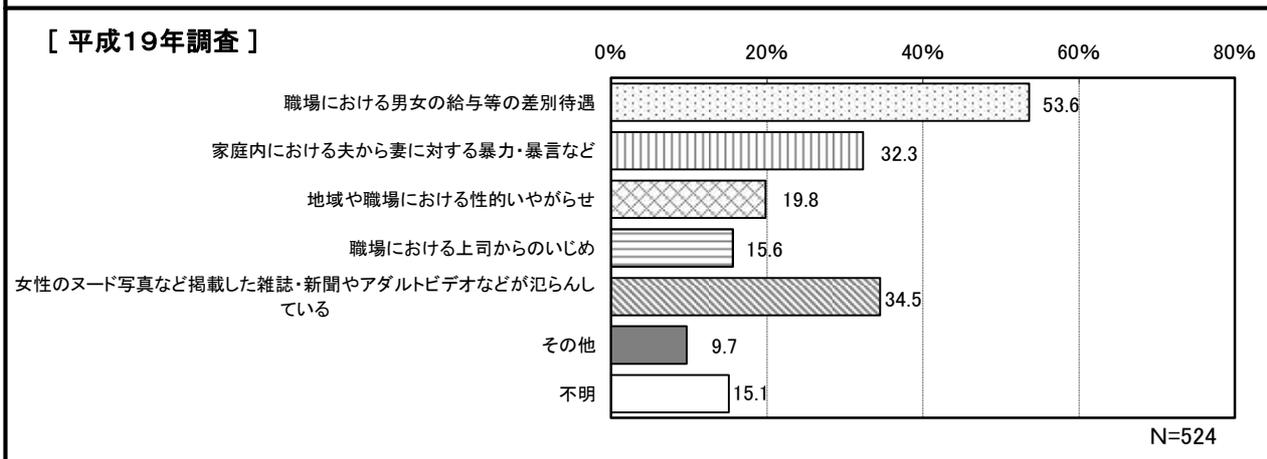
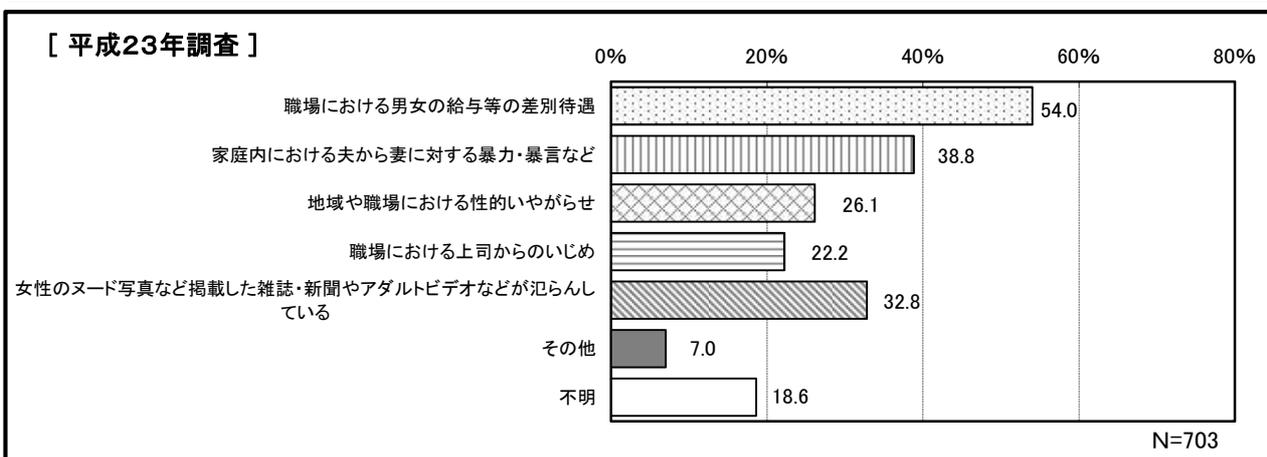
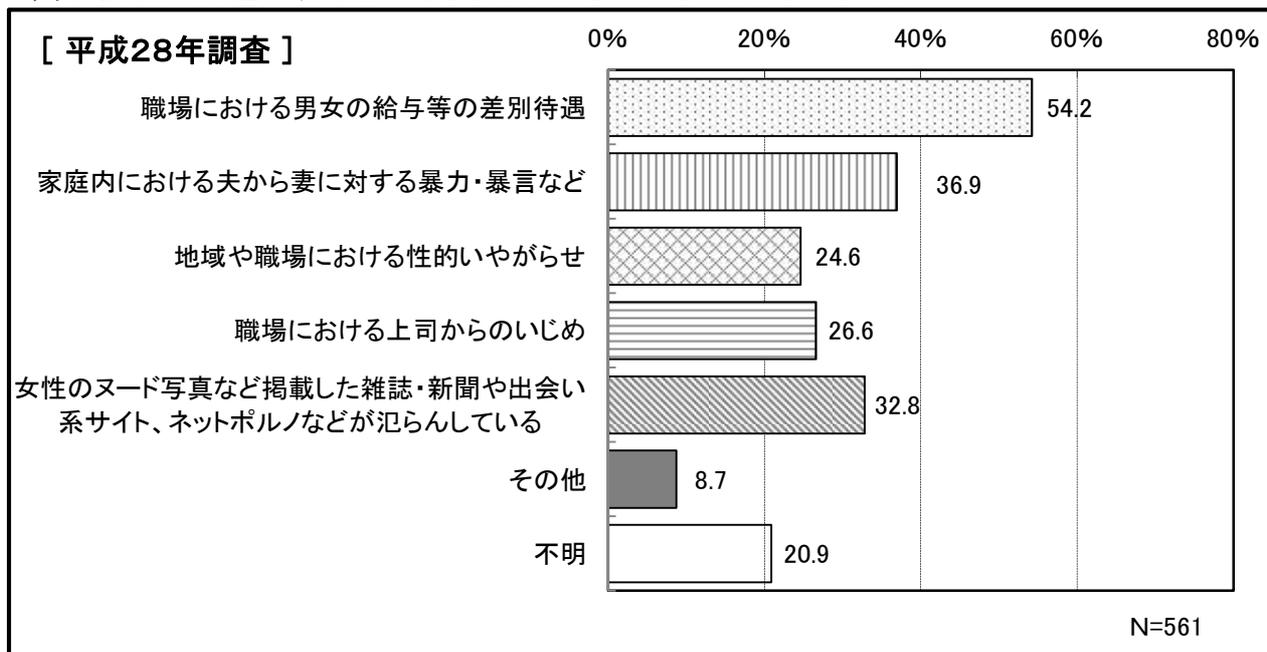
□男女平等が実現していると思う □やや女性に不利益だと思う ■女性に不利益だと思う □不明



地域生活での男女平等の実現状況を男女別にみると、「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合は、男性の51.3%に対し、女性は39.9%となっています。

また、男性では「70歳以上」が57.5%、女性も「70歳以上」が50.4%と「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合が、最も高くなっています。

#### 問4 女性の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか

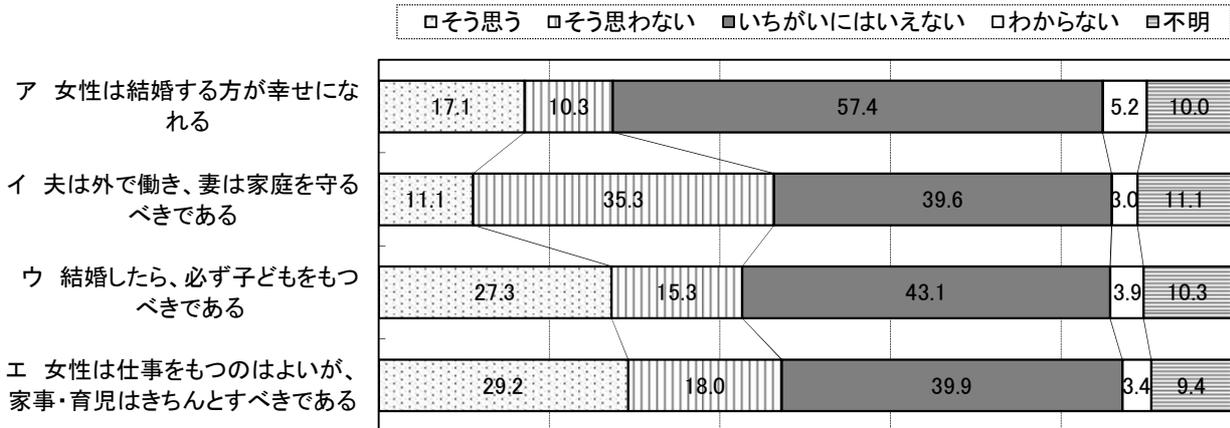


女性の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですかという質問について、「職場における男女の給与等の差別待遇」と回答した人の割合が最も高く54.2%でした。前回(平成23年)、前々回(平成19年)調査と同様の傾向となっています。

また、前回調査と比べると、「家庭内における夫から妻に対する暴力・暴言など」と回答した人は1.9%、「地域や職場における性的いやがらせ」と回答した人も1.5%減少しています。逆に「職場における上司からのいじめ」と回答した人は4.4%増加しています。

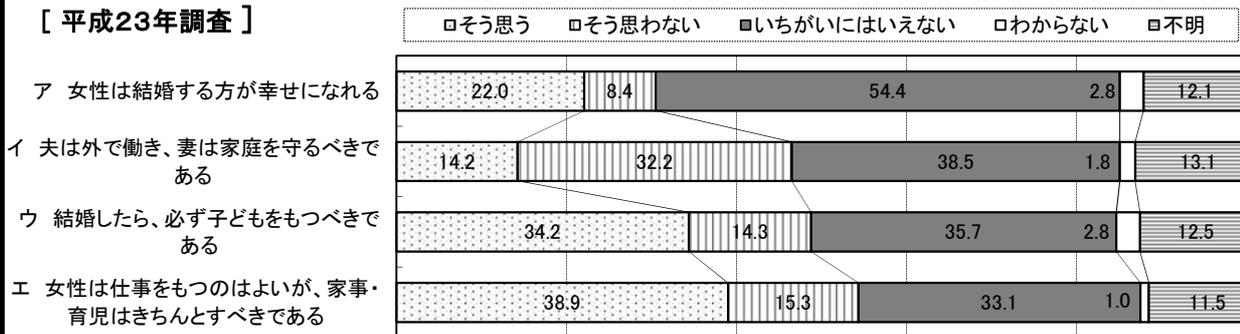
問5 結婚、家庭、出産、子育てについて、あなたのお考えに近いのはどれでしょうか

[平成28年調査]



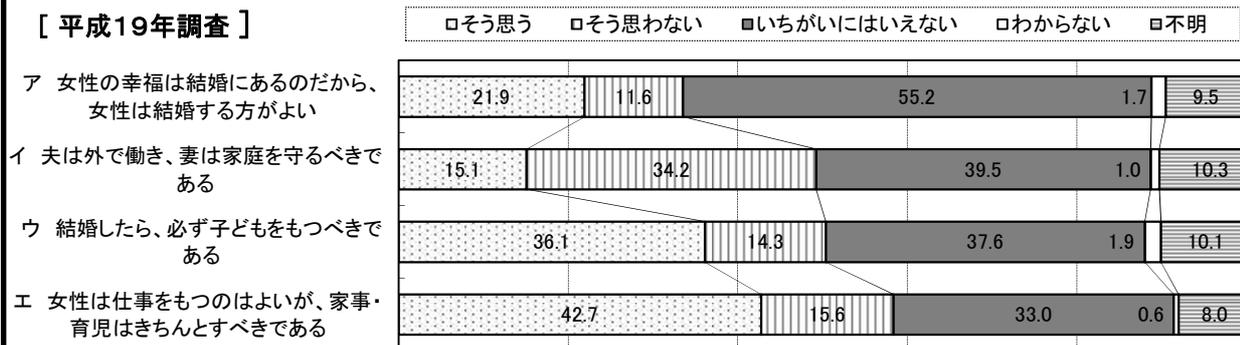
N=561

[平成23年調査]



N=704

[平成19年調査]



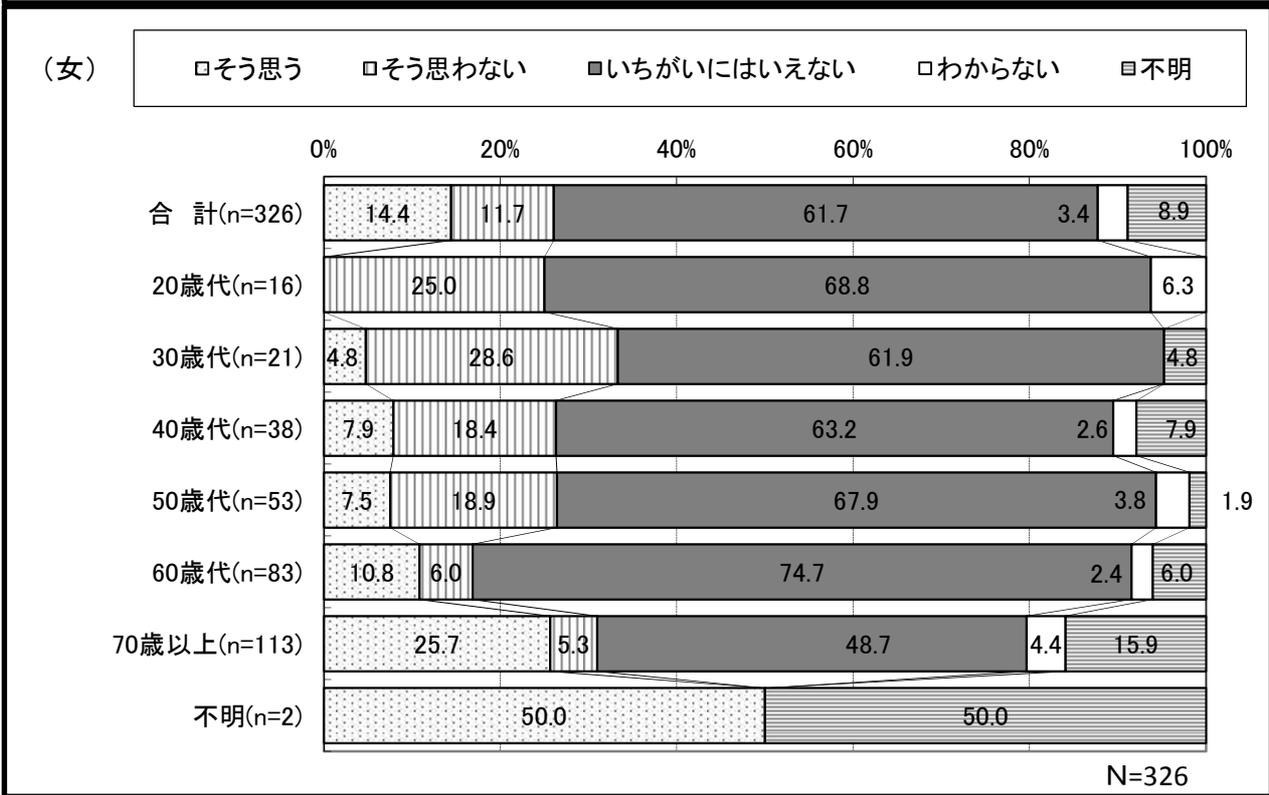
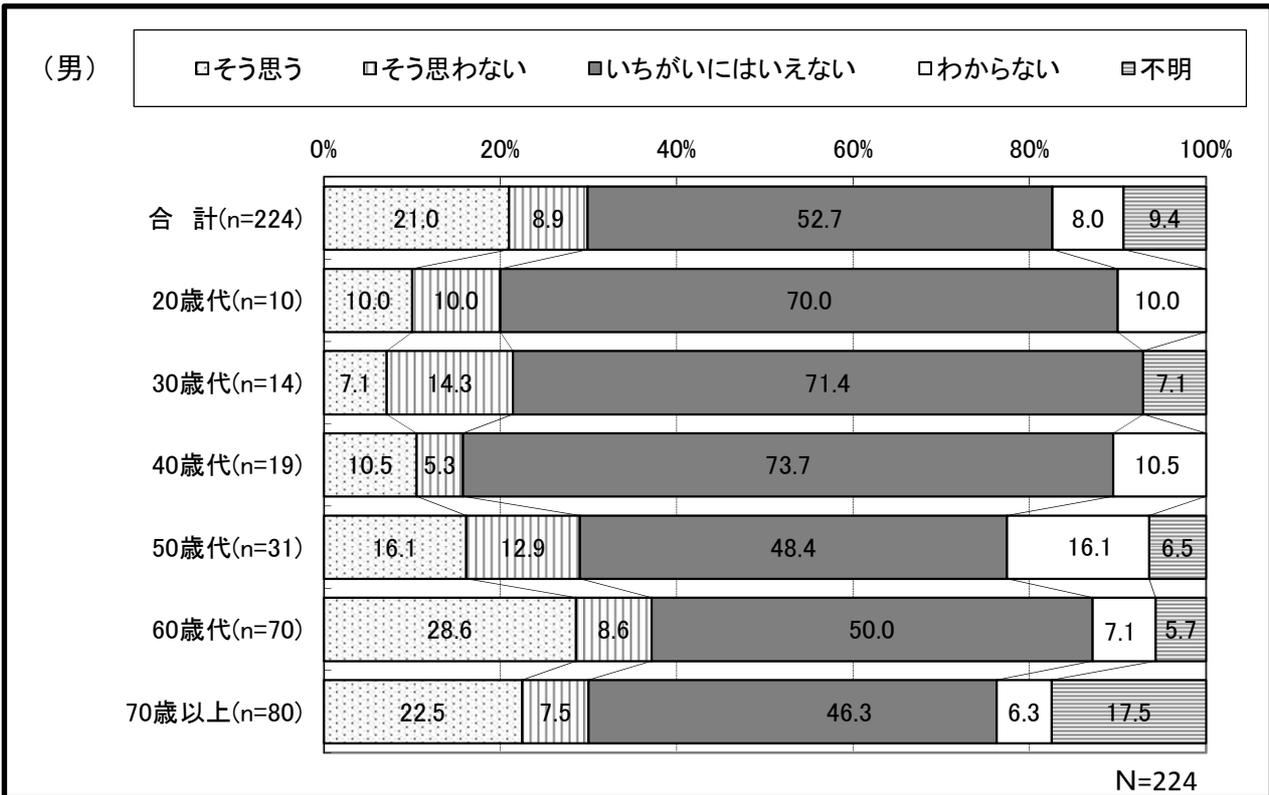
N=524

結婚、家庭、出産、子育てについて、あなたのお考えに近いのはどれでしょうかという質問に対して、ア～エの4項目とも「いちがいにはいえない」と回答した人の割合が最も高くなっています。

前回(平成23年)調査と比べると、ア～エの4項目とも「そう思う」と回答した人の割合は減少し、「そう思わない」、「いちがいにはいえない」と回答した人の割合が増加しています。

特に前回、前々回調査では「女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである」との考えに対して「そう思う」と回答した人の割合が最も高かったが、今回の調査では「いちがいにはいえない」と回答した人の割合が39.9%で最も高くなっています。

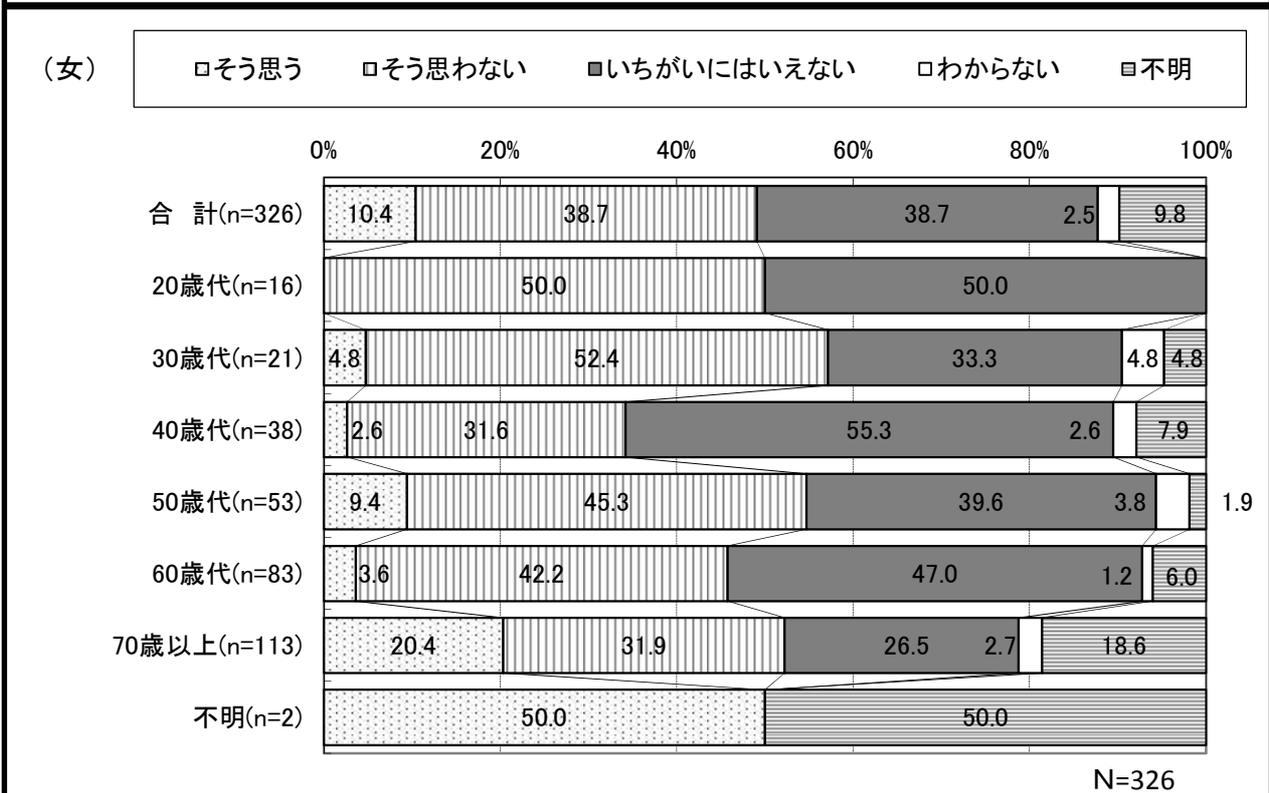
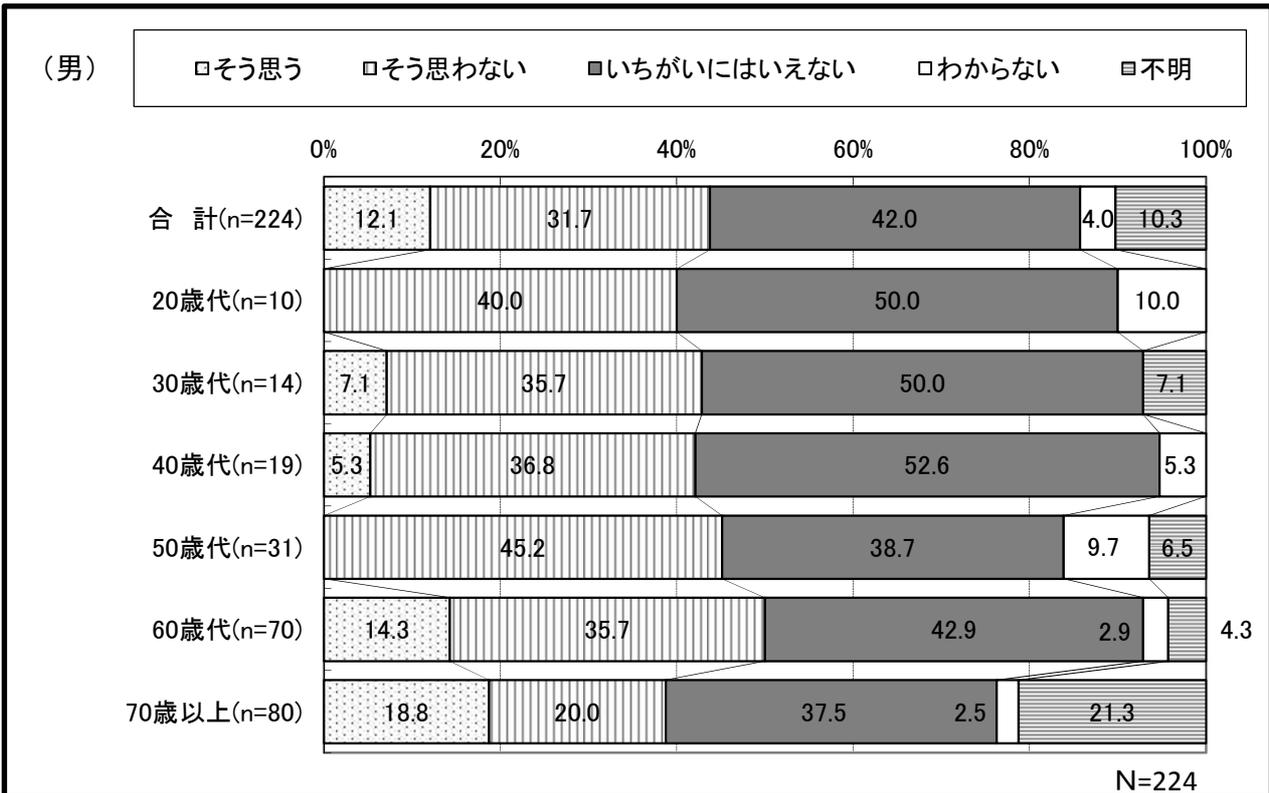
問5 ア 女性は結婚する方が幸せになれる



「女性は結婚する方が幸せになれる」という考えについて男女別にみると、「そう思う」と回答した人の割合は、男性の21.0%に対し、女性は14.4%となっています。

また、「そう思う」と回答した人の割合が、男性は「60歳代」が28.6%、女性は「70歳以上」が25.7%と最も高くなっています。70歳以上を除き各年代とも、女性より男性の方が「そう思う」と回答した人の割合が高くなっています。

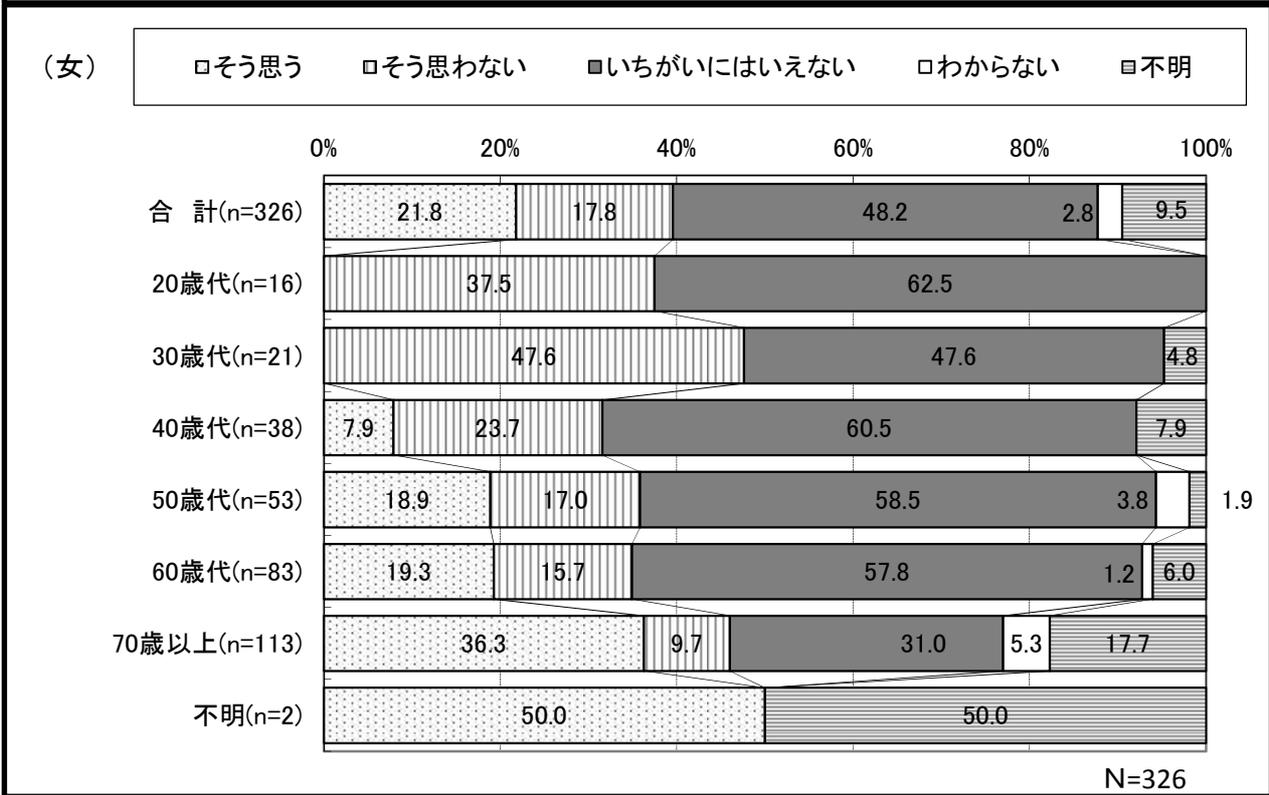
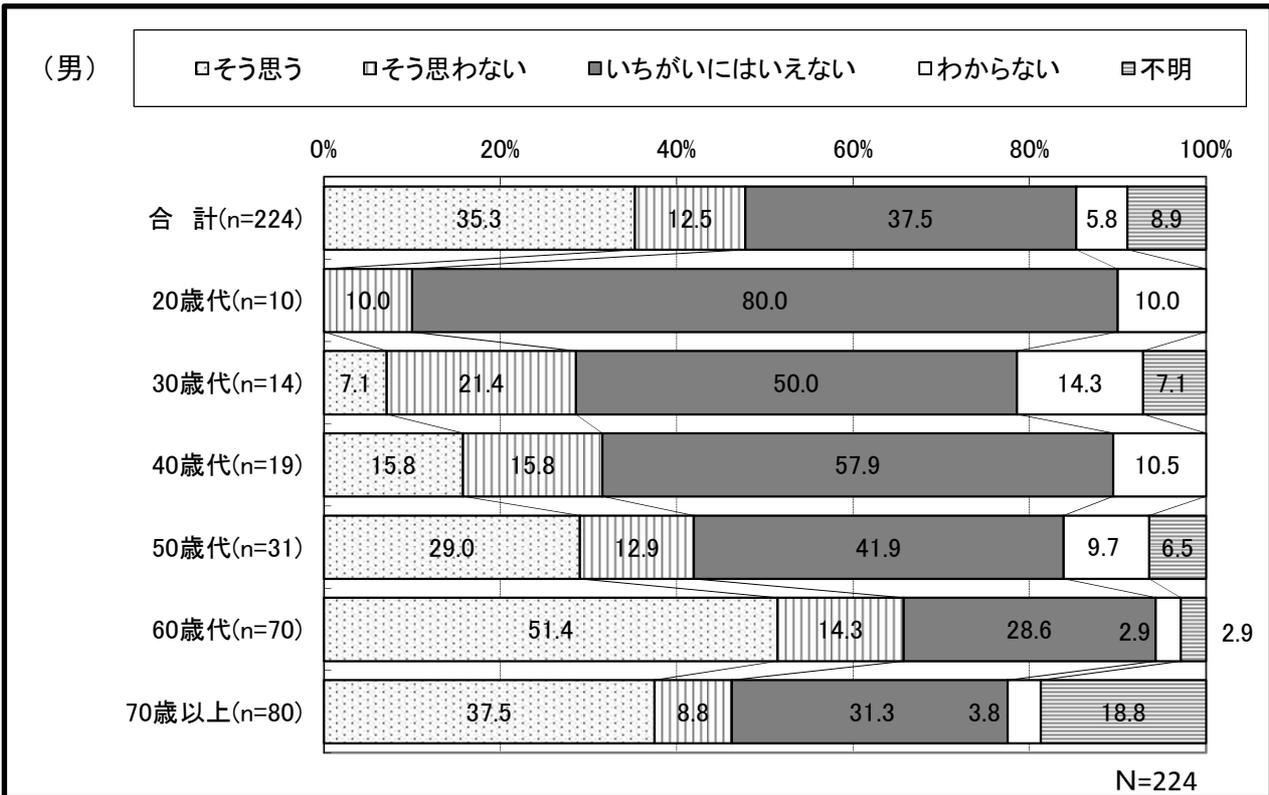
問5 イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えについて男女別にみると、「そう思う」と回答した人の割合は、男性の12.1%に対し、女性は10.4%となっています。

また、「そう思う」と回答した人の割合が、男性は「70歳以上」が18.8%、女性も「70歳以上」が20.4%と最も高くなっています。

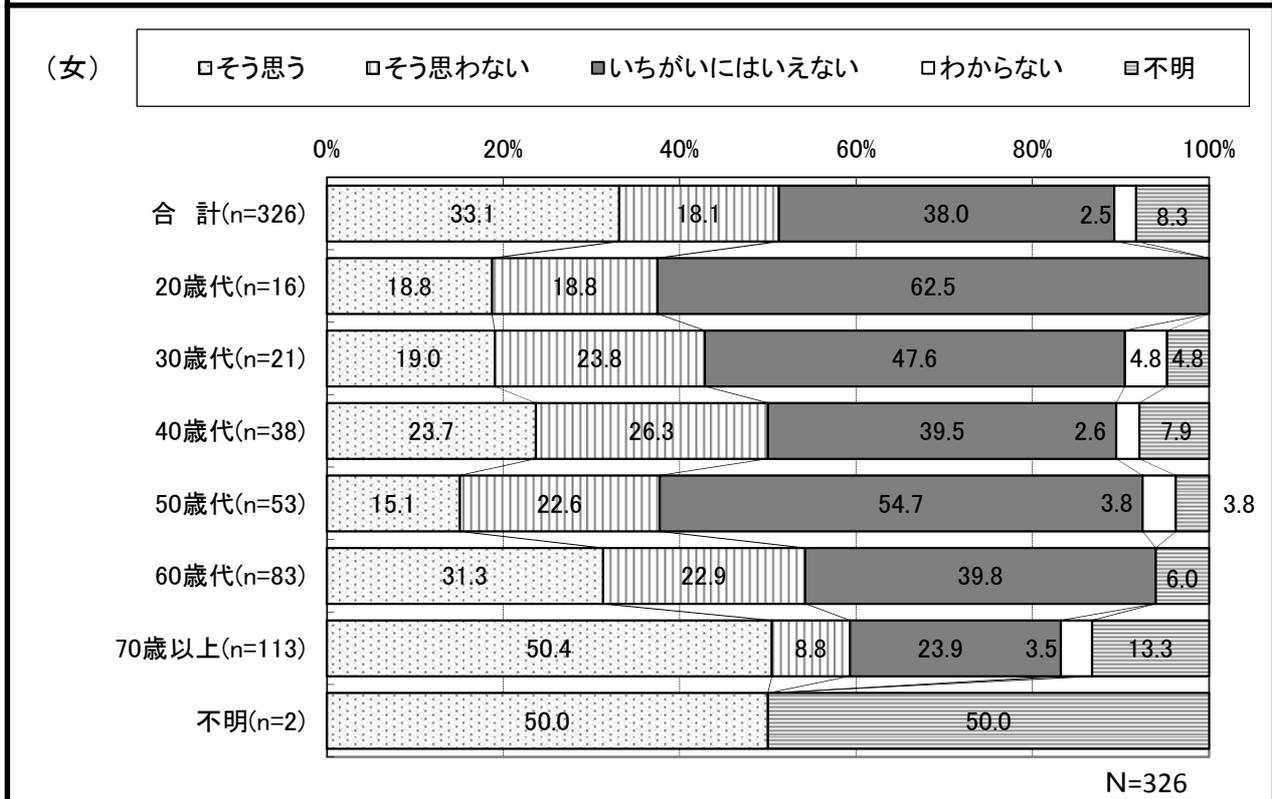
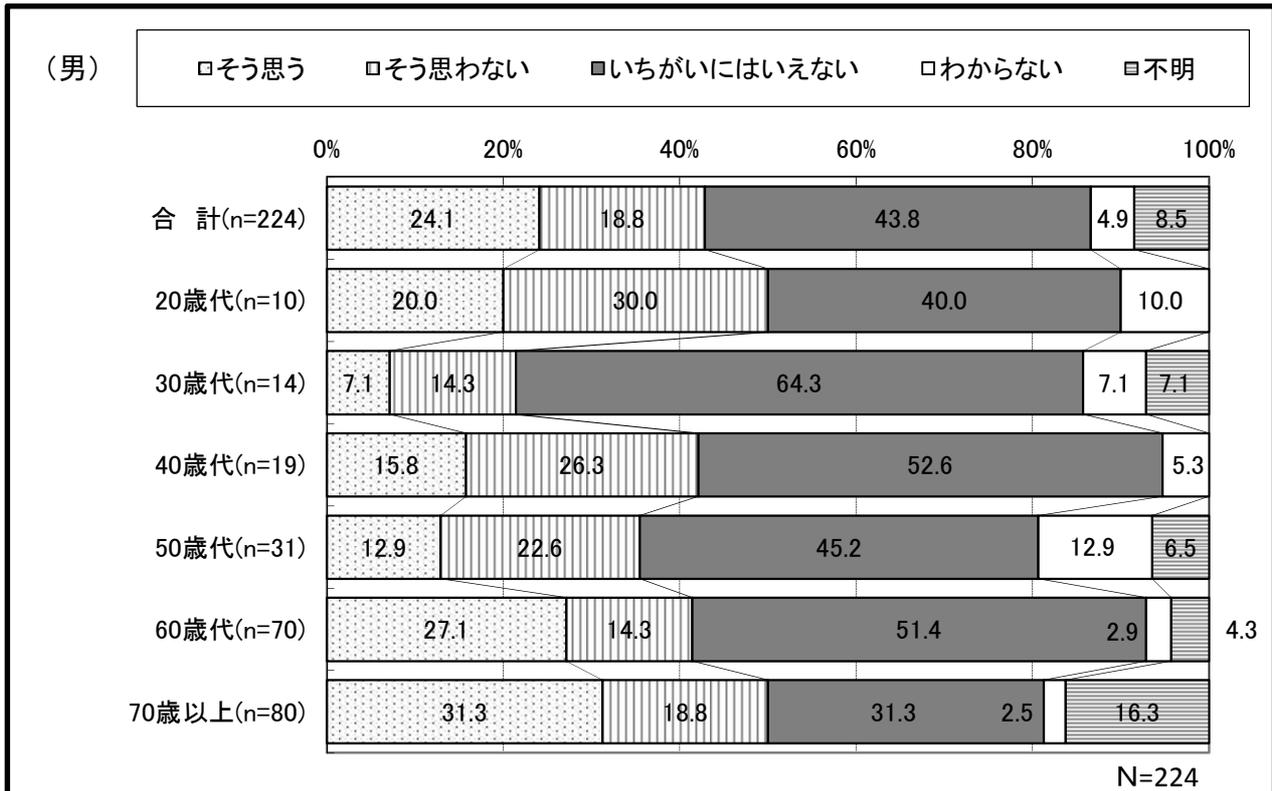
問5 ウ 結婚したら、必ず子どもをもつべきである



「結婚したら、必ず子どもをもつべきである」という考えについて男女別にみると、「そう思う」と回答した人の割合は、男性の35.3%に対し、女性は21.8%となっています。

また、「そう思う」と回答した人の割合が、男性は「60歳代」が51.4%、女性は「70歳以上」が36.3%と最も高くなっています。

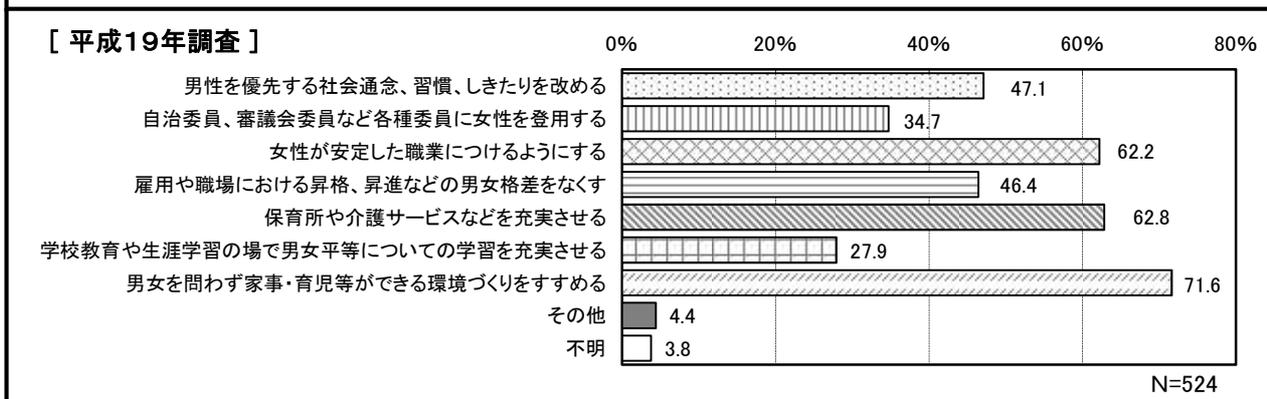
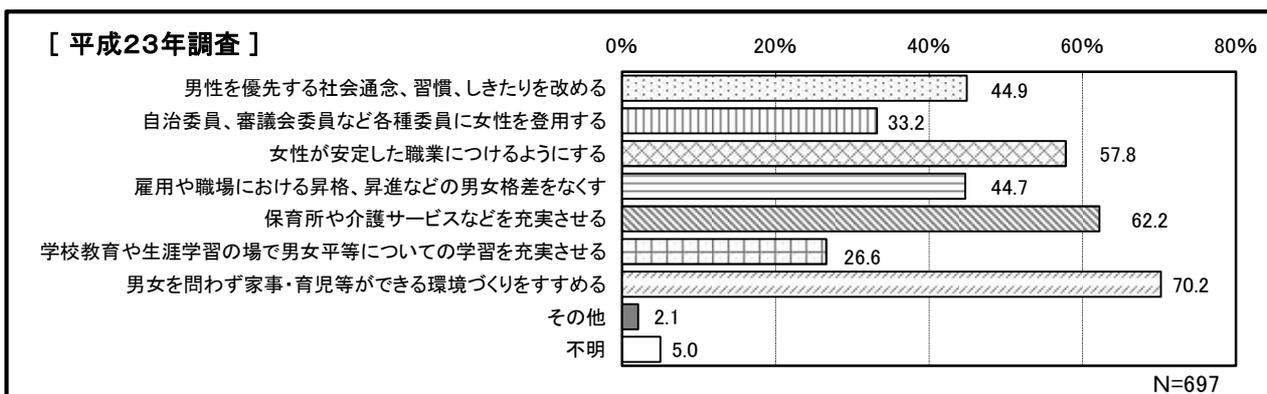
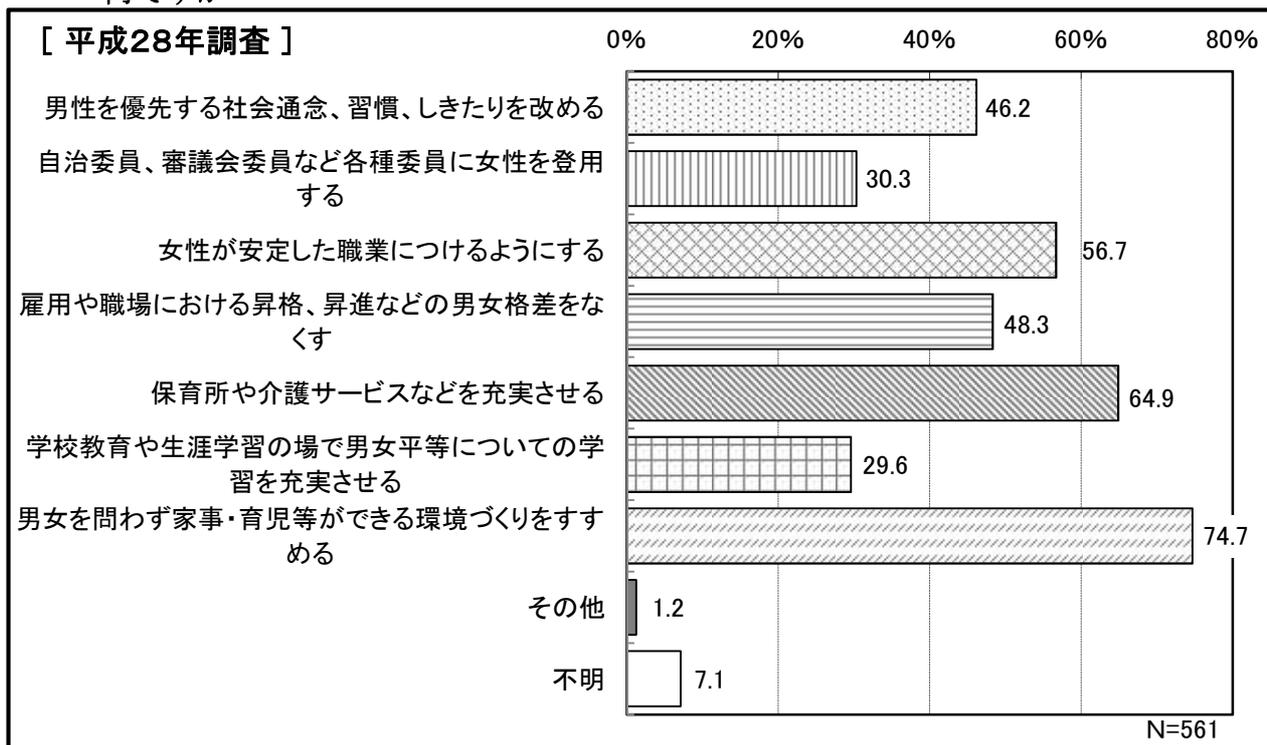
問5 エ 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである



「女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである」という考えについて男女別にみると、「そう思う」と回答した人の割合は、男性の24.1%に対し、女性は33.1%となっています。

また、「そう思う」と回答した人の割合が、男性は「70歳以上」が31.3%、女性も「70歳以上」が50.4%と最も高くなっています。

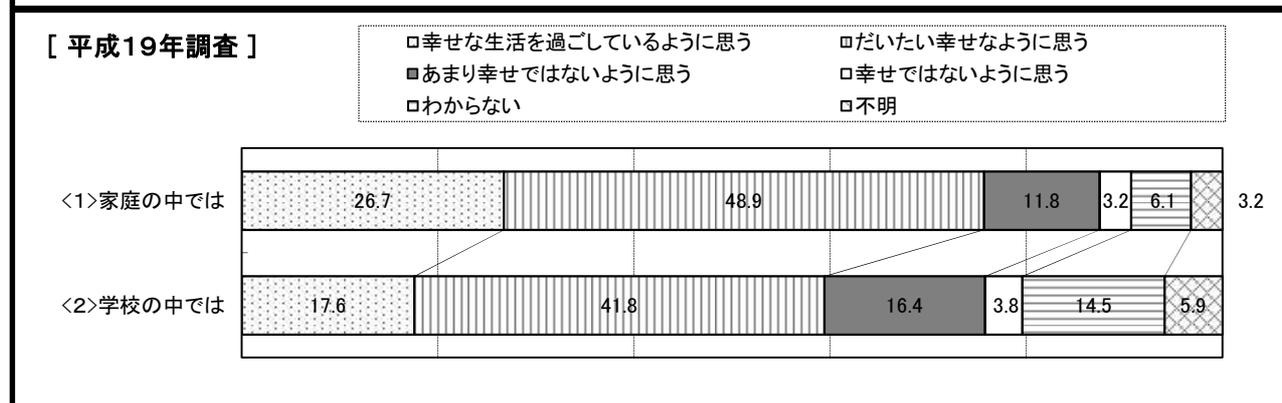
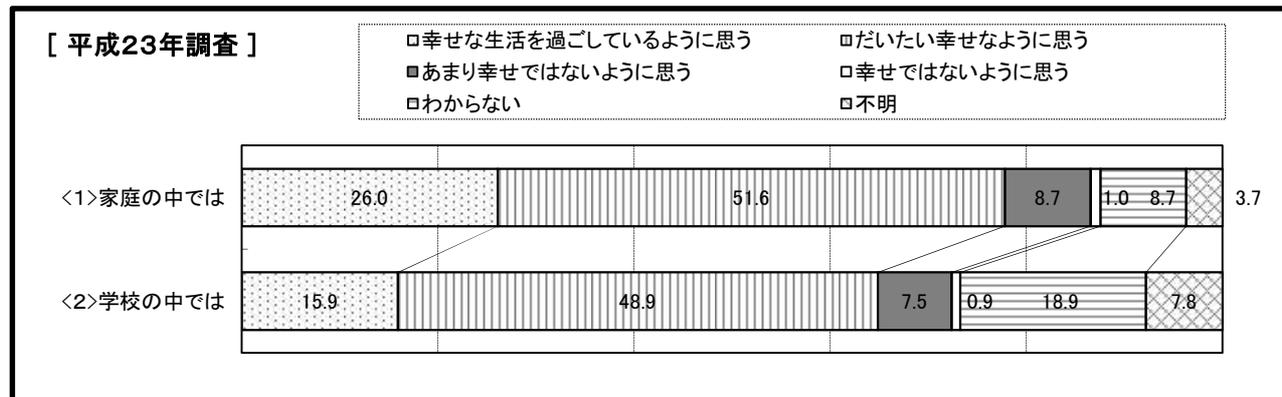
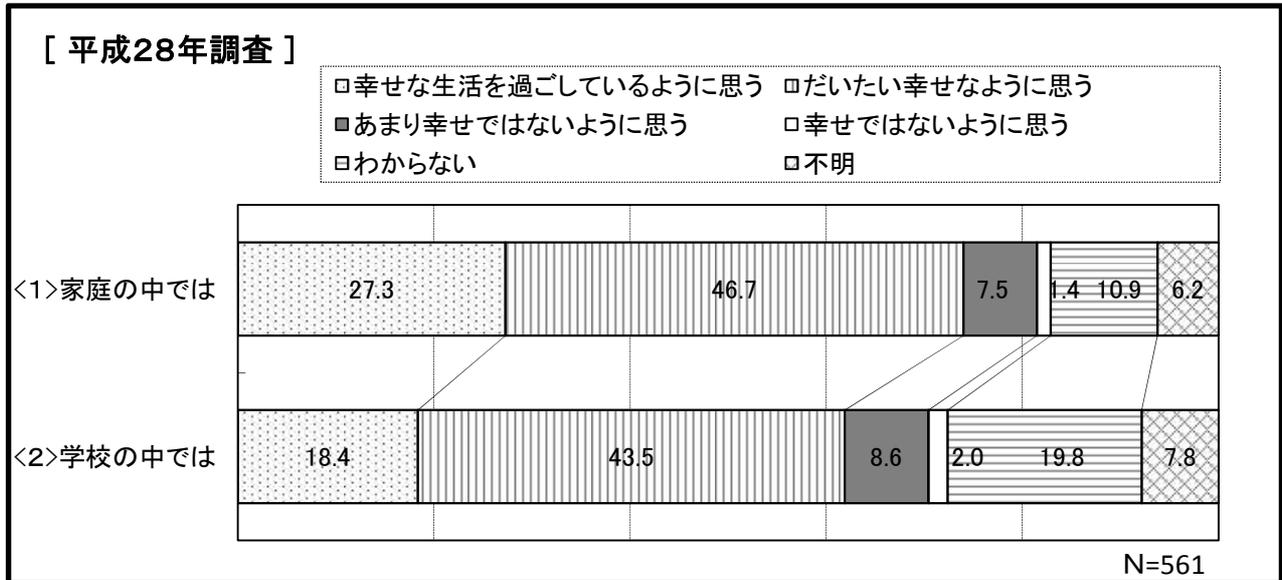
問6 女性が社会のあらゆる分野で平等に活躍するために、早急に取り組んでほしいものは何ですか



女性が社会のあらゆる分野で平等に活躍するために、早急に取り組んでほしいものは何ですかという質問について、「男女を問わず家事・育児等ができる環境づくりをすすめる」と回答した人の割合が最も高く74.7%でした。次いで「保育所や介護サービスなどを充実させる」64.9%、「女性が安定した職業につけるようにする」56.7%と続いています。

この結果は、前回(平成23年)、前々回(平成19年)調査と同様の傾向となっています。

問7 今の子どもがおかれている状況をどう感じているか



今の子どもがおかれている状況をどう感じているかという質問について、「幸せな生活を過ごしているように思う」と回答した人の割合は、家庭の中では27.3%、学校の中では18.4%となっています。

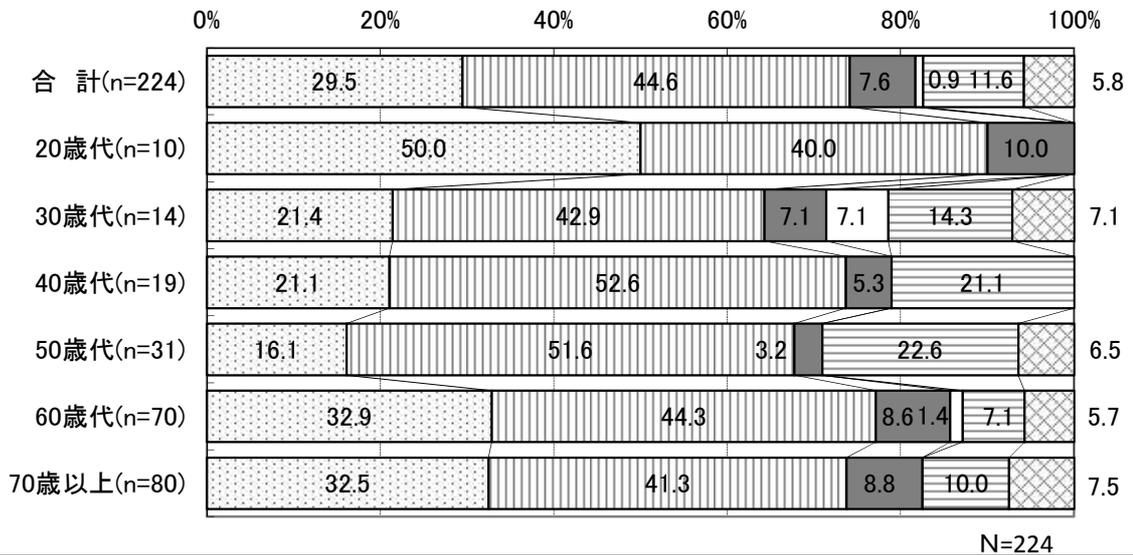
一方で、「あまり幸せではないように思う」又は「幸せではないように思う」と回答した人の割合は、家庭の中では8.9%、学校の中では10.6%となっています。

前回(平成23年)調査と比べると、「幸せな生活を過ごしているように思う」と回答した人の割合は、家庭の中では1.3%、学校の中では2.5%増加しています。

問7 <1> 家庭の中では、どうだと思いますか

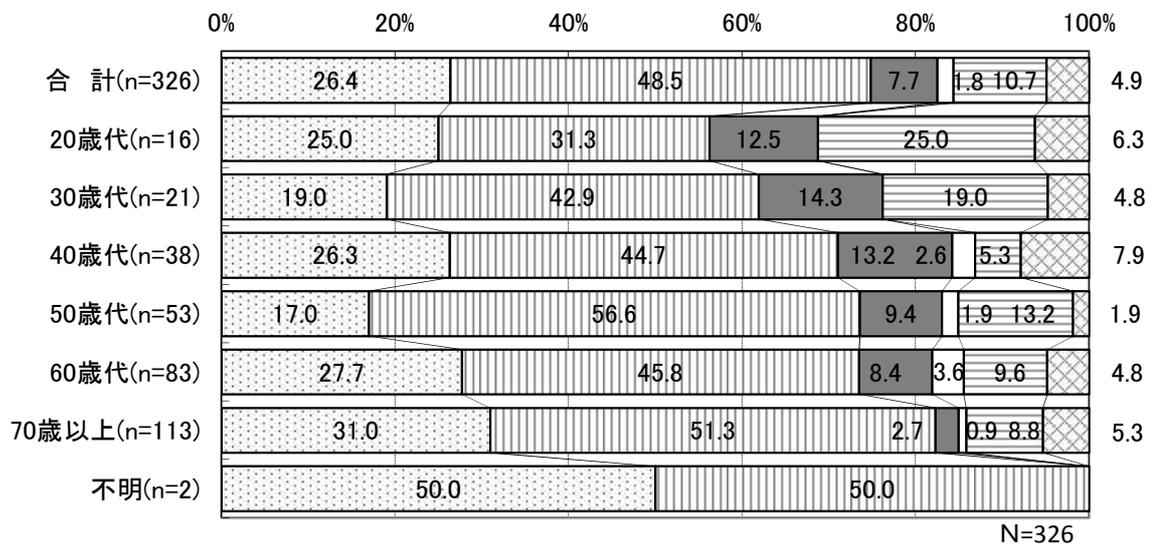
(男)

- 幸せな生活を過ごしているように思う
- だいたい幸せなように思う
- あまり幸せではないように思う
- 幸せではないように思う
- わからない
- 不明



(女)

- 幸せな生活を過ごしているように思う
- だいたい幸せなように思う
- あまり幸せではないように思う
- 幸せではないように思う
- わからない
- 不明



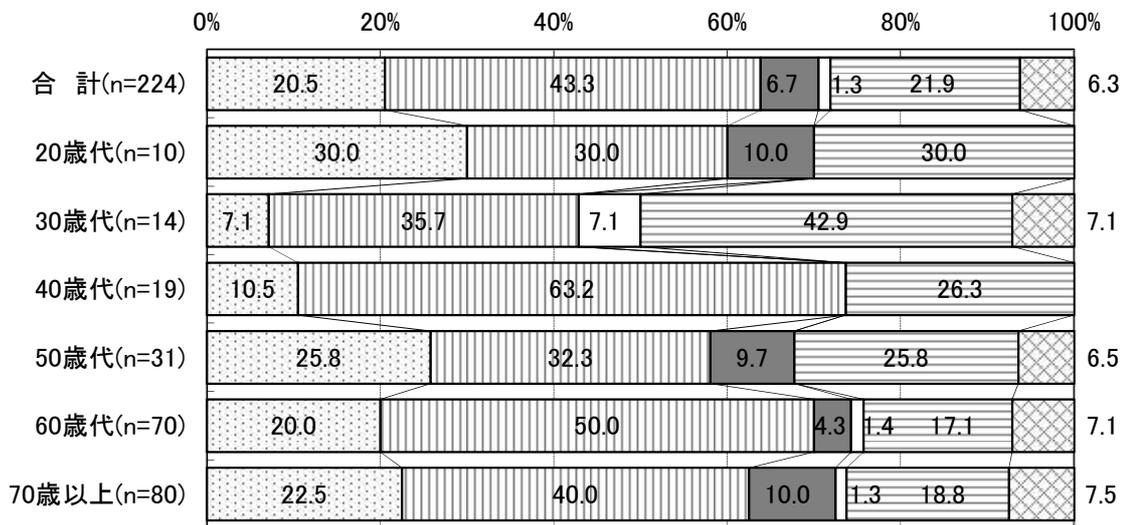
家庭の中では、どうだと思いますかという質問について男女別にみると、「幸せな生活を過ごしているように思う」と回答した人の割合が、男性は「20歳代」が50%、女性は「70歳以上」が31%と最も高くなっています。

「幸せな生活を過ごしているように思う」又は「だいたい幸せなように思う」と回答した人の割合は、男性は74.1%、女性は74.9%となっています。

問7 <2> 学校の中では、どうだと思いますか

(男)

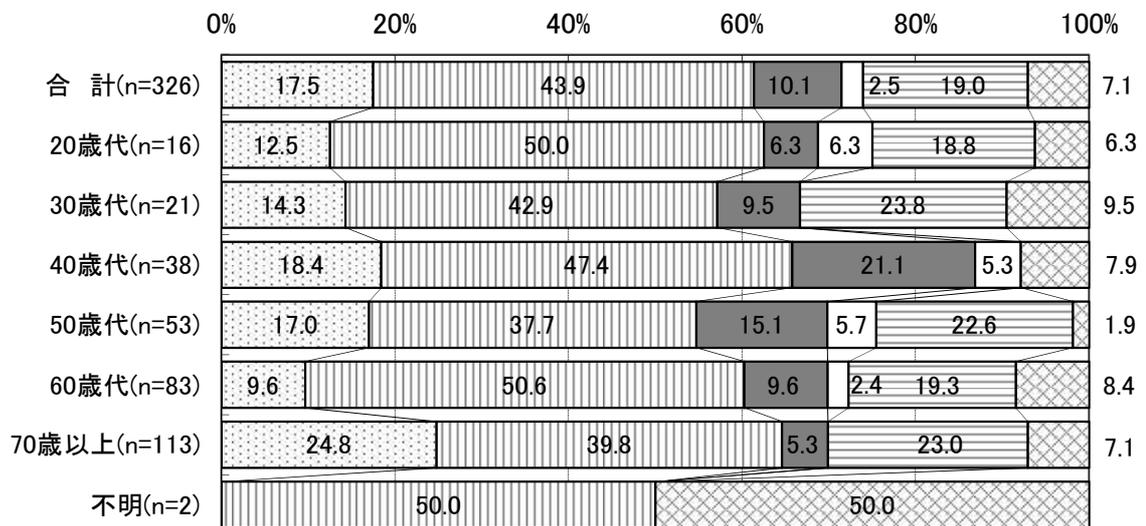
- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 幸せな生活を過ごしているように思う | <input type="checkbox"/> だいたい幸せなように思う |
| <input type="checkbox"/> あまり幸せではないように思う    | <input type="checkbox"/> 幸せではないように思う  |
| <input type="checkbox"/> わからない             | <input type="checkbox"/> 不明           |



N=224

(女)

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 幸せな生活を過ごしているように思う | <input type="checkbox"/> だいたい幸せなように思う |
| <input type="checkbox"/> あまり幸せではないように思う    | <input type="checkbox"/> 幸せではないように思う  |
| <input type="checkbox"/> わからない             | <input type="checkbox"/> 不明           |

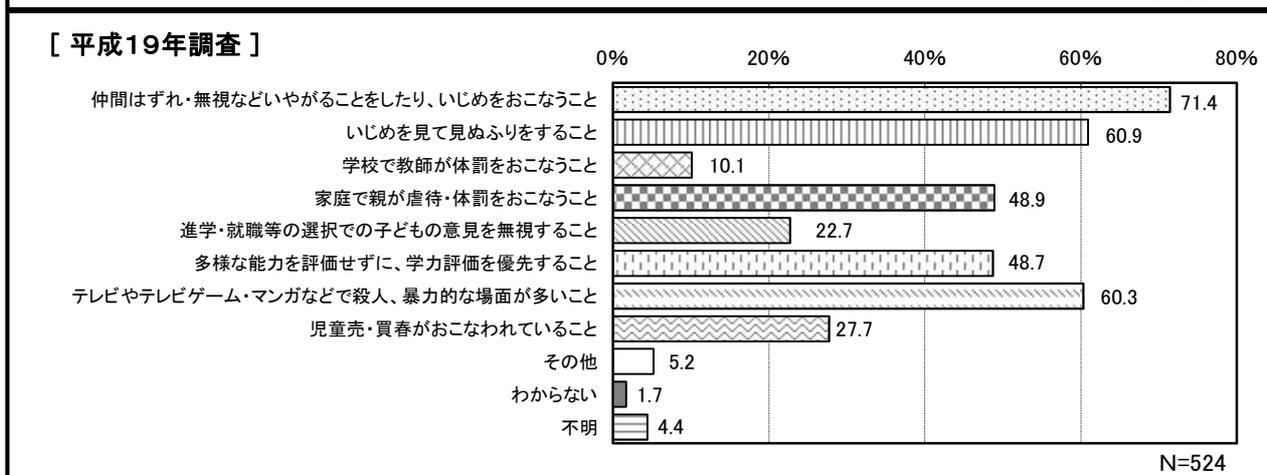
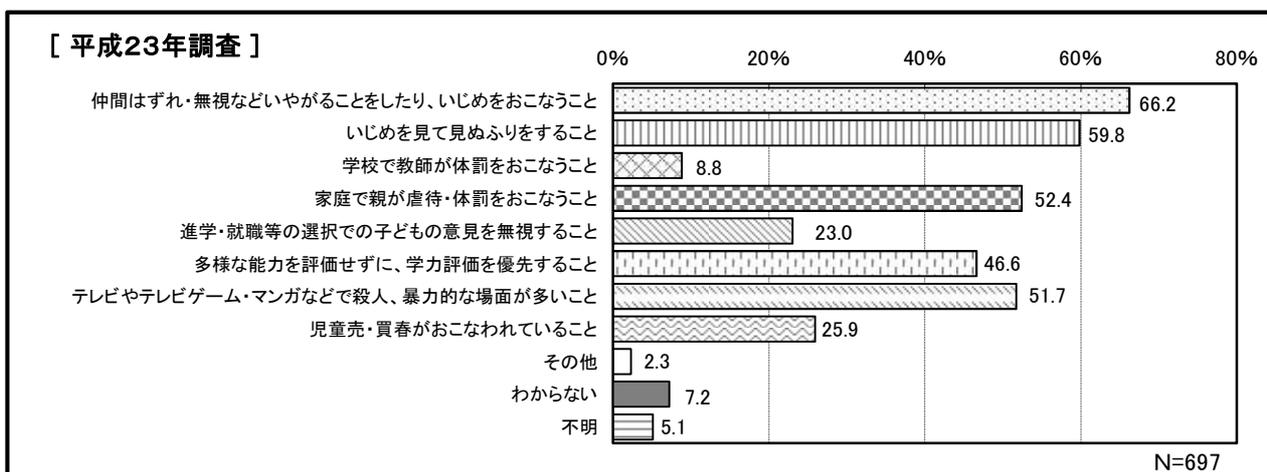
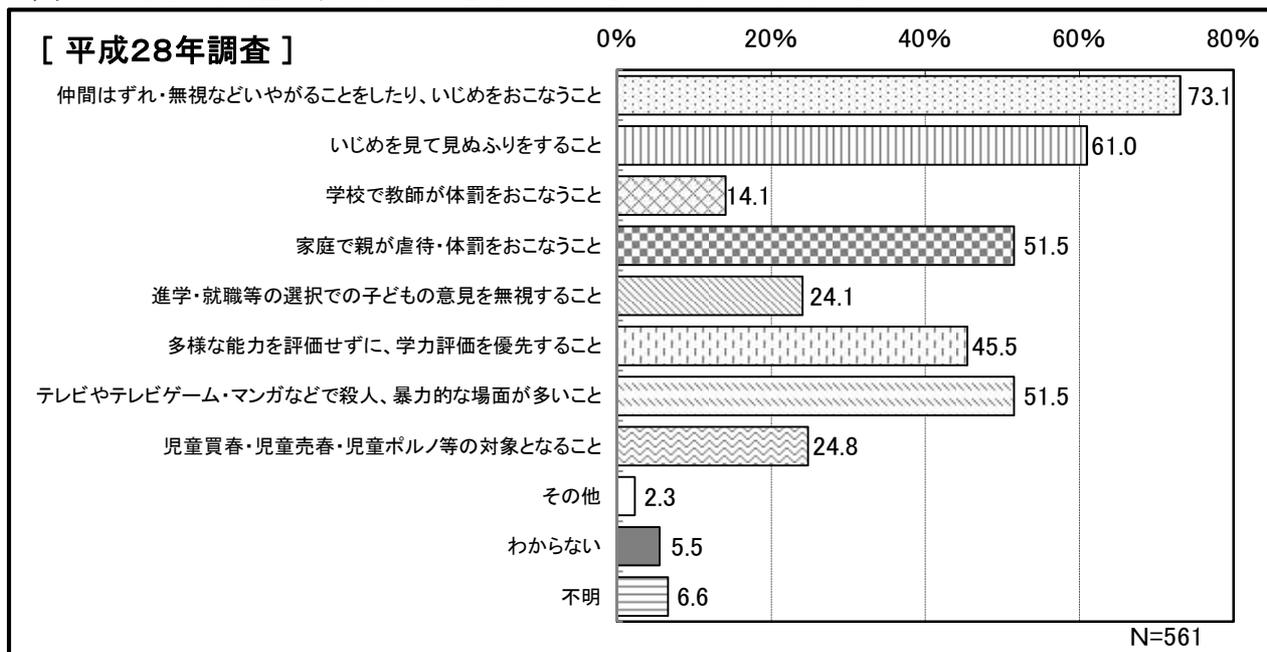


N=326

学校の中では、どうだと思いますかという質問について男女別にみると、「幸せな生活を過ごしているように思う」と回答した人の割合が、男性は「20歳代」が30%、女性は「70歳以上」が24.8%と最も高くなっています。

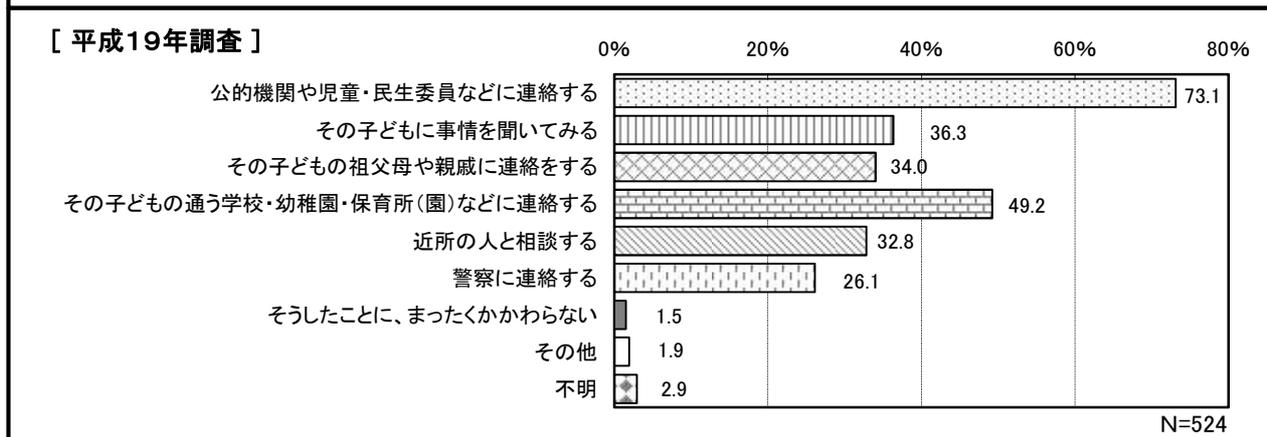
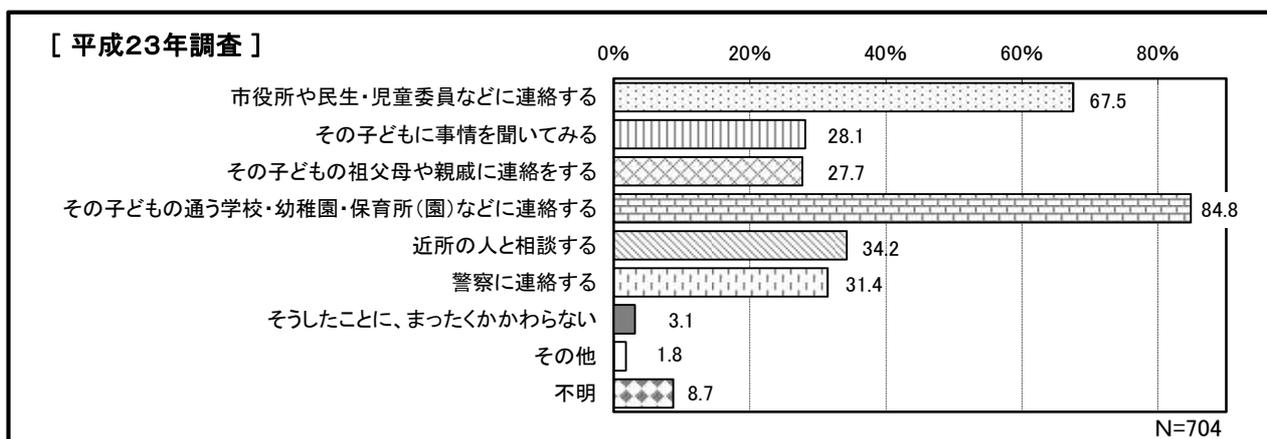
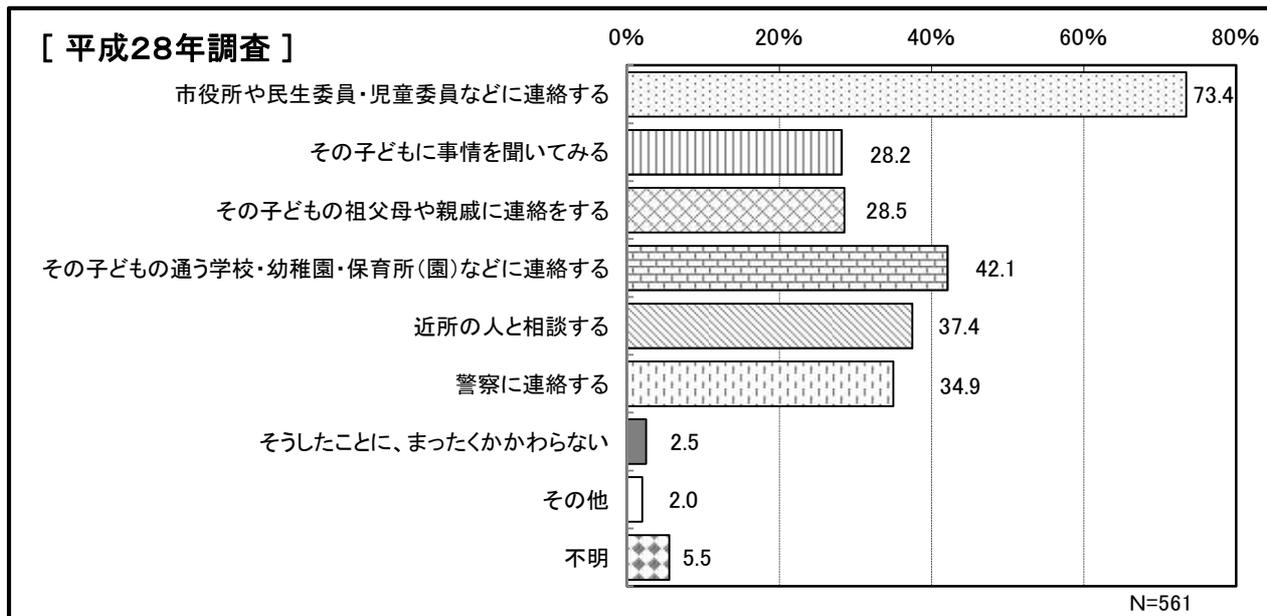
「幸せな生活を過ごしているように思う」又は「だいたい幸せなように思う」と回答した人の割合は、男性は63.8%、女性は61.4%となっています。

## 問8 子どもの人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか



子どもの人権上、問題があると思われるのはどのようなことですかという質問について、「仲間はずれ・無視などいやがることをしたり、いじめをおこなうこと」と回答した人の割合が最も高く73.1%でした。次いで「いじめを見て見ぬふりをする」が61.0%となっています。この結果は、前回(平成23年)、前々回(平成19年)調査と同様の傾向となっています。

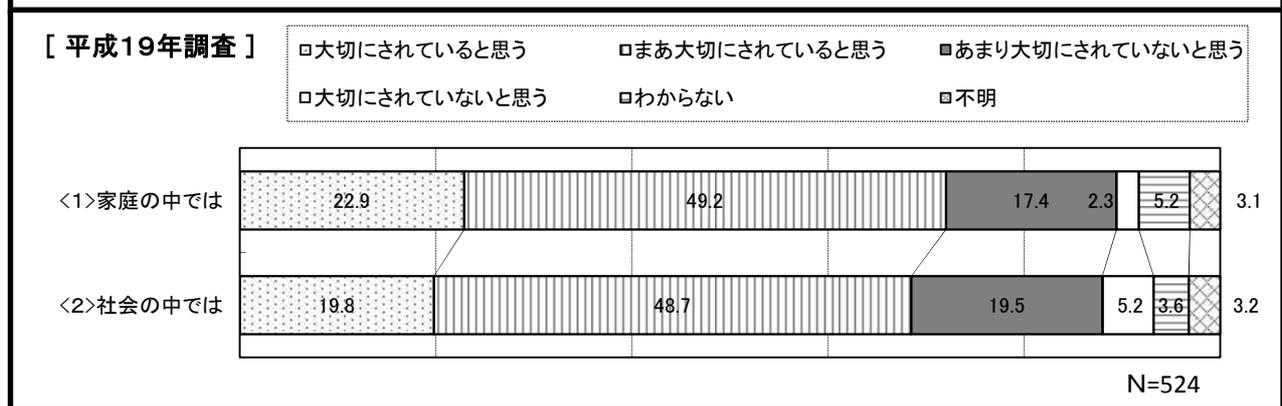
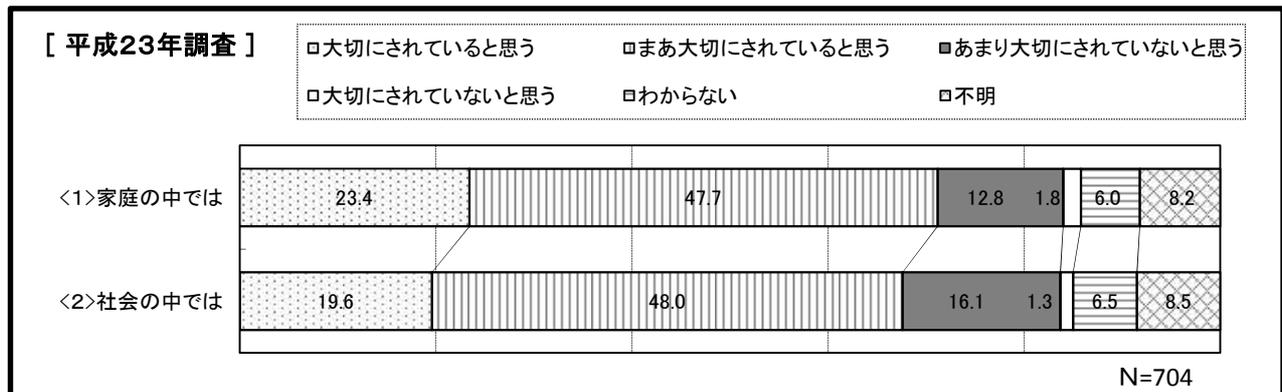
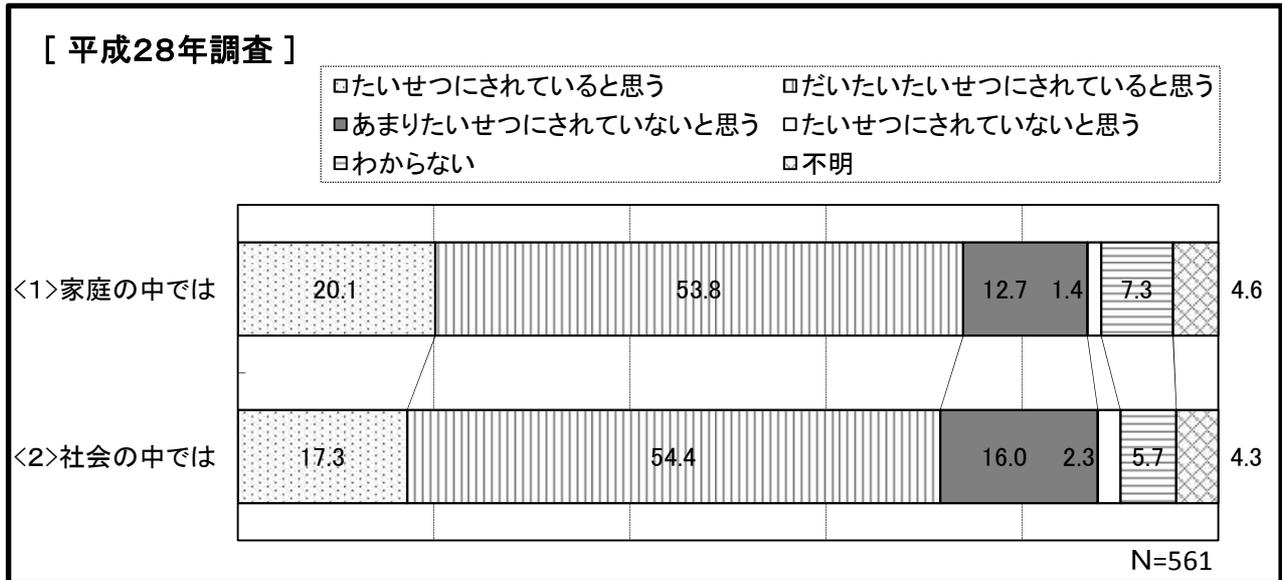
問9 近所の子どもが虐待を受けている事実を知った場合、あなたはどのような行動をとると思いますか



近所の子どもが虐待を受けている事実を知った場合、あなたはどのような行動をとると思いますかという質問について、「市役所や民生委員・児童委員などに連絡する」と回答した人の割合が最も高く73.4%でした。次いで「その子どもの通う学校・幼稚園・保育所(園)などに連絡する」が42.1%となっています。

前回(平成23年)調査では、「その子どもの通う学校・幼稚園・保育所(園)などに連絡する」と回答した人の割合が最も高く、前々回(平成19年)調査とは同様の傾向となっています。

問10 今の高齢者がおかれている状況をどう感じているか



今の高齢者がおかれている状況をどう感じているかという質問について、「たいせつにされていると思う」と回答した人の割合は、家庭の中では20.1%、社会の中では17.3%となっています。

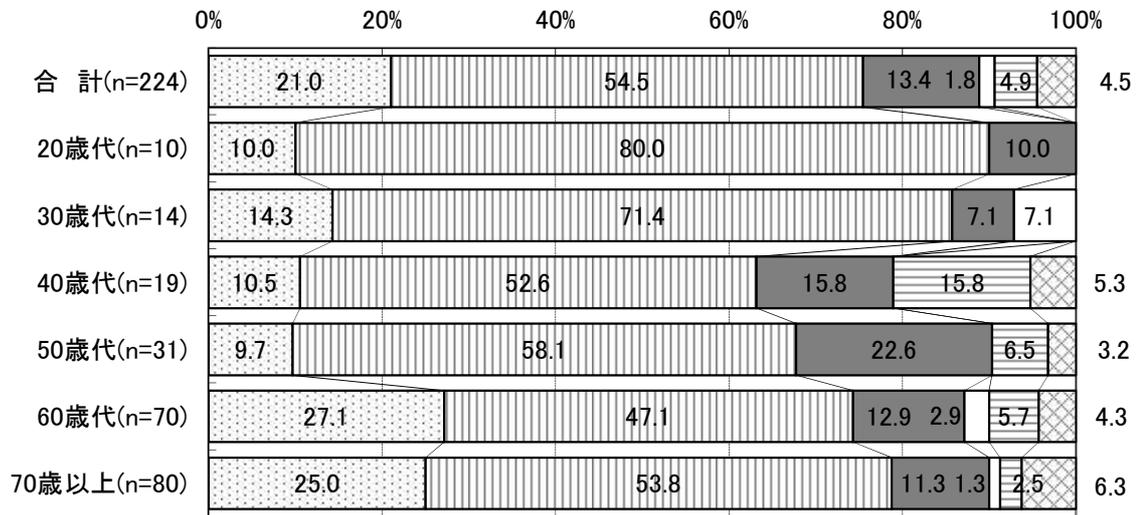
一方で、「あまりたいせつにされていないと思う」又は「たいせつにされていないと思う」と回答した人の割合は、家庭の中では14.1%、社会の中では18.3%となっています。

前回(平成23年)調査と比べると、「たいせつにされていると思う」と回答した人の割合は減少していますが、「たいせつにされていると思う」又は「だいたいたいせつにされていると思う」と回答した人の割合は、家庭の中では2.8%、社会の中では4.1%増加しています。

問10 <1> 家庭の中では、どうだと思いますか

(男)

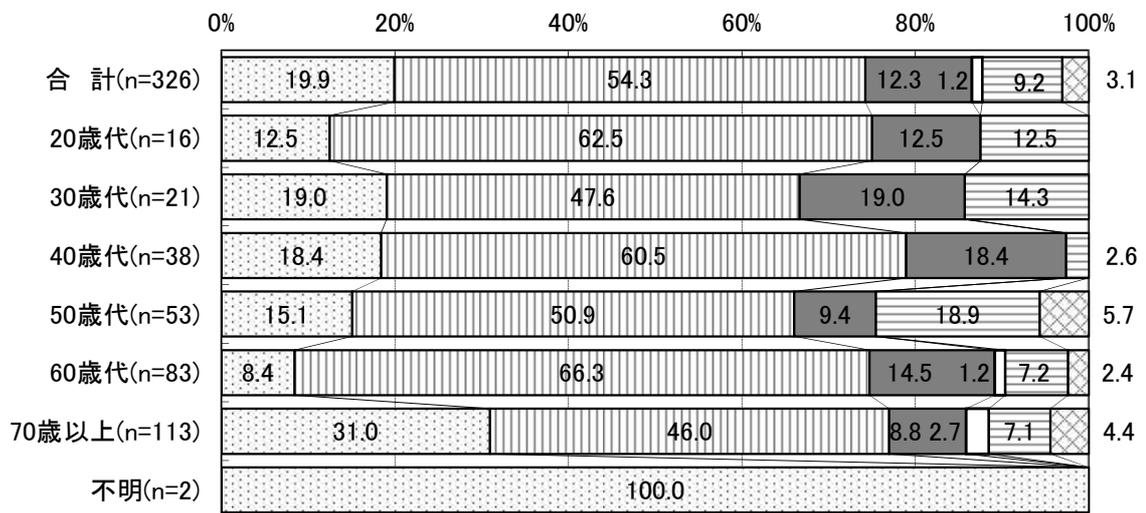
- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> たいせつにされていると思う     | <input type="checkbox"/> だいたいたいせつにされていると思う |
| <input type="checkbox"/> あまりたいせつにされていないと思う | <input type="checkbox"/> たいせつにされていないと思う    |
| <input type="checkbox"/> わからない             | <input type="checkbox"/> 不明                |



N=224

(女)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> たいせつにされていると思う     | <input type="checkbox"/> だいたいたいせつにされていると思う |
| <input type="checkbox"/> あまりたいせつにされていないと思う | <input type="checkbox"/> たいせつにされていないと思う    |
| <input type="checkbox"/> わからない             | <input type="checkbox"/> 不明                |



N=326

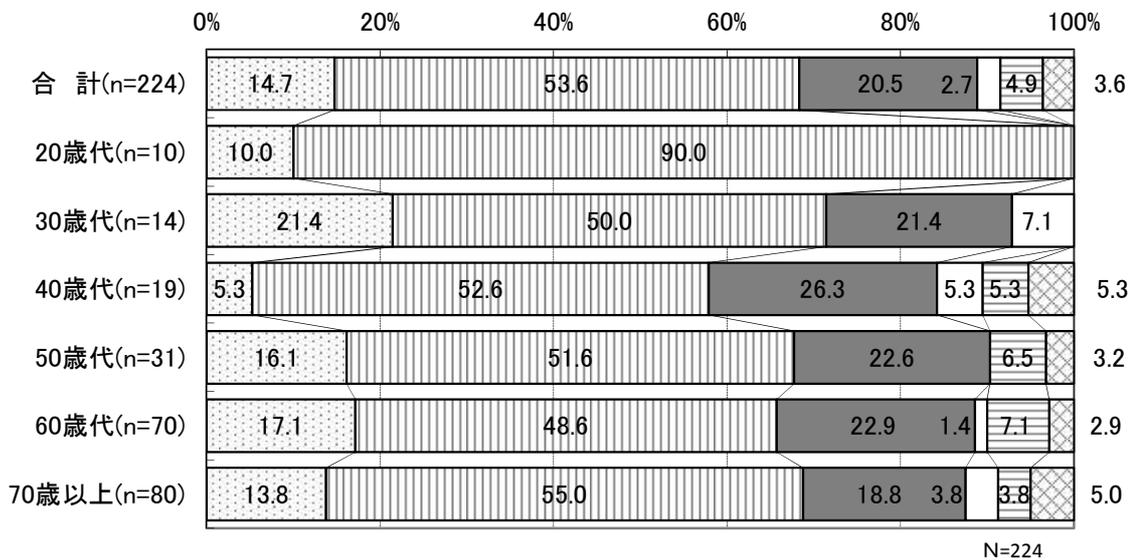
家庭の中では、どうだと思いますかという質問について男女別にみると、「たいせつにされていると思う」と回答した人の割合が、男性は「60歳代」が27.1%、女性は「70歳以上」が31%と最も高くなっています。

「たいせつにされていると思う」又は「だいたいたいせつにされていると思う」と回答した人の割合は、男性は75.5%、女性は74.2%となっています。

問10 <2> 社会の中では、どうだと思いますか

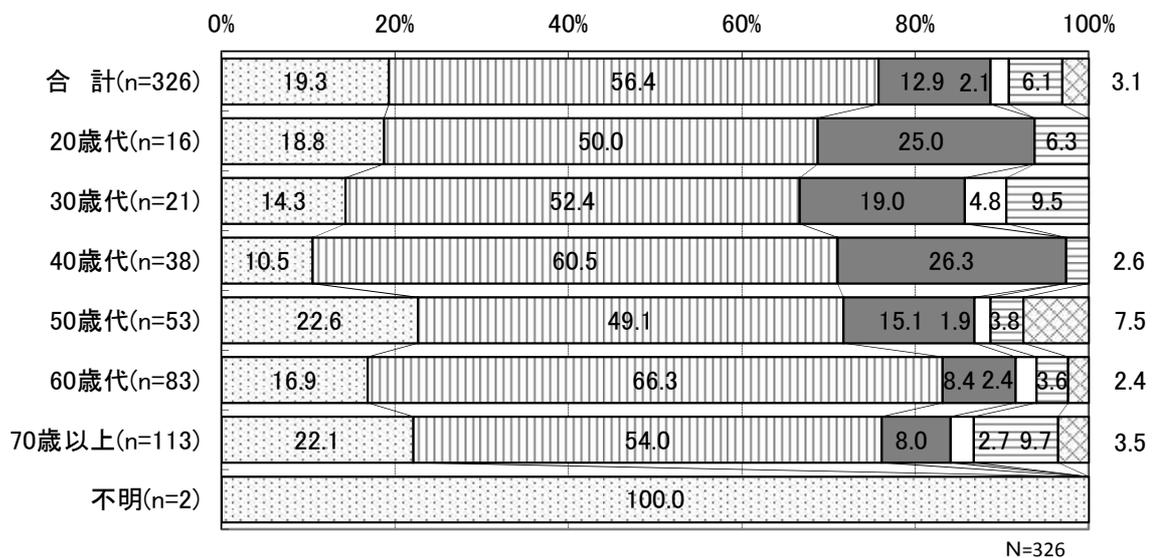
(男)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> たいせつにされていると思う     | <input type="checkbox"/> だいたいたいせつにされていると思う |
| <input type="checkbox"/> あまりたいせつにされていないと思う | <input type="checkbox"/> たいせつにされていないと思う    |
| <input type="checkbox"/> わからない             | <input type="checkbox"/> 不明                |



(女)

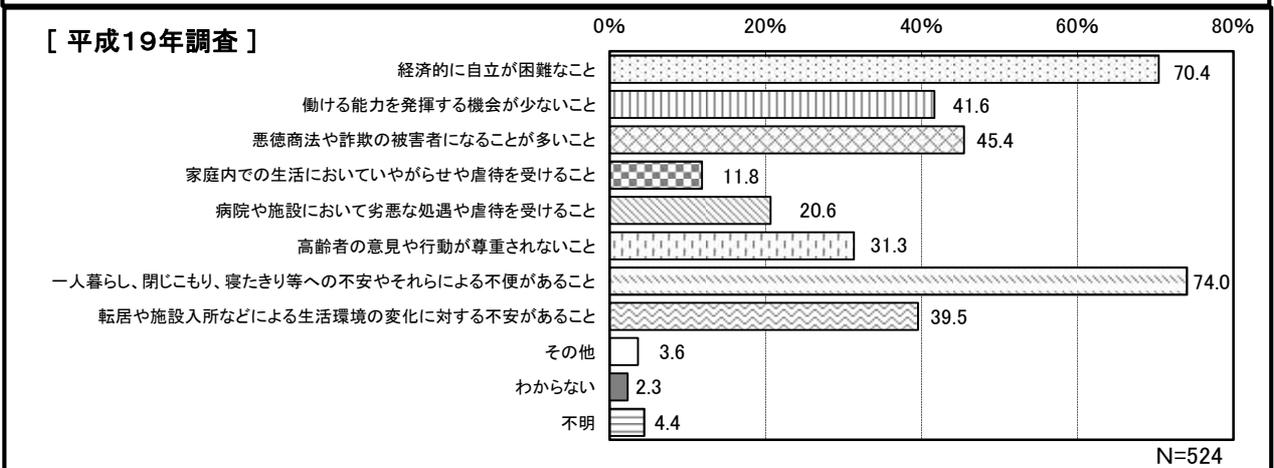
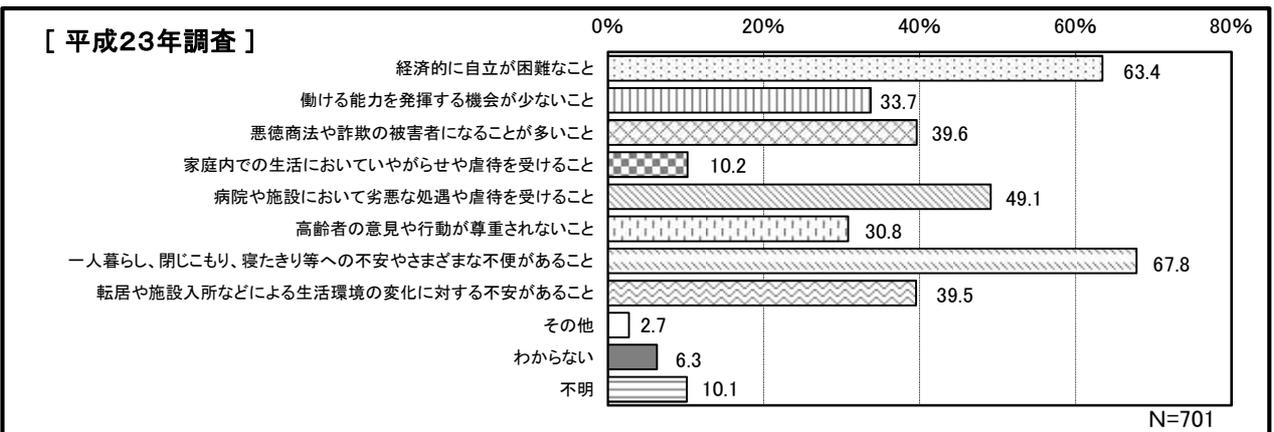
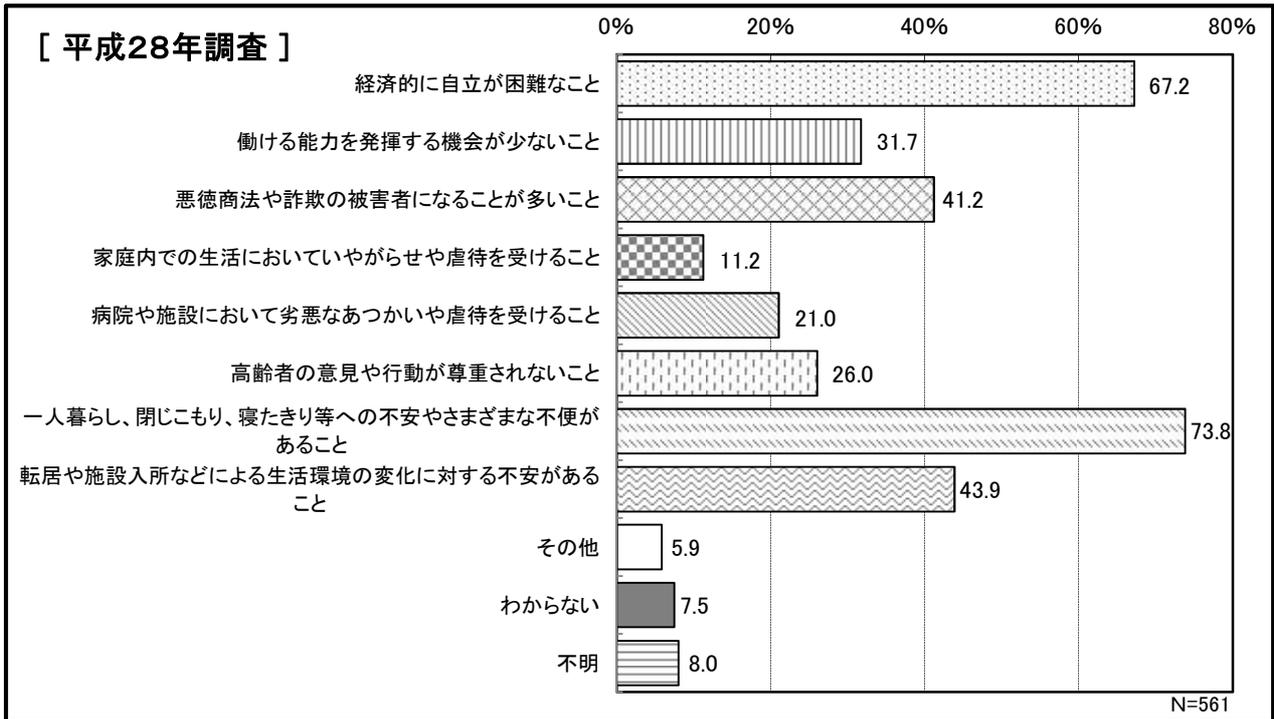
- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> たいせつにされていると思う     | <input type="checkbox"/> だいたいたいせつにされていると思う |
| <input type="checkbox"/> あまりたいせつにされていないと思う | <input type="checkbox"/> たいせつにされていないと思う    |
| <input type="checkbox"/> わからない             | <input type="checkbox"/> 不明                |



社会の中では、どうだと思いますかという質問について男女別にみると、「たいせつにされていると思う」と回答した人の割合が、男性は「30歳代」が21.4%、女性は「50歳代」が22.6%と最も高くなっています。

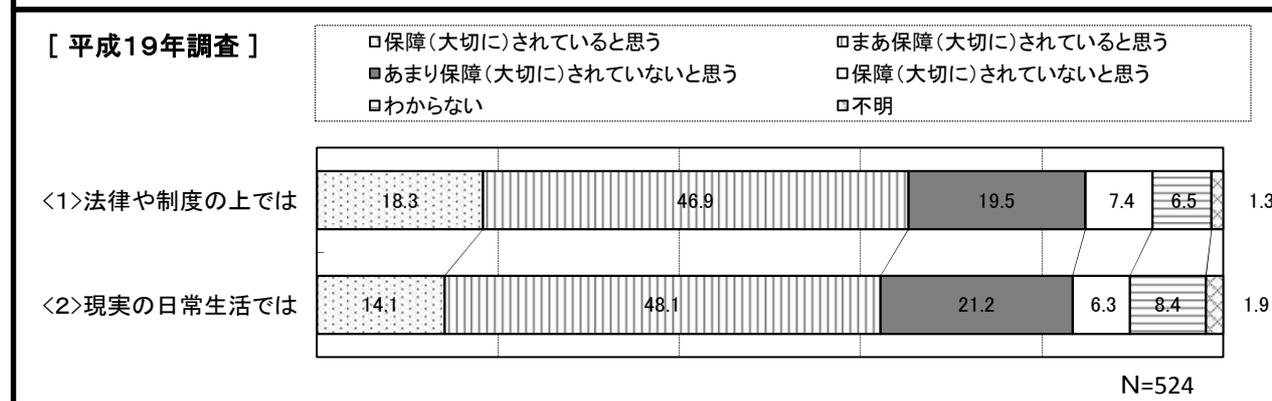
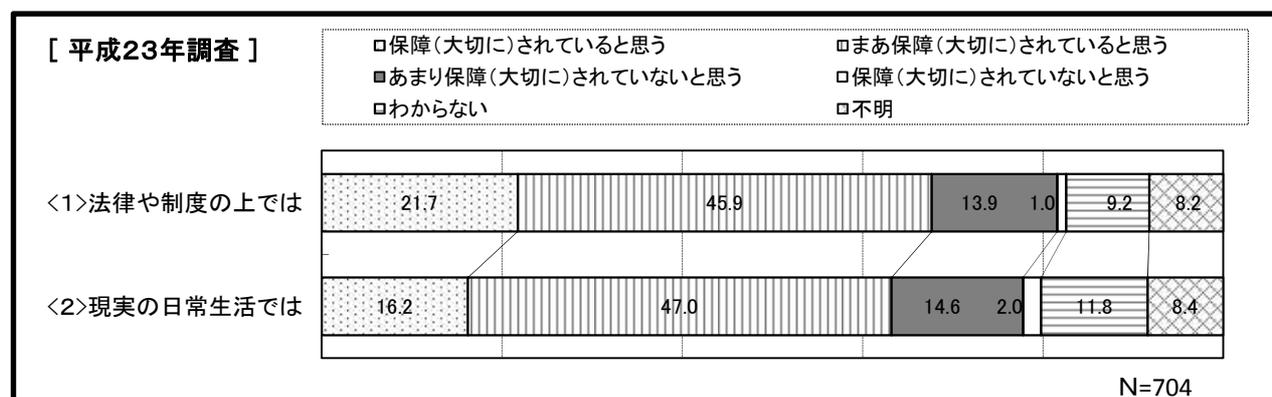
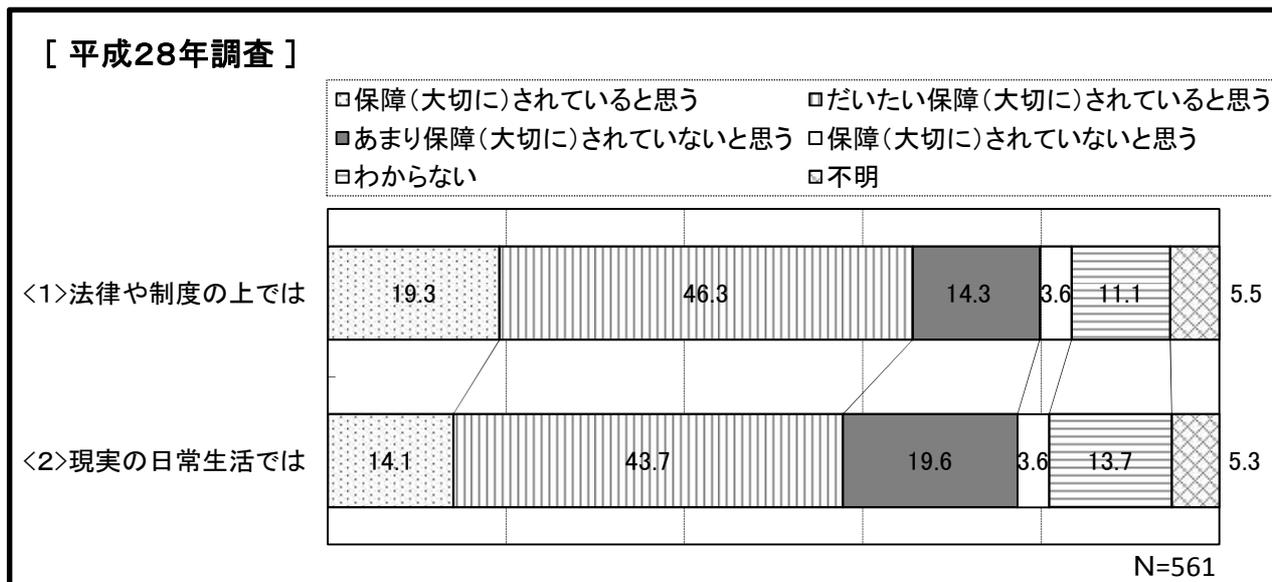
「たいせつにされていると思う」又は「だいたいたいせつにされていると思う」と回答した人の割合は、男性は68.3%、女性は75.7%となっています。

問11 高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えますか



高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えますかという質問について、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やさまざまな不便があること」と回答した人の割合が最も高く73.8%でした。次いで「経済的に自立が困難なこと」が67.2%となっています。この結果は、前回(平成23年)、前々回(平成19年)調査と同様の傾向となっています。

問12 今の障がい者の人権が保障されていると思いますか



今の障がい者の人権が保障されていると思いますかという質問について、「保障(大切に)されていると思う」と回答した人の割合は、法律や制度の上では19.3%、現実の日常生活では14.1%となっています。

一方で、「保障(大切に)されていないと思う」と回答した人の割合は、法律や制度の上では3.6%、現実の日常生活でも3.6%となっています。

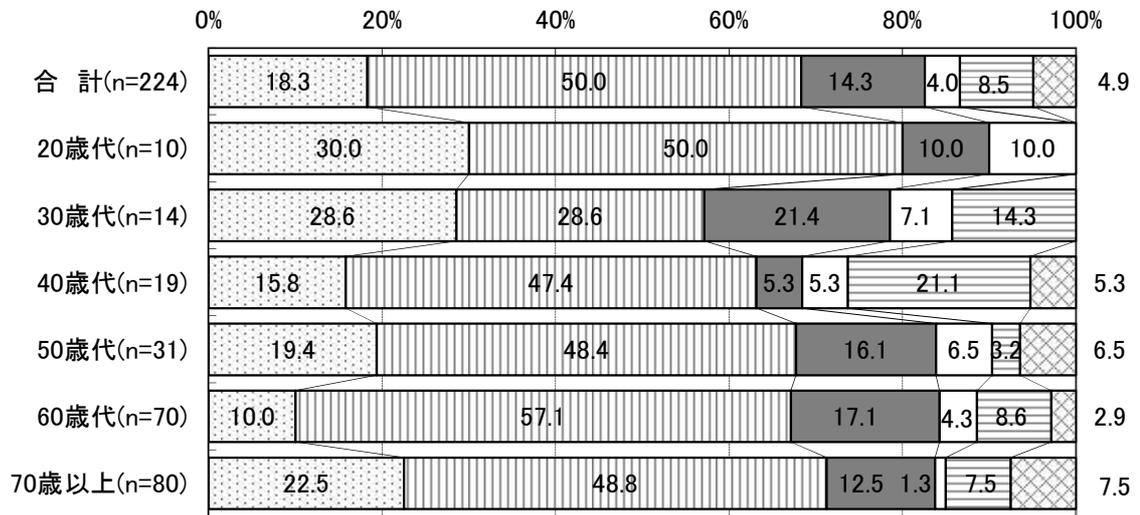
前回(平成23年)調査と比べると、「保障(大切に)されていると思う」と回答した人の割合は法律や制度の上では2.4%、現実の日常生活では2.1%減少しています。

また、「保障(大切に)されていると思う」又は「だいたい保障(大切に)されていると思う」と回答した人の割合をみても、法律や制度の上では2%、現実の日常生活では5.4%減少しています。

問12 <1> 法律や制度の上では、どうだと思いますか

(男)

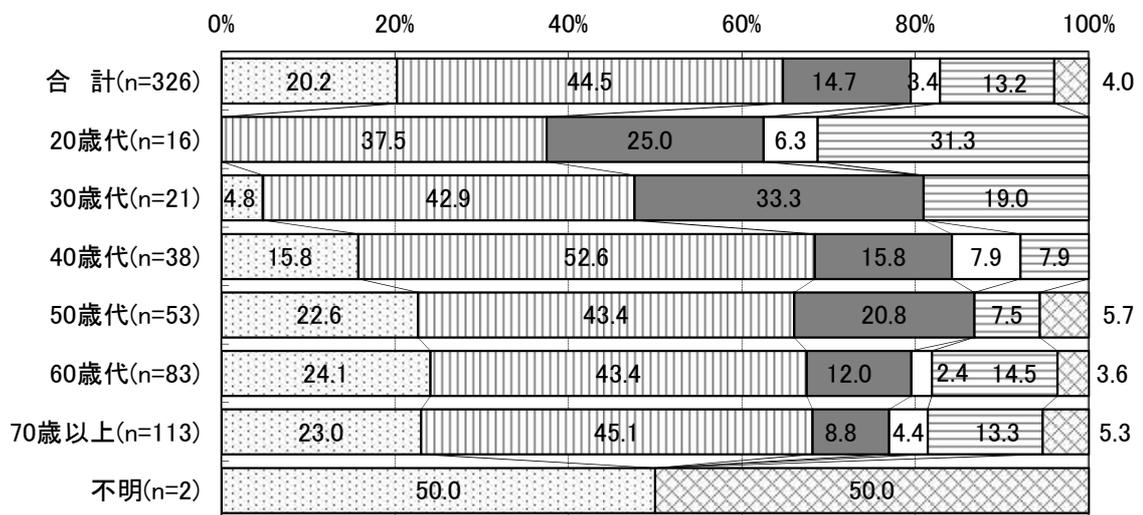
- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 保障されていると思う     | <input type="checkbox"/> だいたい保障されていると思う |
| <input type="checkbox"/> あまり保障されていないと思う | <input type="checkbox"/> 保障されていないように思う  |
| <input type="checkbox"/> わからない          | <input type="checkbox"/> 不明             |



N=224

(女)

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 保障されていると思う     | <input type="checkbox"/> だいたい保障されていると思う |
| <input type="checkbox"/> あまり保障されていないと思う | <input type="checkbox"/> 保障されていないように思う  |
| <input type="checkbox"/> わからない          | <input type="checkbox"/> 不明             |



N=326

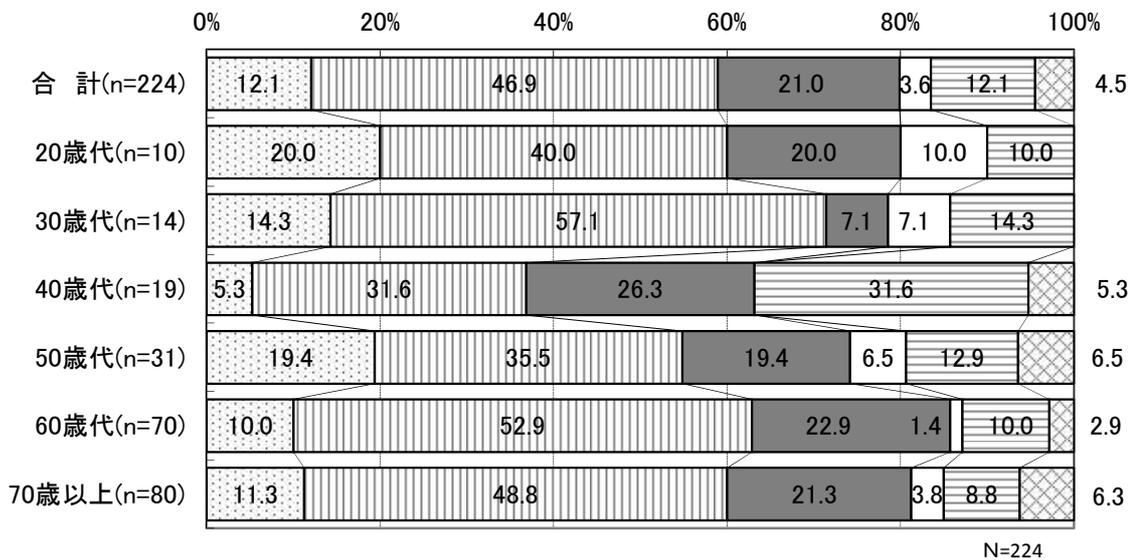
法律や制度の上では、どうだと思いますかという質問について男女別にみると、「保障されていると思う」と回答した人の割合が、男性は「20歳代」が30%、女性は「60歳代」が24.1%と最も高くなっています。

「保障されていると思う」又は「だいたい保障されていると思う」と回答した人の割合は、男性は68.3%、女性は64.7%となっています。

問12 <2> 現実の日常生活では、どうだと思いますか

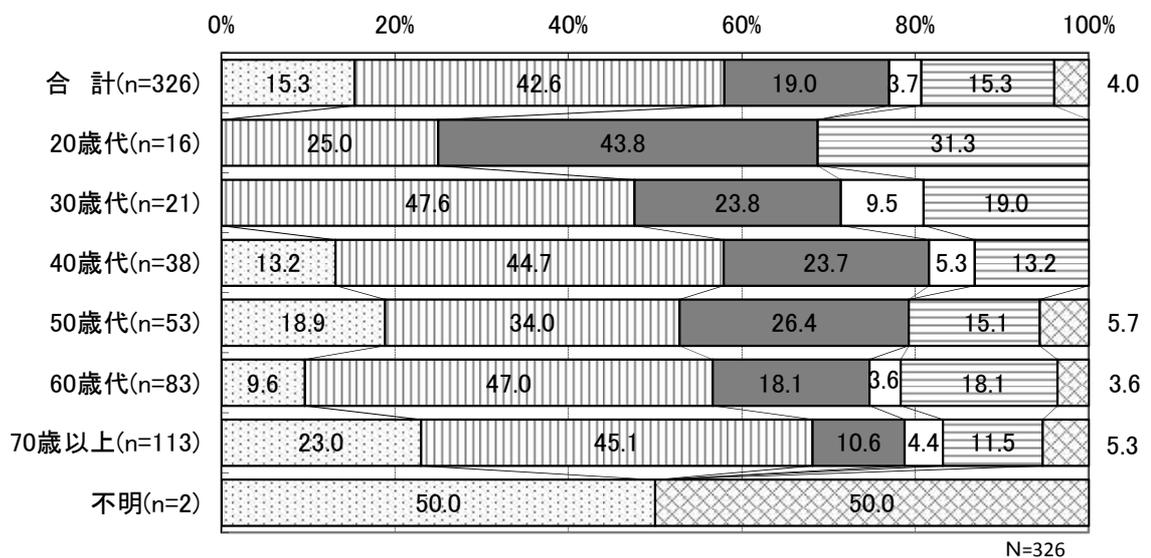
(男)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| □たいせつにされていると思う     | □だいたいたいせつにされていると思う |
| ■あまりたいせつにされていないと思う | □たいせつにされていないと思う    |
| □わからない             | □不明                |



(女)

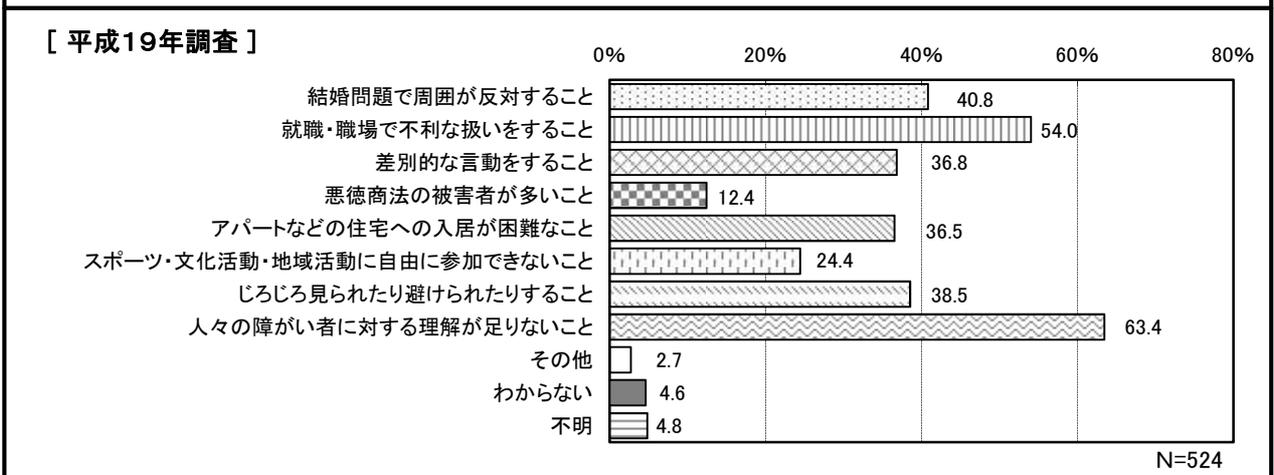
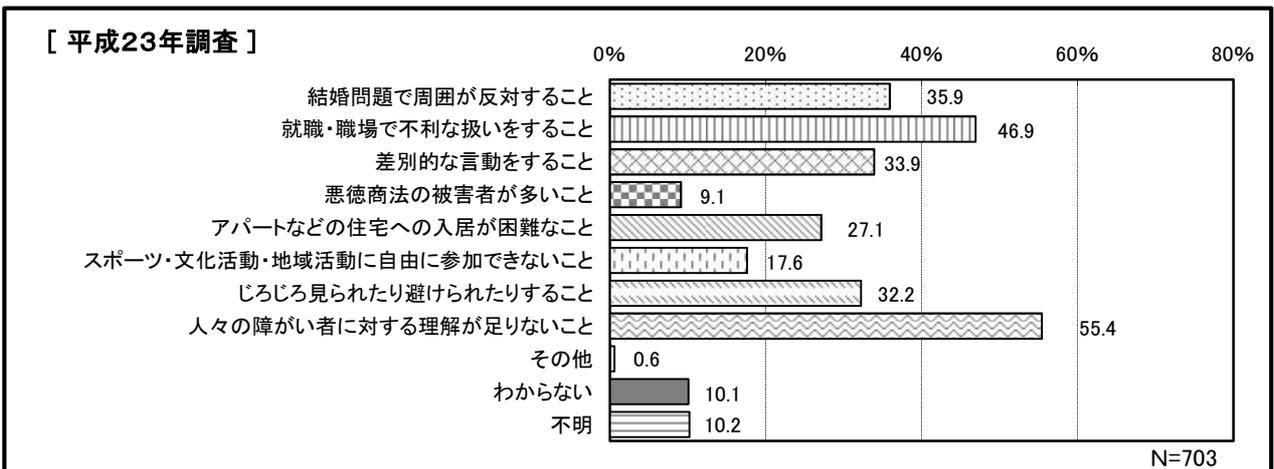
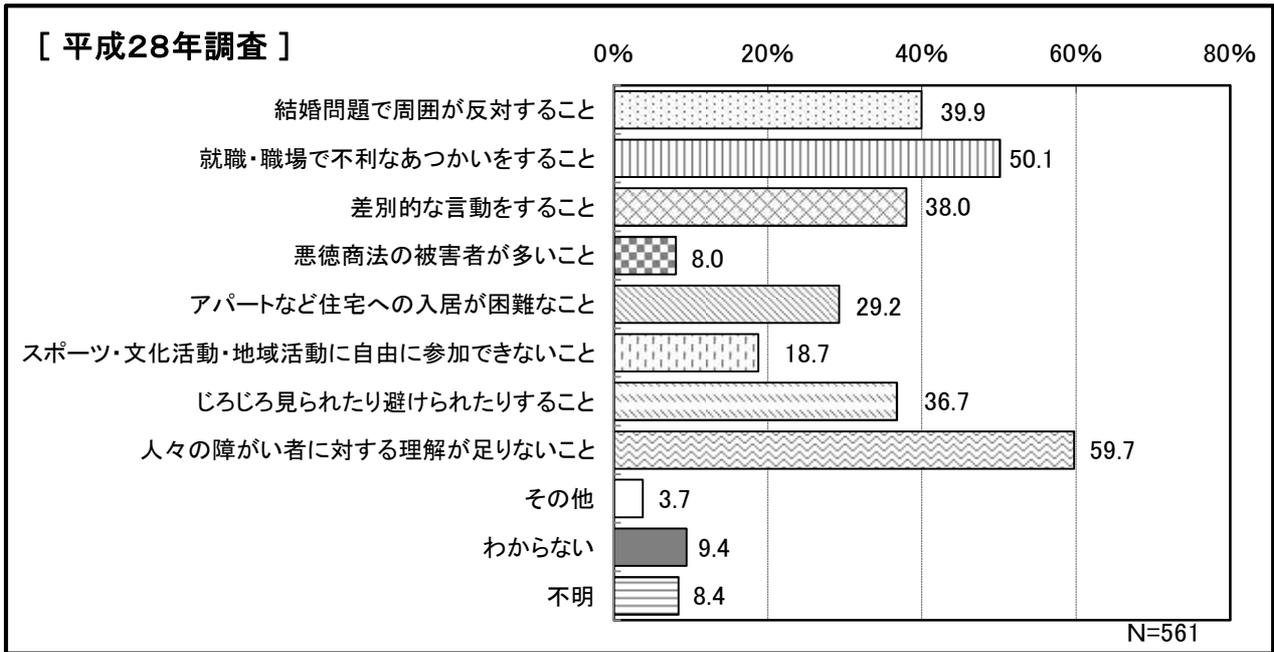
- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| □たいせつにされていると思う     | □だいたいたいせつにされていると思う |
| ■あまりたいせつにされていないと思う | □たいせつにされていないと思う    |
| □わからない             | □不明                |



現実の日常生活では、どうだと思いますかという質問について男女別にみると、「たいせつにされていると思う」と回答した人の割合が、男性は「20歳代」が20%、女性は「70歳以上」が23%と最も高くなっています。

「たいせつにされていると思う」又は「だいたいたいせつにされていると思う」と回答した人の割合は、男性は59%、女性は57.9%となっています。

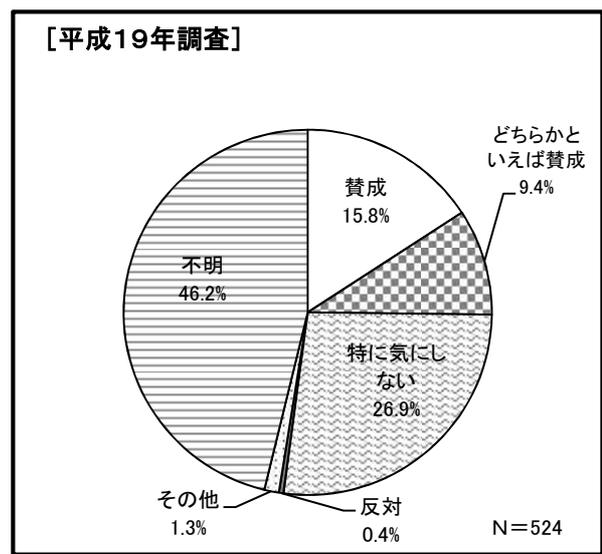
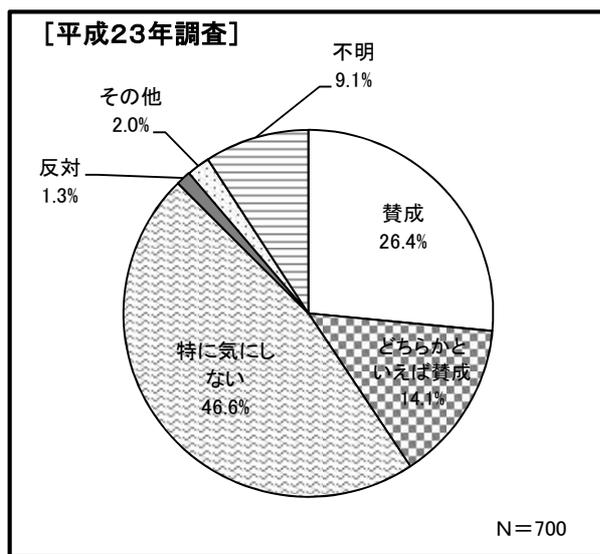
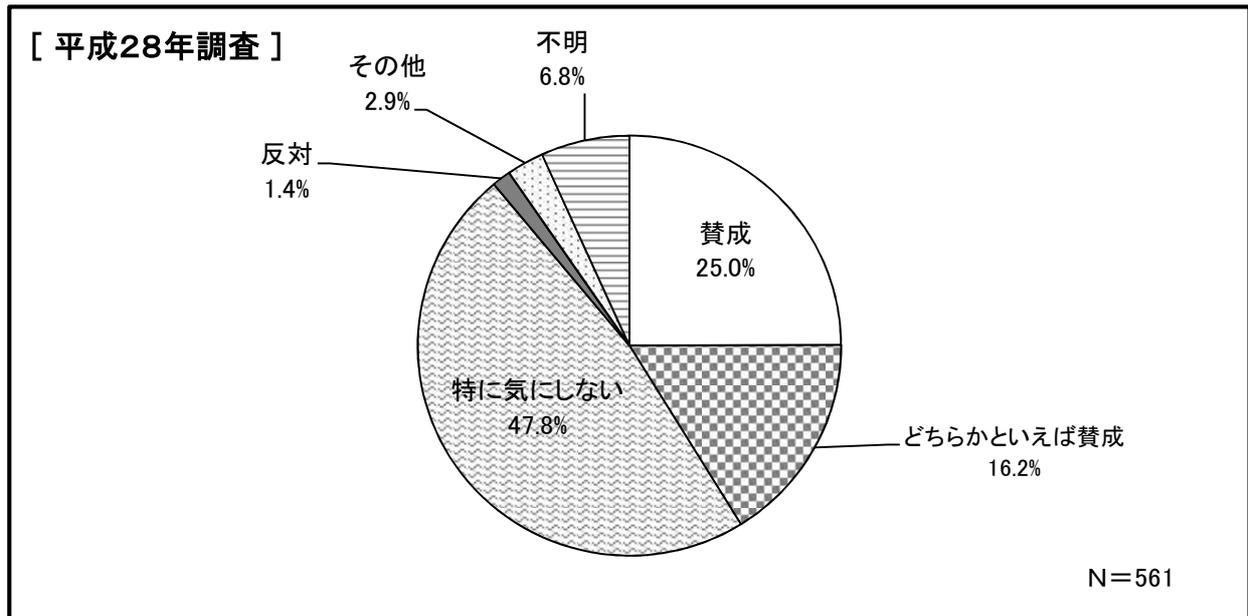
問13 障がい者の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか



障がい者の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですかという質問について、「人々の障がい者に対する理解が足りないこと」と回答した人の割合が最も高く59.7%でした。次いで「就職・職場で不利なあつかいをする」が50.1%となっています。

この結果は、前回(平成23年)、前々回(平成19年)調査と同様の傾向となっています。

問14 職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますか



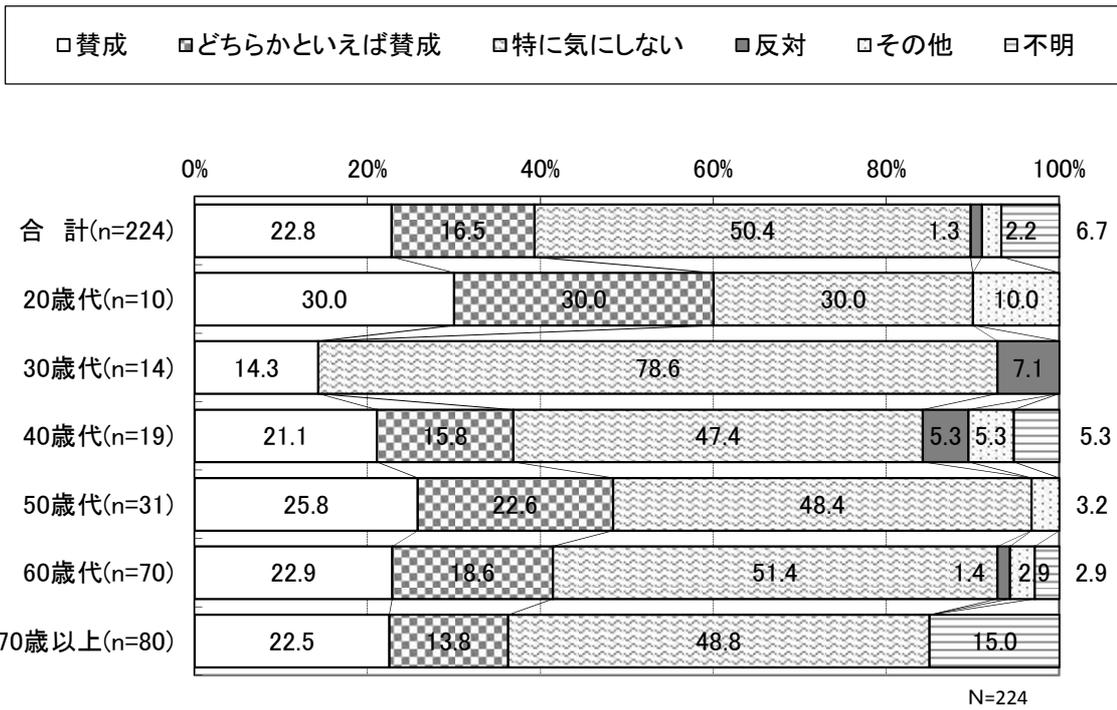
職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますかという質問について、「特に気にしない」と回答した人の割合が最も高く47.8%でした。次いで、「賛成」と回答した人が25%、「どちらかといえば賛成」と回答した人が16.2%となっています。

この結果は、前回(平成23年)調査と同様の傾向となっています。

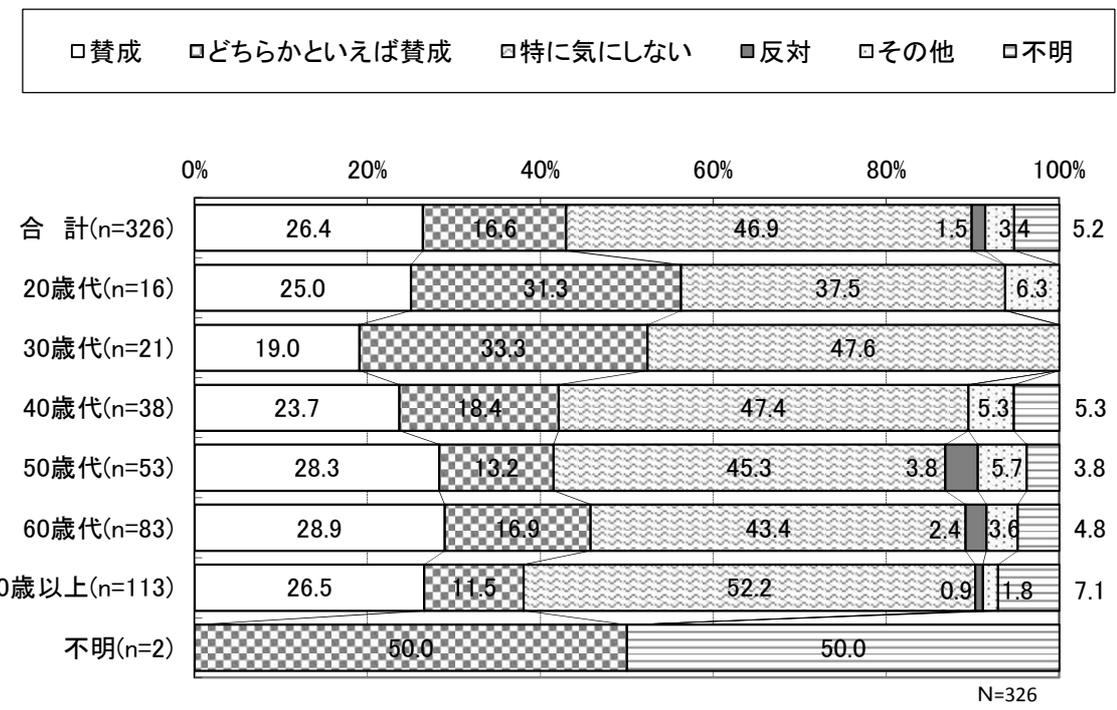
また、「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した人は0.7%、「特に気にしない」と回答した人は1.2%増加しています。

問14 職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますか

(男)



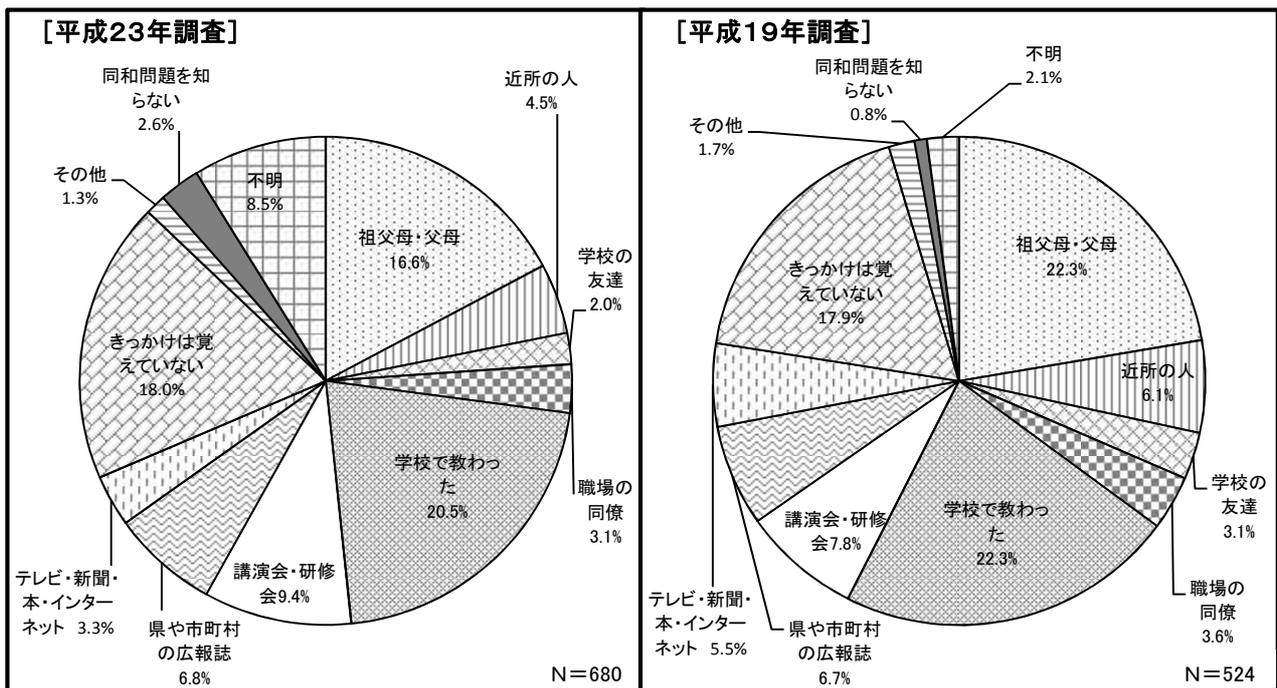
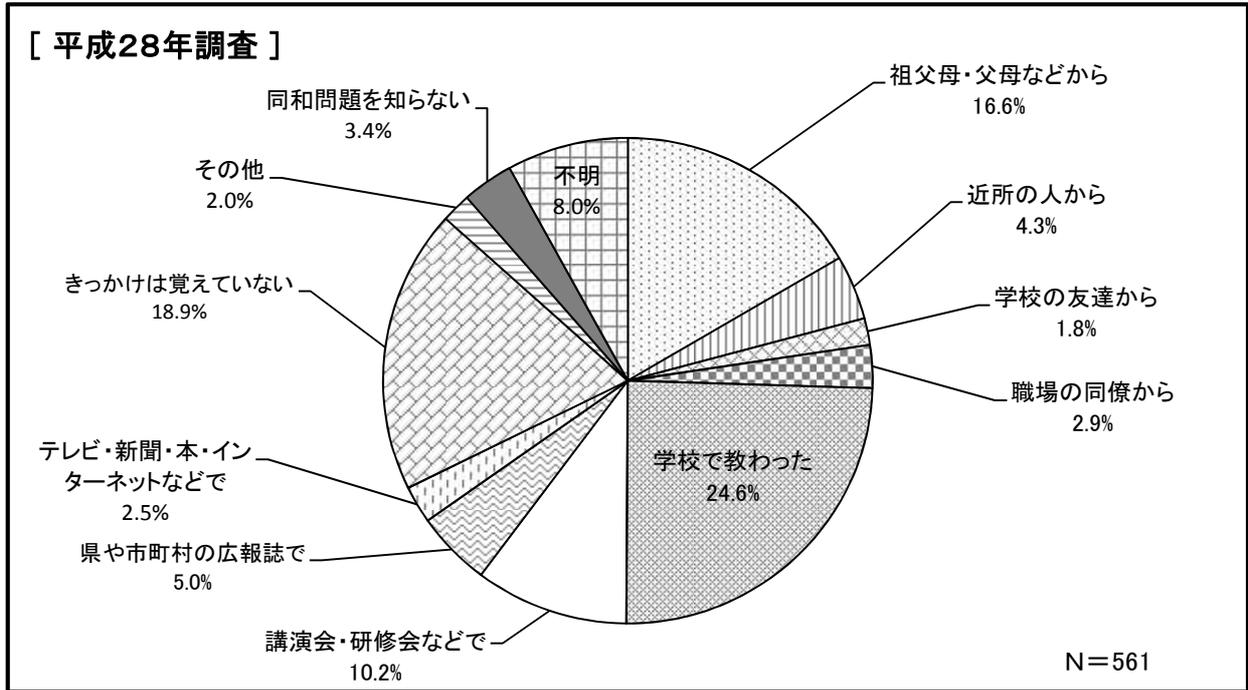
(女)



職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますかという質問について男女別にみると、「賛成」と回答した人の割合が、男性は「20歳代」が30%、女性は「60歳代」が28.9%と最も高くなっています。

「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した人の割合は、男性は39.3%、女性は43%となっています。

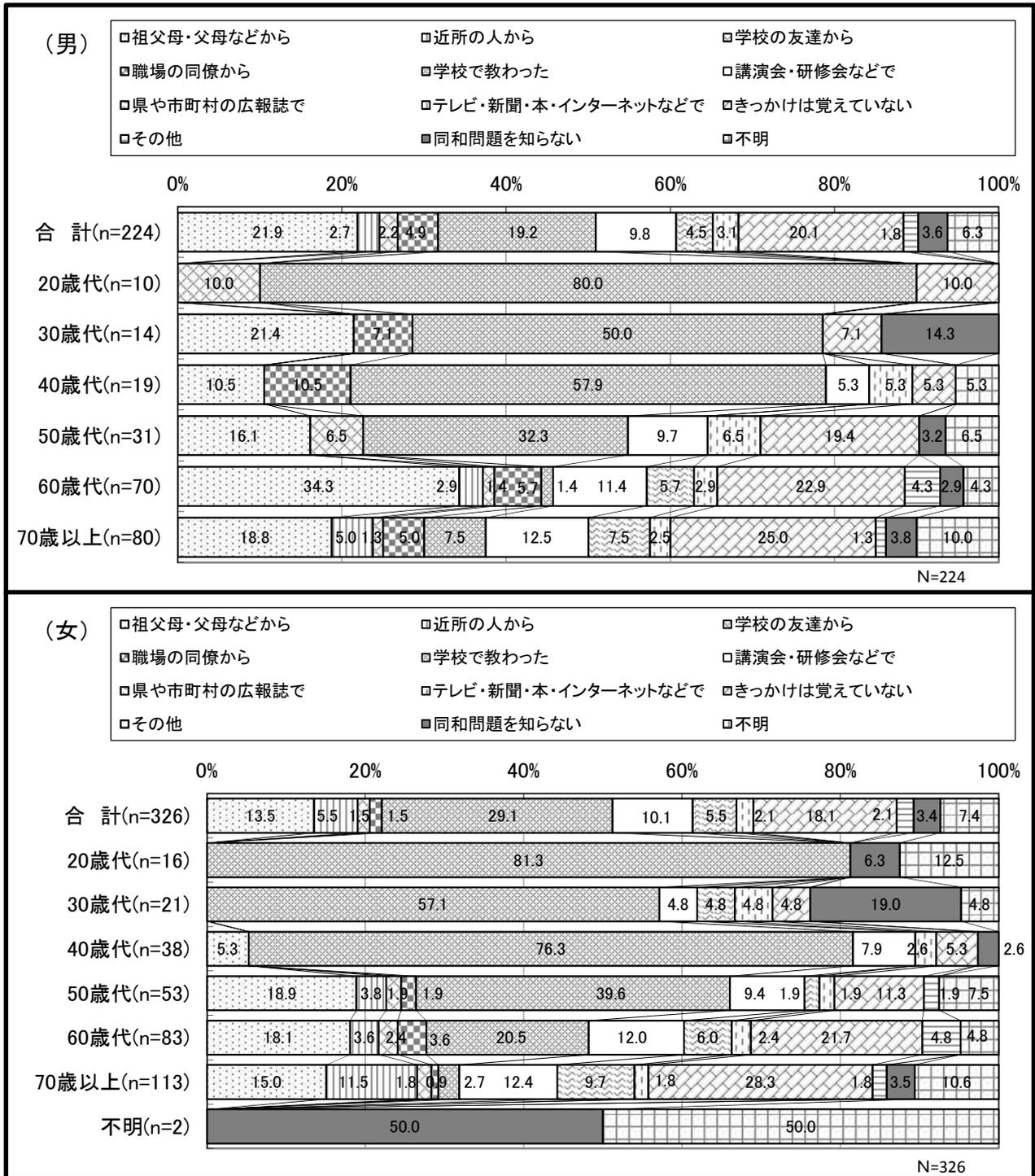
問15 同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですか



同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですかという質問について、「学校で教わった」と回答した人の割合が最も高く24.6%でした。次いで、「同和問題は知っているがきっかけは覚えていない」と回答した人が18.9%、「祖父母・父母などから」と回答した人が16.6%、「講演会・研修会などで」と回答した人が10.2%となっています。

この結果は、前回(平成23年)調査と同様の傾向となっています。

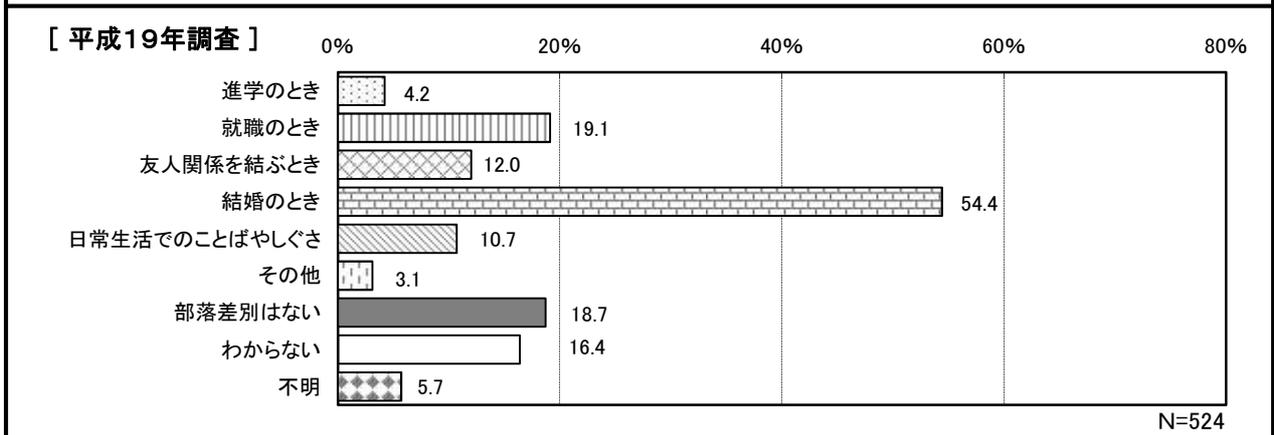
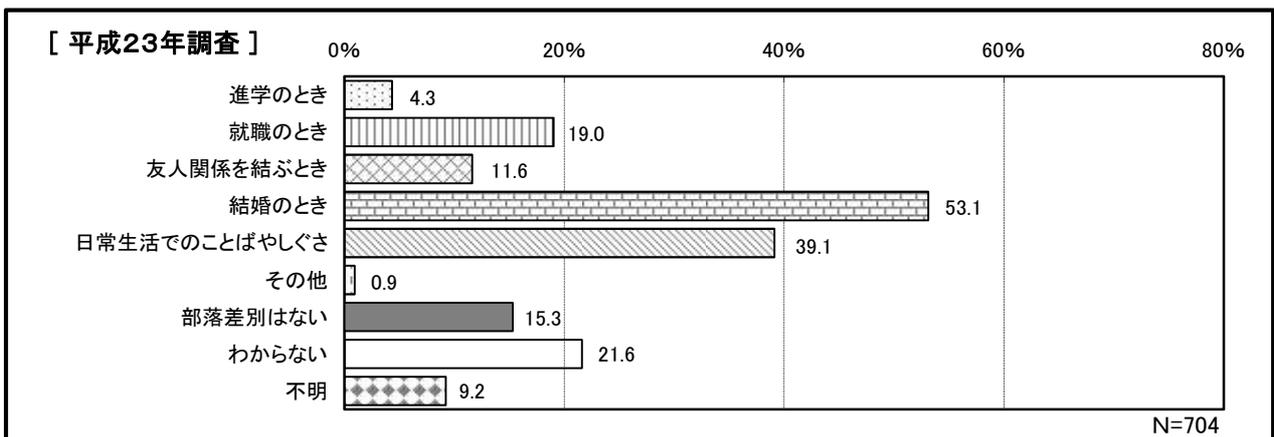
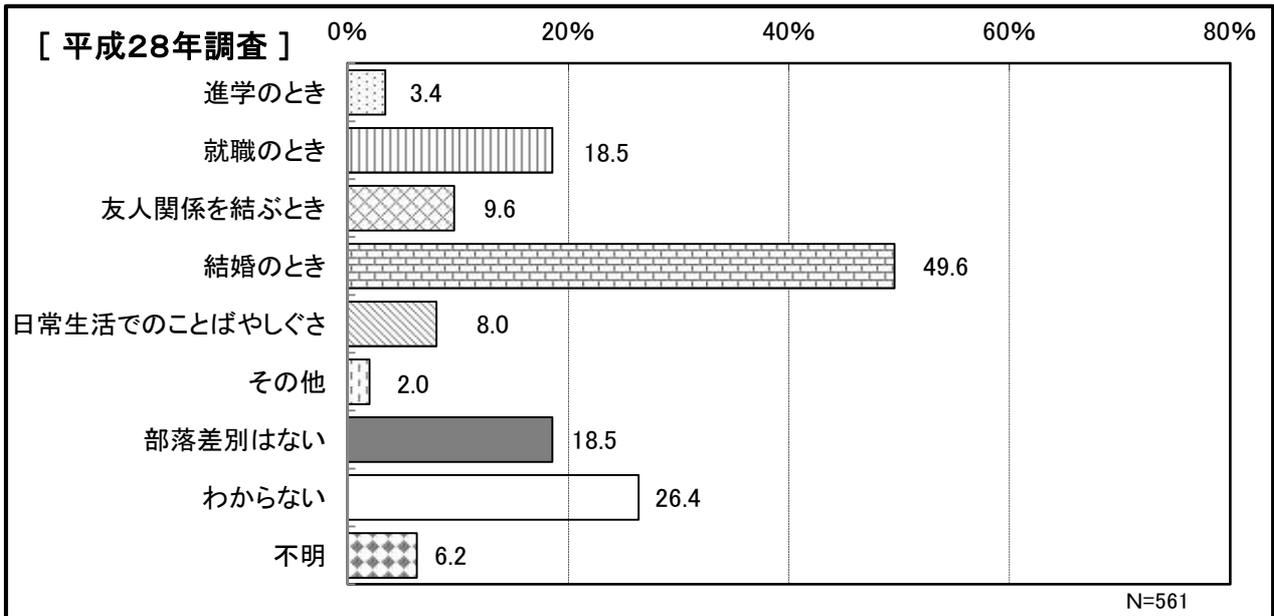
問15 同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですか



同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですかという質問について男女別にみると、男性は「祖父母・父母などから」と回答した人の割合が21.9%と最も高く、次いで「同和問題は知っているがきっかけは覚えていない」が20.1%、「学校で教わった」が19.2%となっています。女性は、「学校で教わった」と回答した人の割合が29.1%と最も高く、次いで「同和問題は知っているがきっかけは覚えていない」が18.1%、「祖父母・父母などから」が13.5%となっています。

男女とも、20歳代から50歳代まで、「学校で教わった」と回答した人の割合が最も高くなっています。

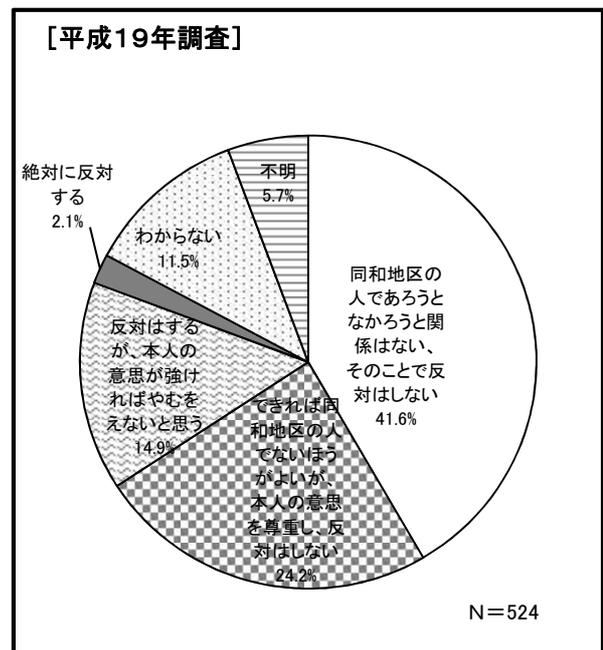
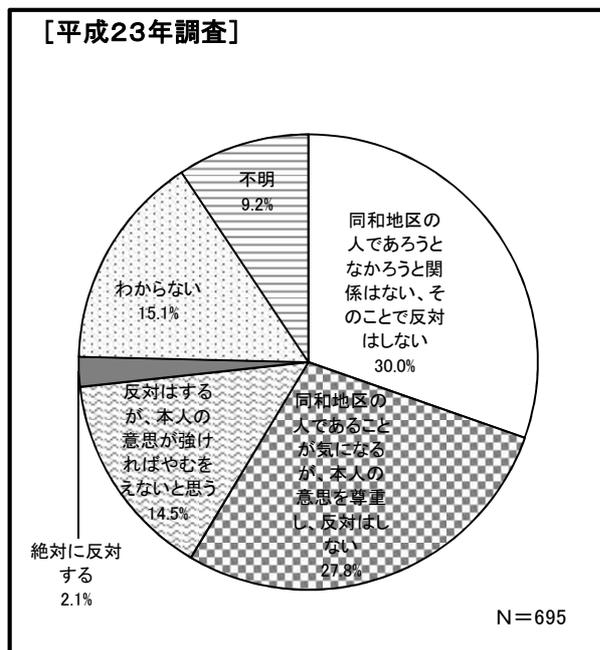
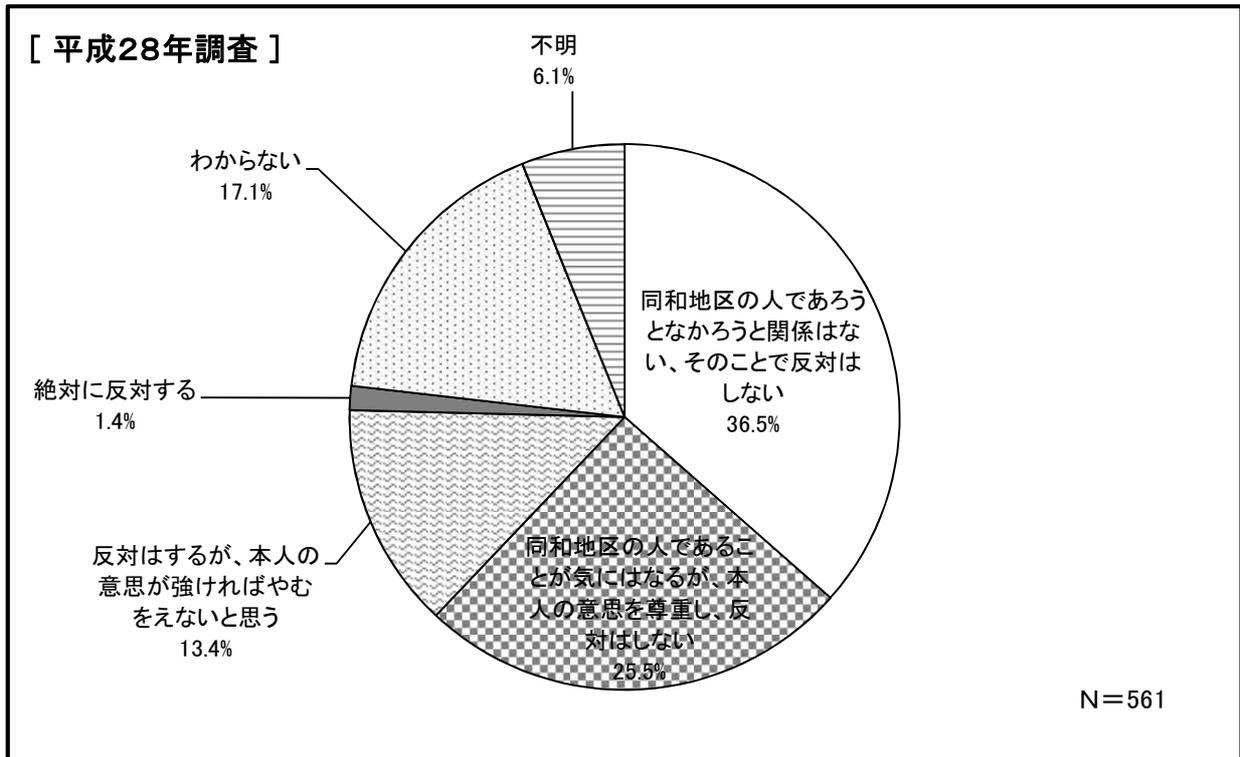
問16 同和問題(部落差別問題)が起こっている場面はどのようなときでしょうか



同和問題(部落差別問題)が起こっている場面はどのようなときでしょうかという質問について、「結婚のとき」と回答した人の割合が最も高く49.6%でした。次いで「わからない」が26.4%となっています。

前回(平成23年)調査と比べると、「日常生活でのことばやしぐさ」と回答した人の割合が大幅に減少しています。

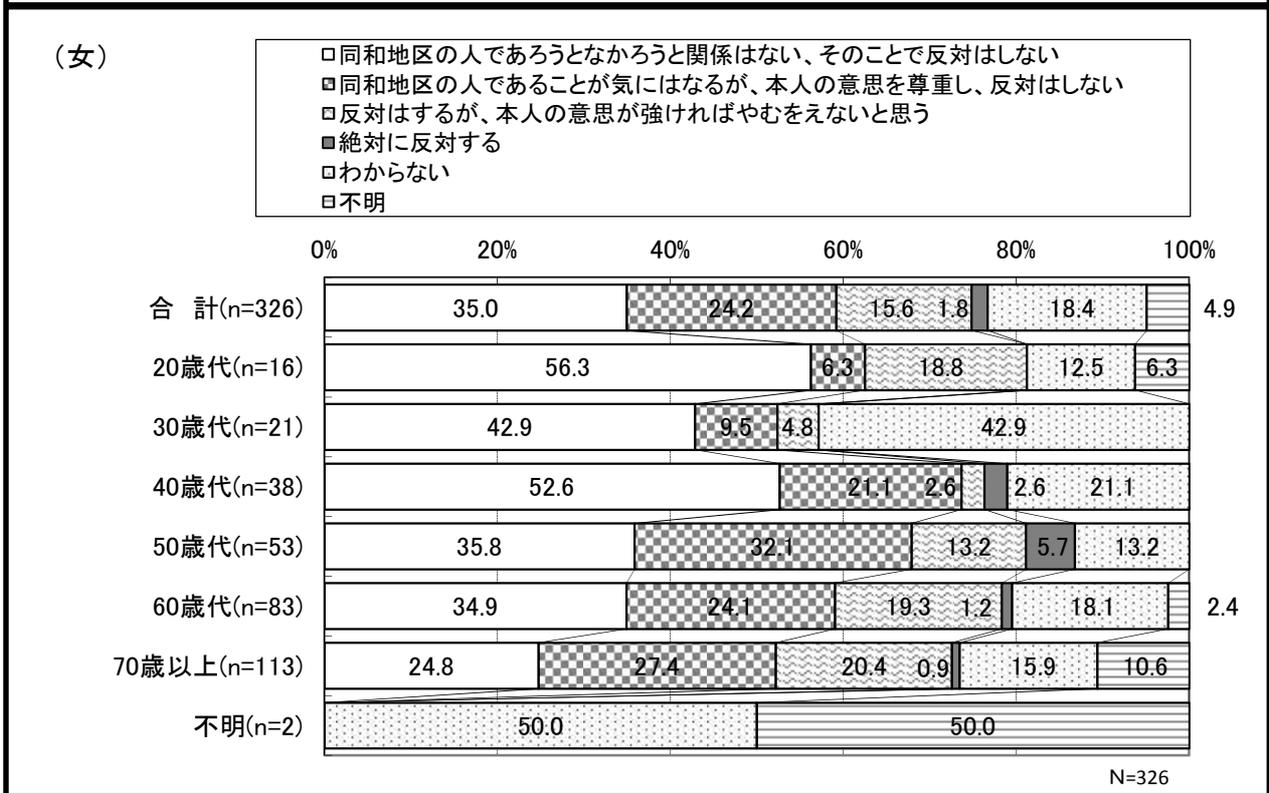
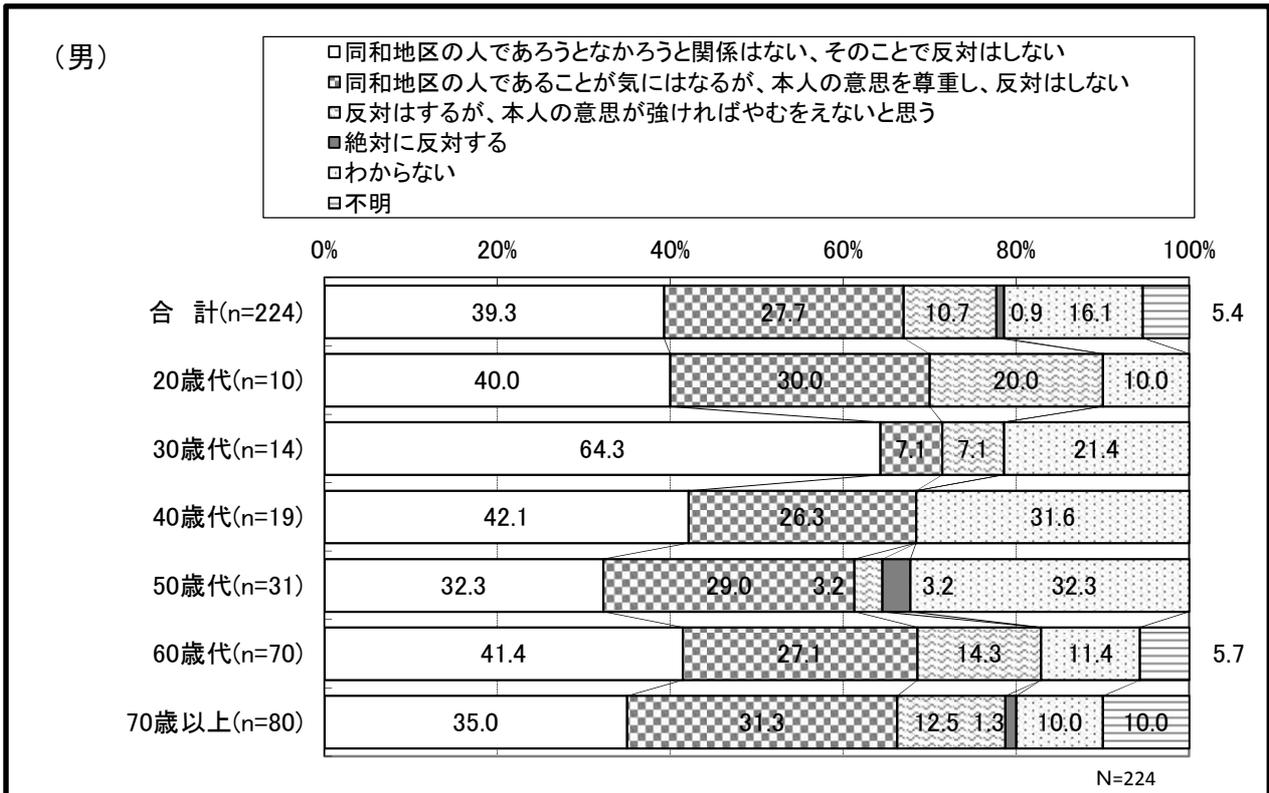
問17 家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考えるでしょうか



家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考えるでしょうかという質問について、「同和地区の人であろうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない」と回答した人の割合が最も高く36.5%でした。次いで、「同和地区の人であることが気になるが、本人の意思を尊重し、反対はしない」と回答した人が25.5%となっています。

前回(平成23年)調査と比べると、「同和地区の人であろうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない」と回答した人の割合は6.5%、「わからない」と回答した人の割合は2%増加しています。その他の4項目については、回答した人の割合は減少をしています。

問17 家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考えるでしょうか



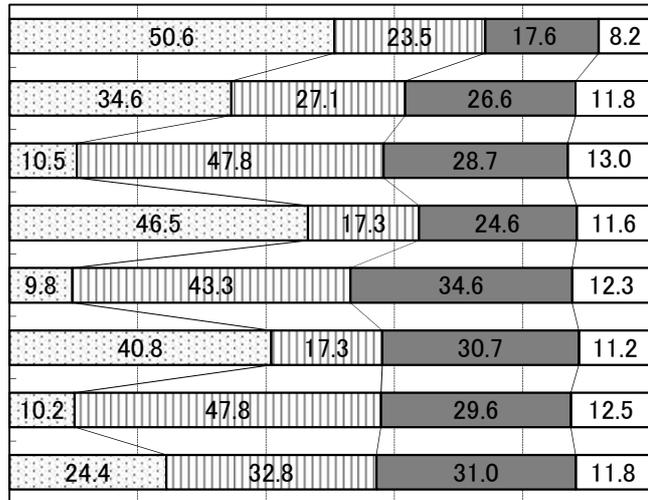
家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考えるでしょうかという質問について男女別にみると、「同和地区の人であろうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない」と回答した人の割合は、男性が39.3%、女性は35%となっています。年代別では、男性は「30歳代」が64.3%、女性は「20歳代」が56.3%と最も高くなっています。

問18 同和問題(部落差別問題)をなくす方法について、次のア～クのような意見があります。あなたはどのように思いますか

[平成28年調査]

□そう思う □そう思わない □わからない □不明

- ア 差別差別と騒がないで、そっとおけば、差別はなくなる
- イ 同和地区の人々が、安定した仕事に就き暮らしが良くなれば、差別はなくなる
- ウ 同和地区の人々が、もっと積極的に差別の不当性を訴えて、人々に働きかければ、差別はなくなる
- エ 私たちが、もっと人権意識にめざめ、差別を許さない態度と行動力を身につければ、差別はなくなる
- オ 同和地区の人々が、分散して住むようにすれば、差別はなくなる
- カ 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、まちづくりを進めれば、差別はなくなる
- キ 法律で差別を禁止すれば、差別はなくなる
- ク 同和問題の学習や研修の機会を増やせば、差別はなくなる

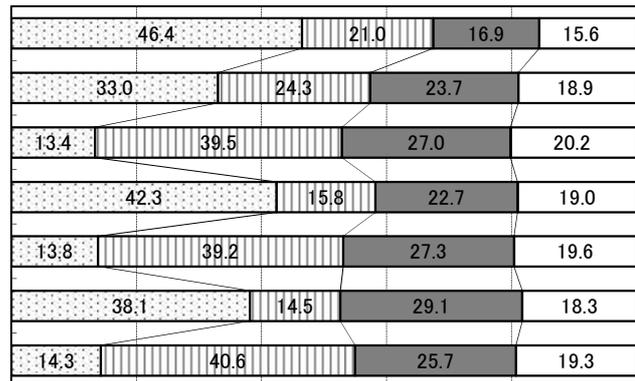


N=561

[平成23年調査]

□そう思う □そう思わない □わからない □不明

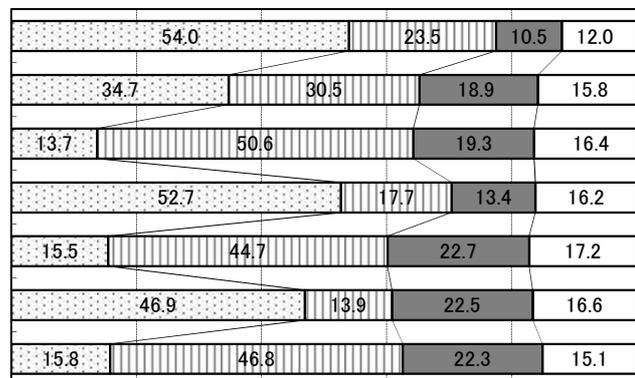
- ア 差別差別と騒がないで、そっとおけば部落差別はなくなる
- イ 同和地区の人々が安定した仕事に就き暮らしが良くなれば、部落差別はなくなる
- ウ 同和地区の人々が、もっと積極的に差別の不当性を訴えて、人々に働きかければ差別はなくなる
- エ 私たちが、もっと人権意識にめざめ、差別を許さない態度と行動力を身につければ、差別はなくなる
- オ 同和地区の人々が、分散して住むようにすれば差別はなくなる
- カ 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、まちづくりを進めれば差別はなくなる
- キ 法律で差別を禁止すれば差別はなくなる



[平成19年調査]

□そう思う □そう思わない □わからない □不明

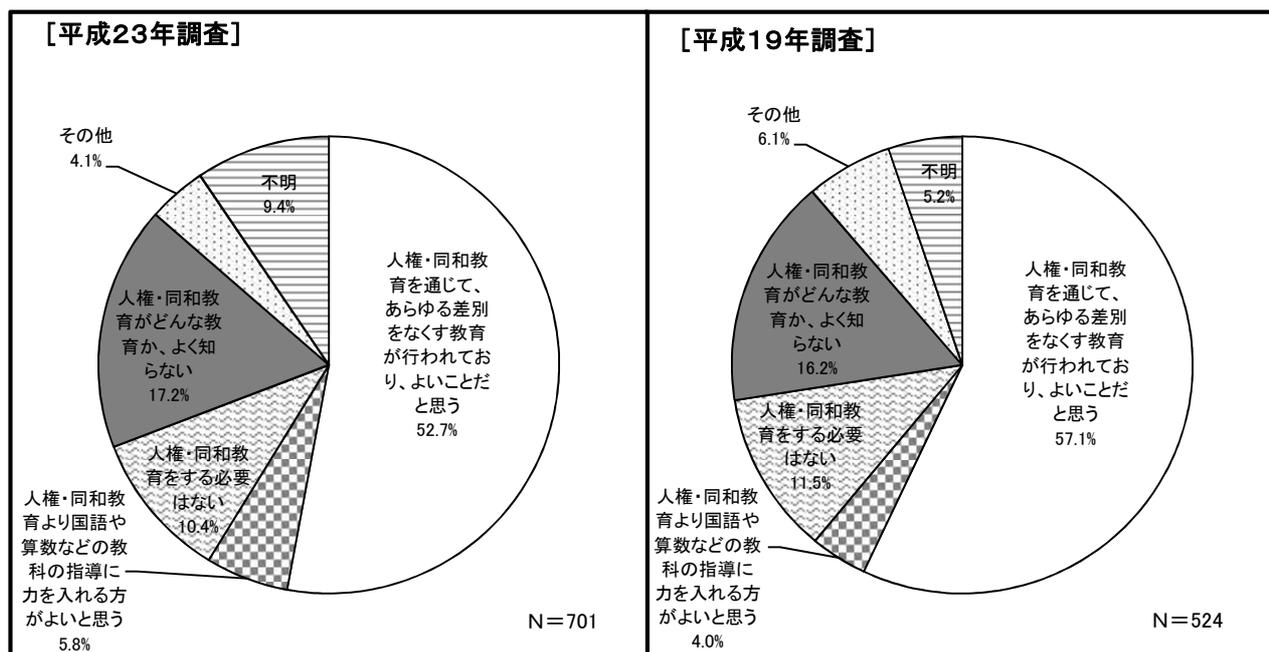
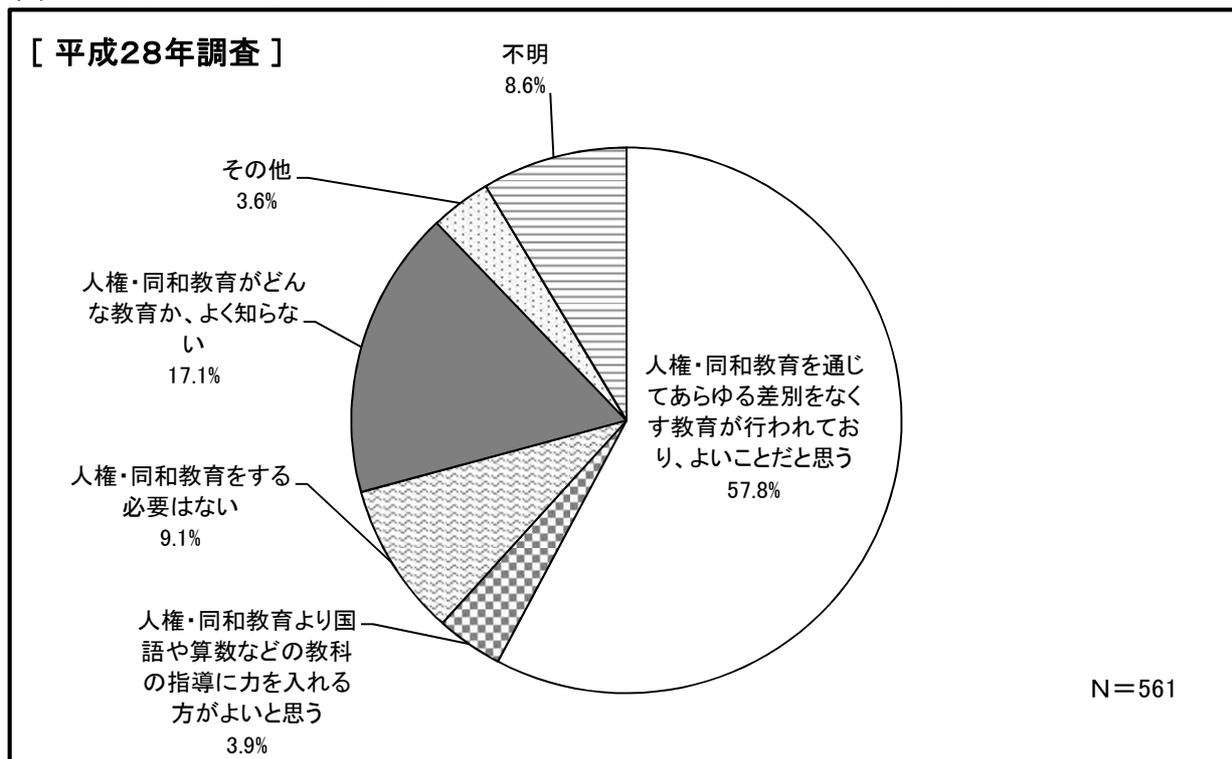
- ア 差別差別と騒がないで、そっとおけば差別はなくなる
- イ 同和地区の人々が安定した仕事に就き暮らしが良くなれば、部落差別はなくなる
- ウ 同和地区の人々が、もっと積極的に差別の不当性を訴えて、人々に働きかければ、差別はなくなる
- エ 私たちが、もっと人権意識にめざめ、差別を許さない態度と行動力を身につければ、差別はなくなる
- オ 同和地区の人々が、分散して住むようにすれば差別はなくなる
- カ 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、まちづくりを進めれば部落差別はなくなる
- キ 法律で差別を禁止すれば部落差別はなくなる



同和問題(部落差別問題)をなくす方法について、次のア～クのような意見があります。あなたはどのように思いますかという質問について、ア(50.6%)、イ(34.6%)、エ(46.5%)、カ(40.8%)については「そう思う」と回答した人の割合が最も高く、ウ(47.8%)、オ(43.3%)、キ(47.8%)、ク(32.8%)については「そう思わない」と回答した人の割合が最も高くなっています。

前回(平成23年)、前々回(平成19年)調査と比べても、新たに追加した「ク」の質問を除き、同様の傾向となっています。

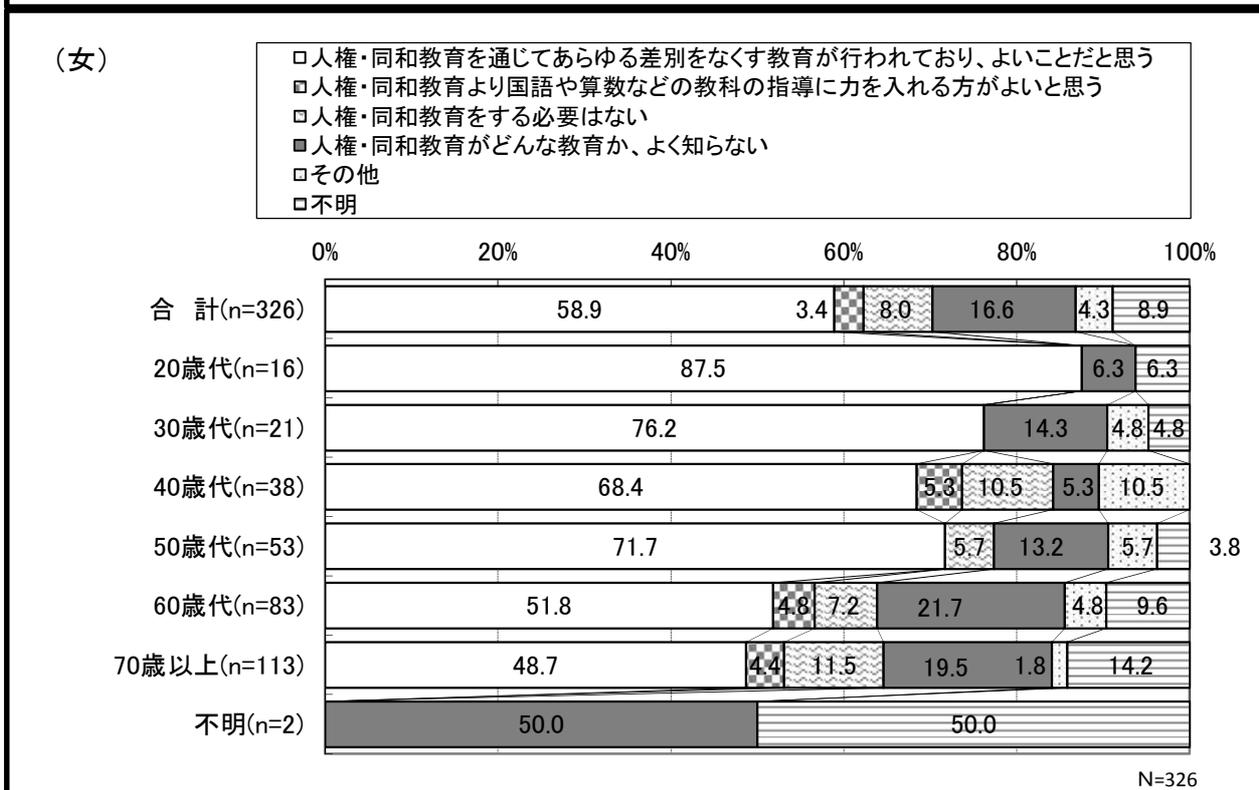
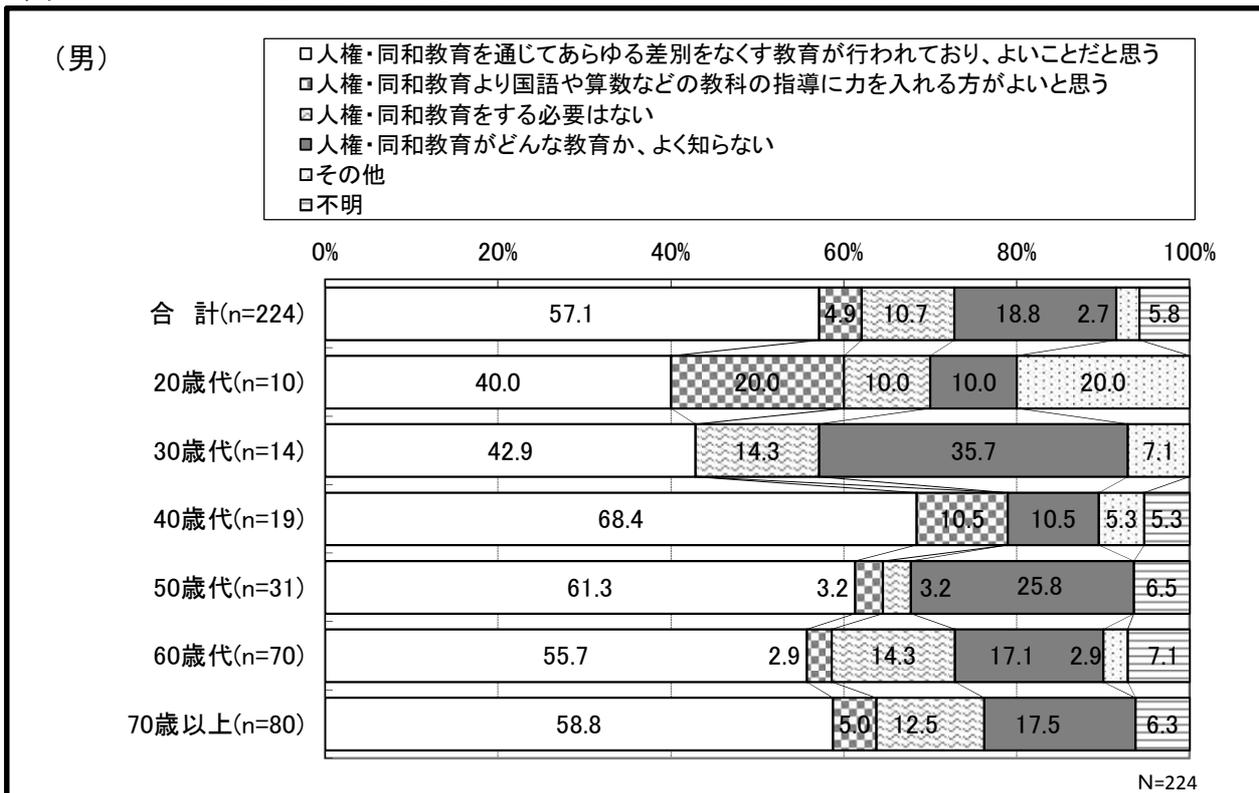
問19 学校で「人権・同和教育」が行われていますが、あなたはどのようなお考えですか



学校で「人権・同和教育」が行われていますが、あなたはどのようなお考えですかという質問について、「人権・同和教育を通じてあらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」と回答した人の割合が最も高く57.8%でした。次いで、「人権・同和教育がどんな教育か、よく知らない」と回答した人が17.1%、「人権・同和教育をする必要はない」と回答した人が9.1%となっています。

前回(平成23年)調査と比べると、「人権・同和教育を通じてあらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」と回答した人の割合は5.1%増加し、「人権・同和教育をする必要はない」と回答した人の割合は1.3%減少しています。

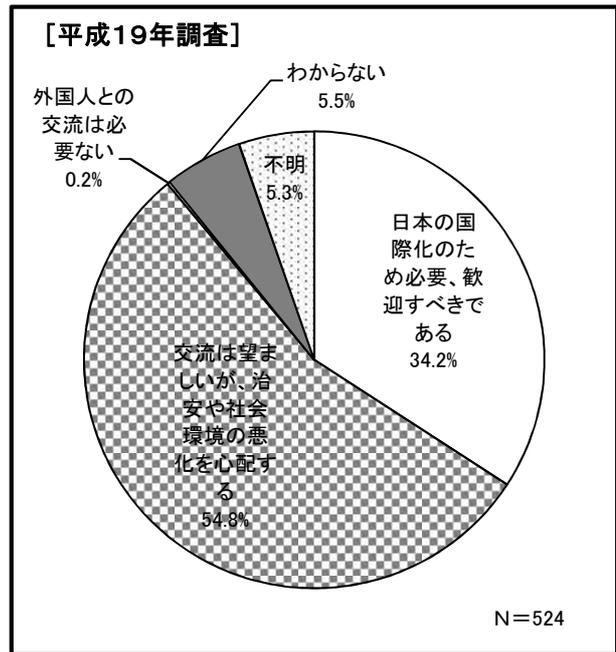
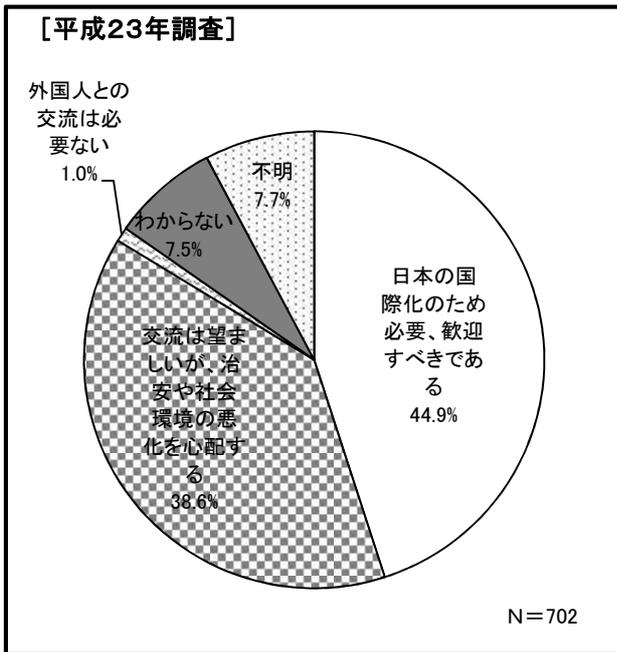
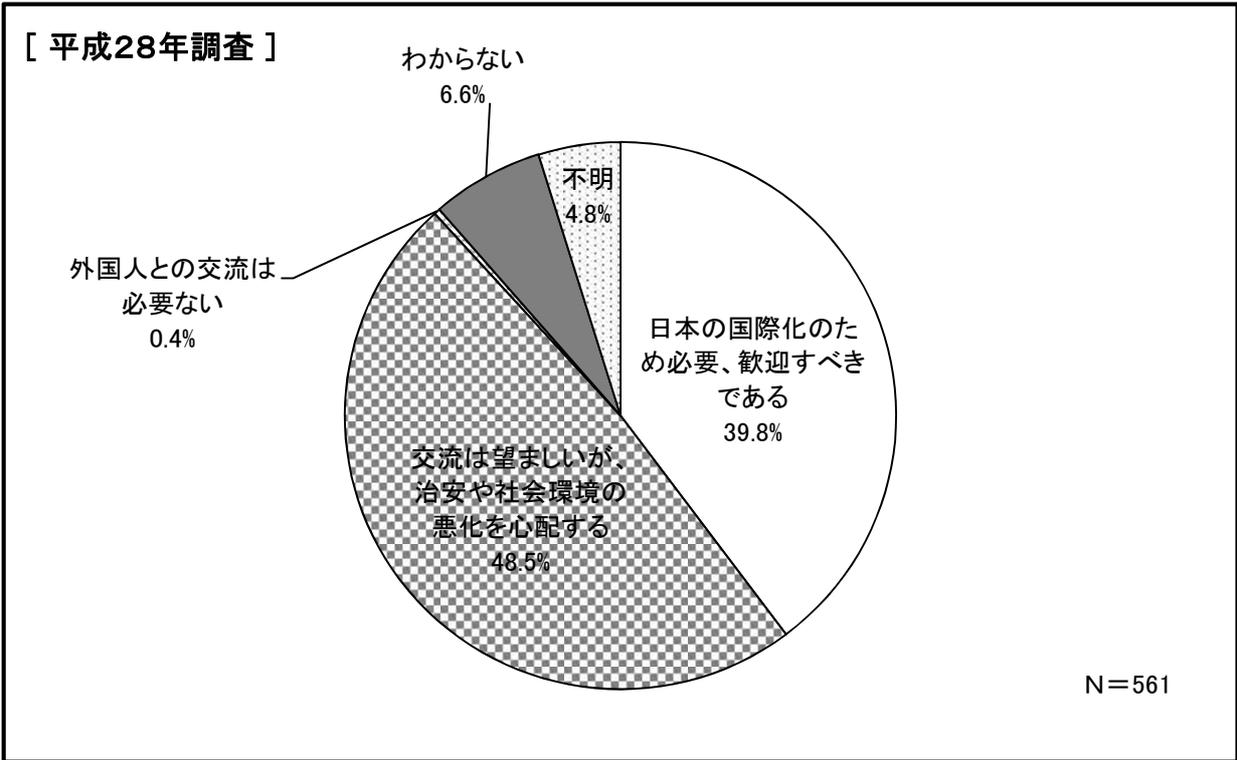
問19 学校で「人権・同和教育」が行われていますが、あなたはどのようなお考えですか



学校で「人権・同和教育」が行われていますが、あなたはどのようなお考えですかという質問について男女別にみると、「人権・同和教育を通じてあらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」と回答した人の割合は、男性が57.1%、女性は58.9%となっています。

年代別では、男性は「40歳代」が68.4%、女性は「20歳代」が87.5%と最も高くなっています。男女各年代とも「人権・同和教育を通じてあらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」と回答した人の割合が最も高くなっています。

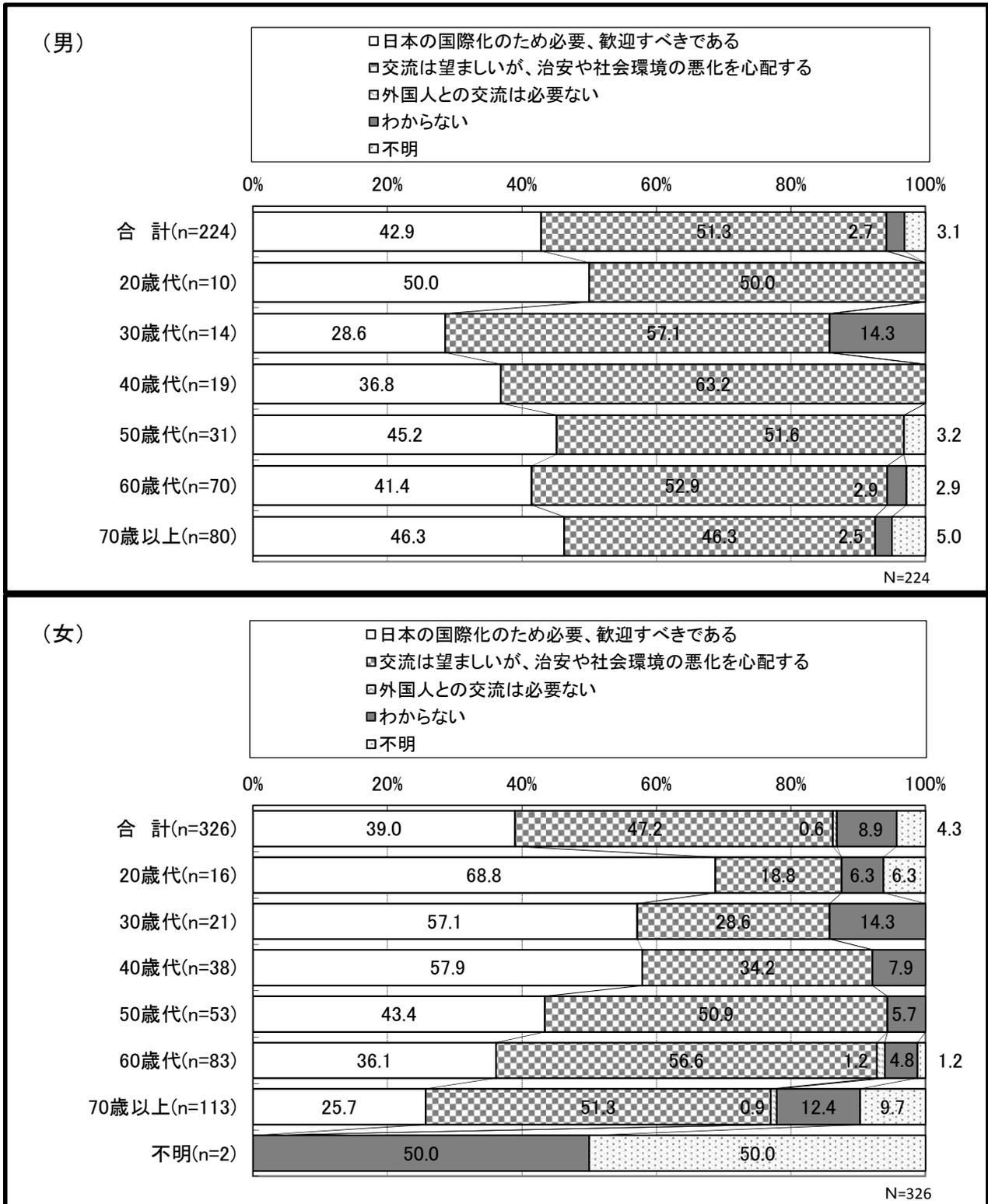
問20 日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることを、どう思いますか



日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることを、どう思いますかという質問について、「交流は望ましいが、治安や社会環境の悪化を心配する」と回答した人の割合が最も高く48.5%でした。次いで、「日本の国際化のため必要、歓迎すべきである」と回答した人が39.8%となっています。

前回(平成23年)調査と比べると、「日本の国際化のため必要、歓迎すべきである」と回答した人の割合は5.1%減少し、「交流は望ましいが、治安や社会環境の悪化を心配する」と回答した人の割合は9.9%増加しています。

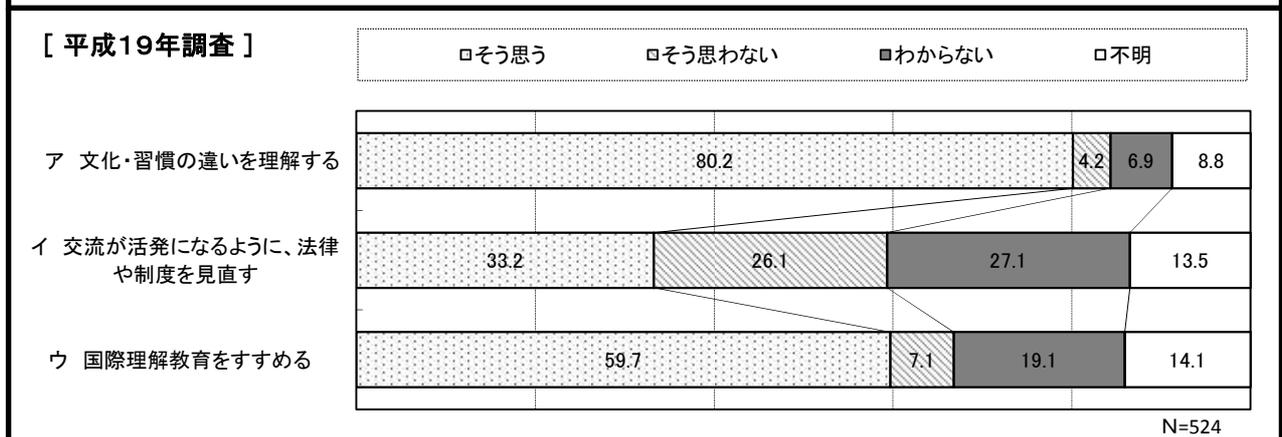
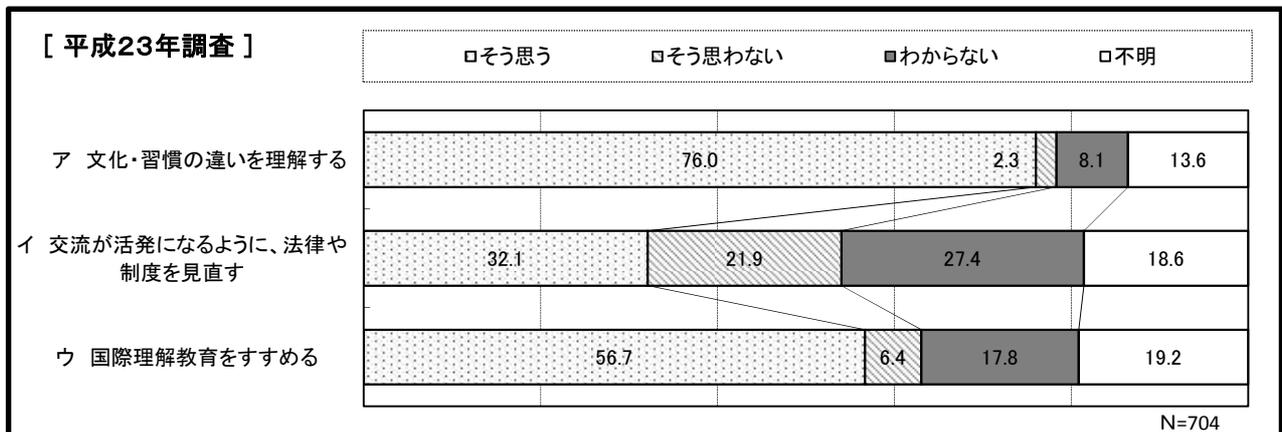
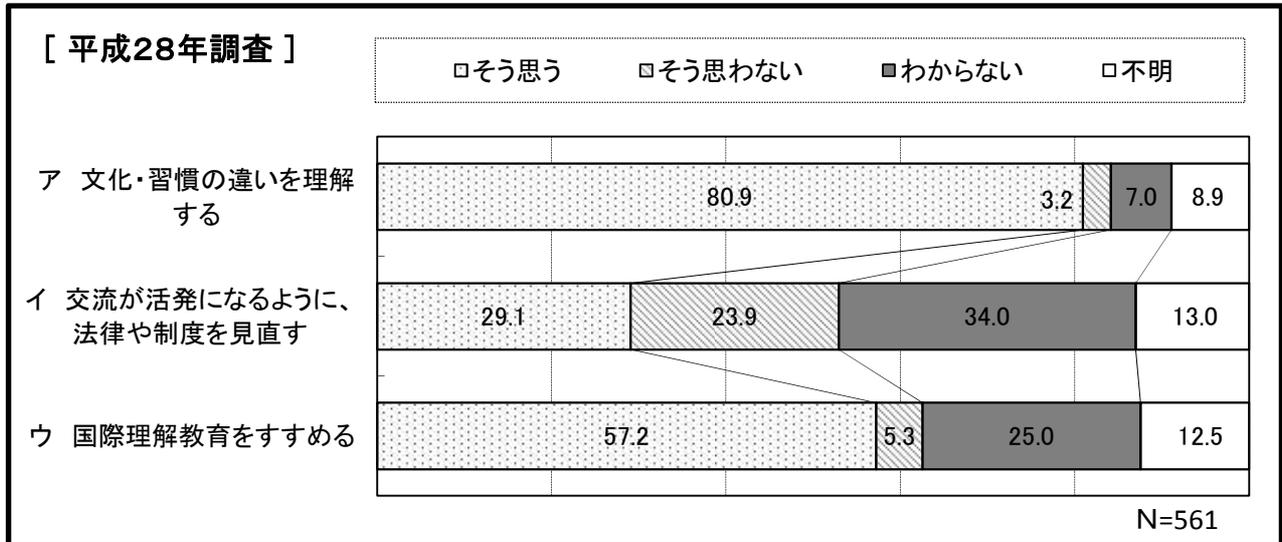
問20 日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることを、どう思いますか



日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることを、どう思いますかという質問について男女別にみると、「日本の国際化のため必要、歓迎すべきである」と回答した人の割合は、男性が42.9%、女性は39%となっています。年代別では、男女とも「20歳代」が最も高くなっています。

「交流は望ましいが、治安や社会環境の悪化を心配する」と回答した人の割合は、男性が51.3%、女性は47.2%となっています。年代別では、男性は「40歳代」が63.2%、女性は「60歳代」が56.6%と最も高くなっています。

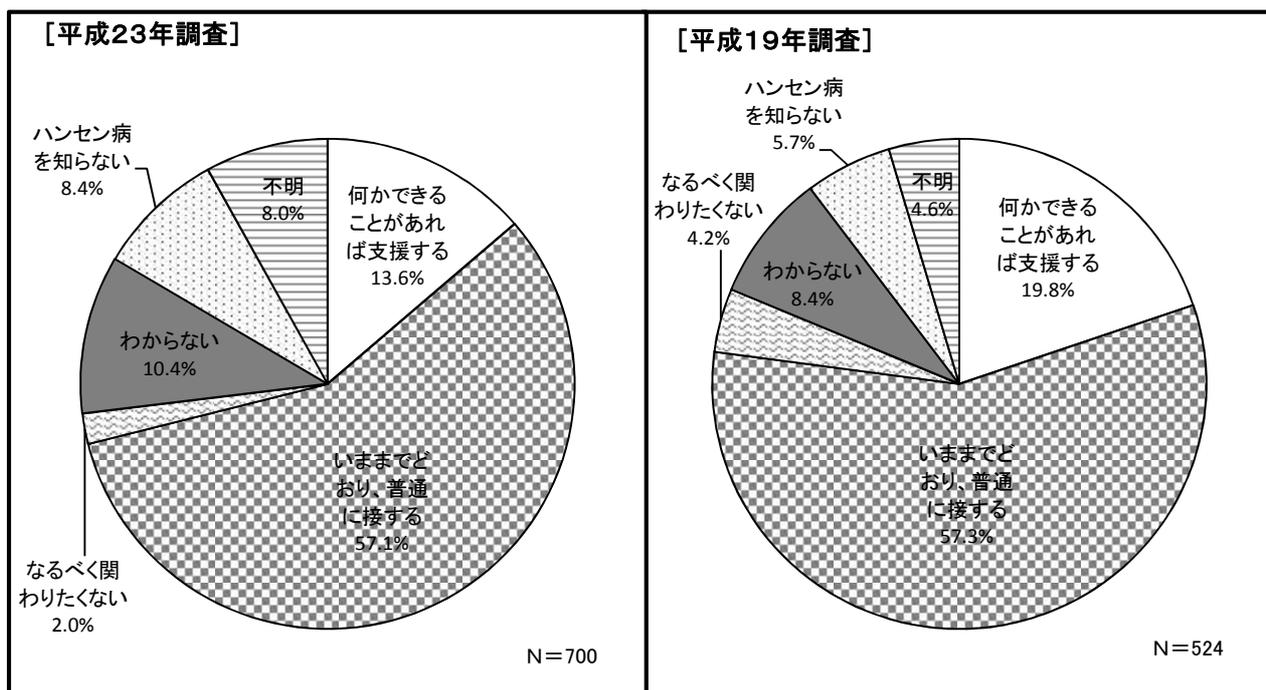
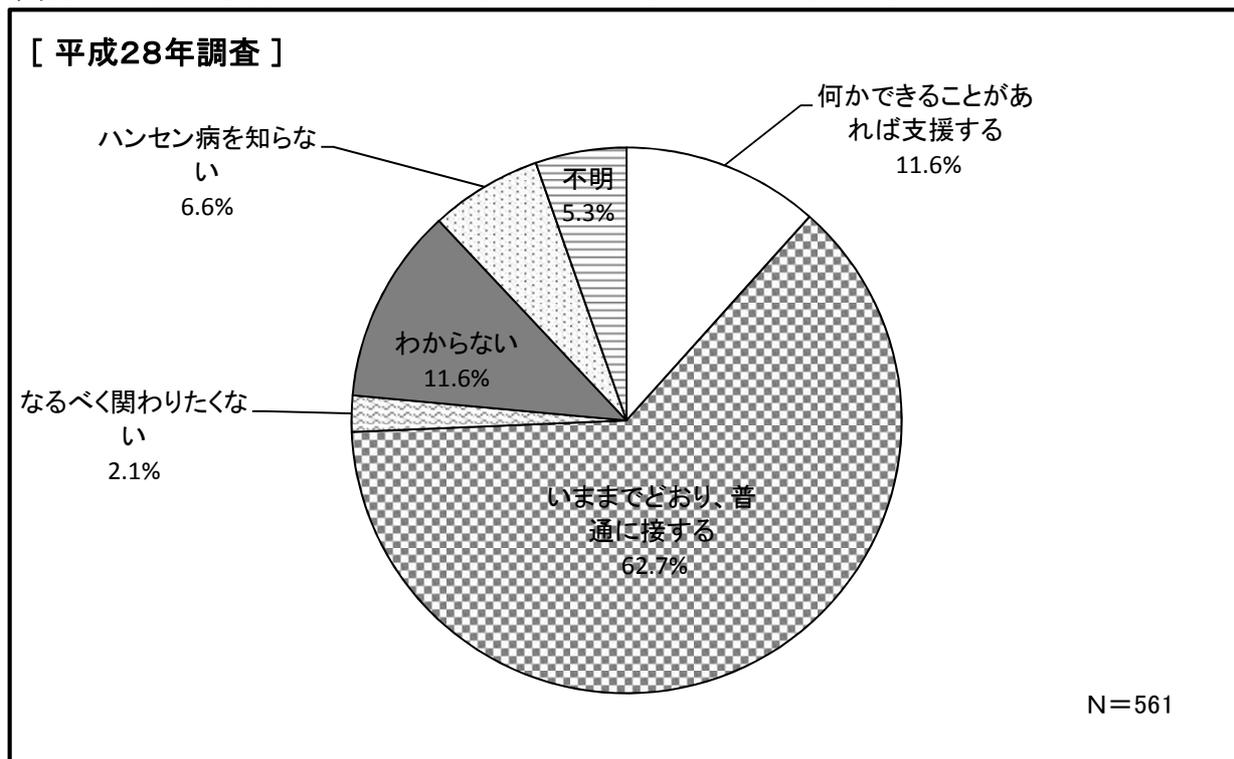
問21 日本に住む外国人の人権を守るために次のような意見がありますが、あなたはどのように思いますか



日本に住む外国人の人権を守るために次のような意見がありますが、あなたはどのように思いますかという質問について、「そう思う」と回答した人の割合は、「文化・習慣の違いを理解する」では80.9%、「交流が活発になるように、法律や制度を見直す」では29.1%、「国際理解教育をすすめる(国際交流員や青年海外協力隊員から世界の実情を学ぶ)」では57.2%となっています。

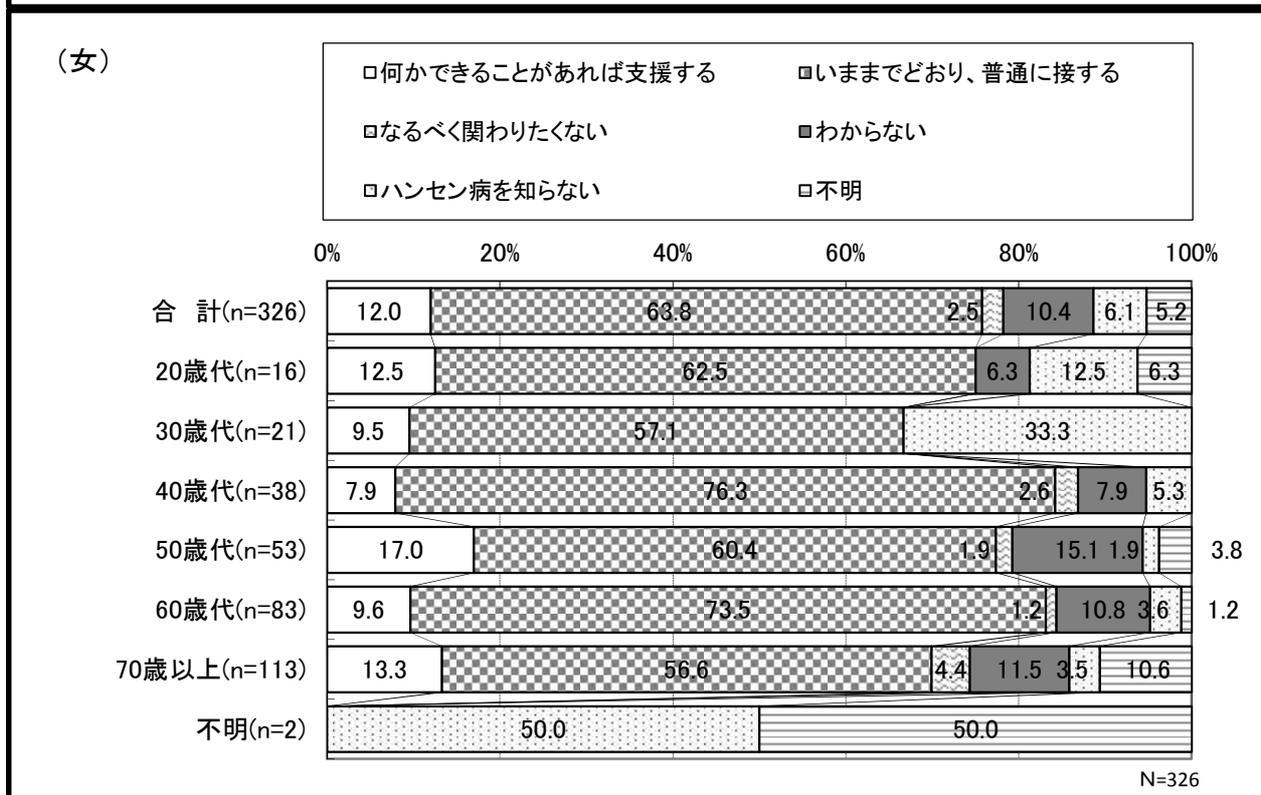
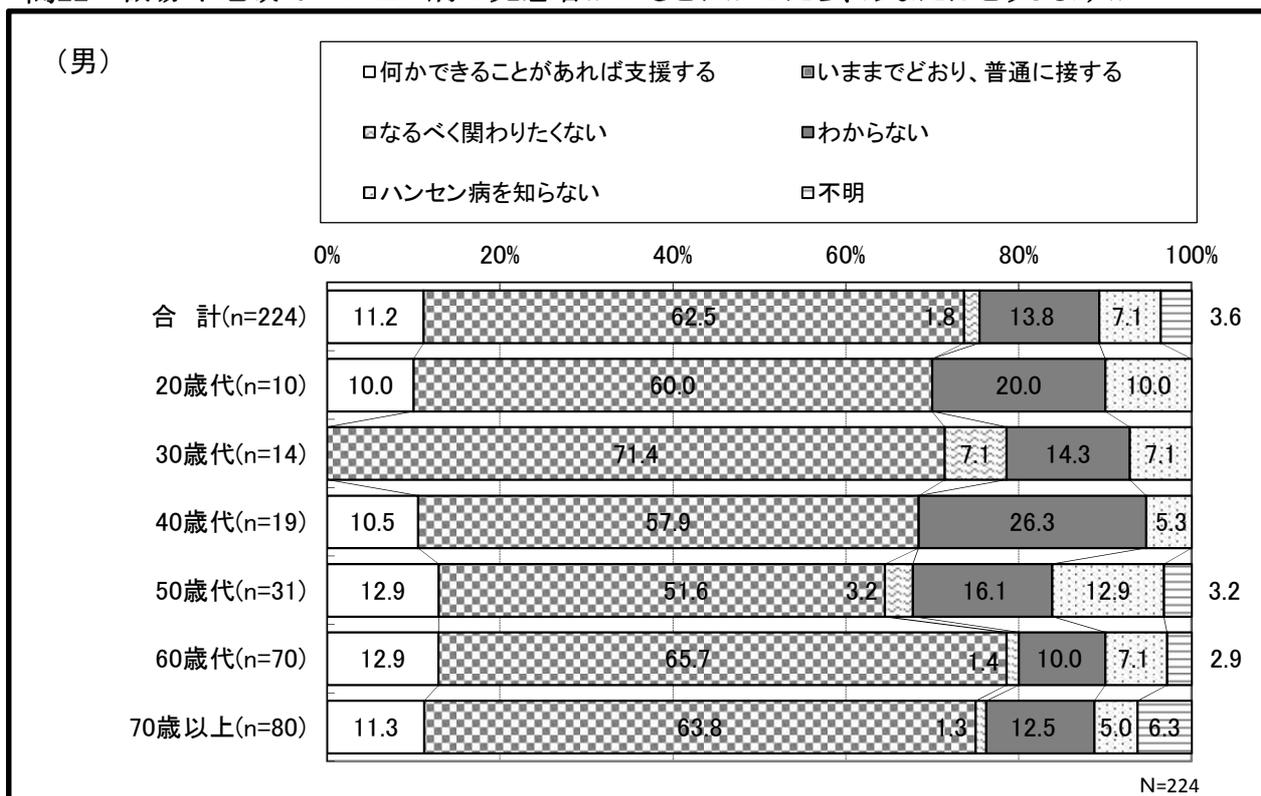
前回(平成23年)調査と比べると、「そう思う」と回答した人の割合が「文化・習慣の違いを理解する」では4.9%、「国際理解教育をすすめる(国際交流員や青年海外協力隊員から世界の実情を学ぶ)」では0.5%増加し、「交流が活発になるように、法律や制度を見直す」と回答した人の割合は3%減少しています。

問22 職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、あなたはどうしますか



職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、あなたはどうしますかという質問について、「いままでどおり、普通に接する」と回答した人の割合が最も高く62.7%でした。前回(平成23年)調査と比べると、「何かできることがあれば支援する」と回答した人の割合は2%減少し、「いままでどおり、普通に接する」と回答した人の割合は5.6%増加しています。

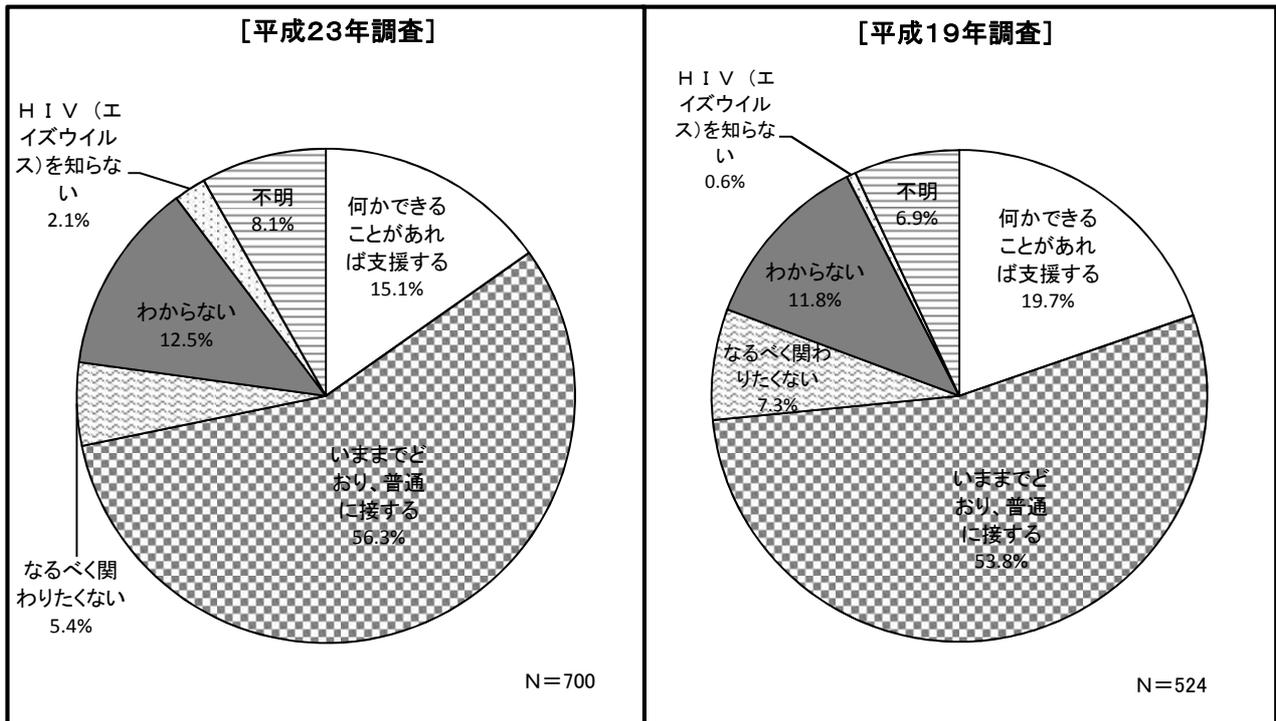
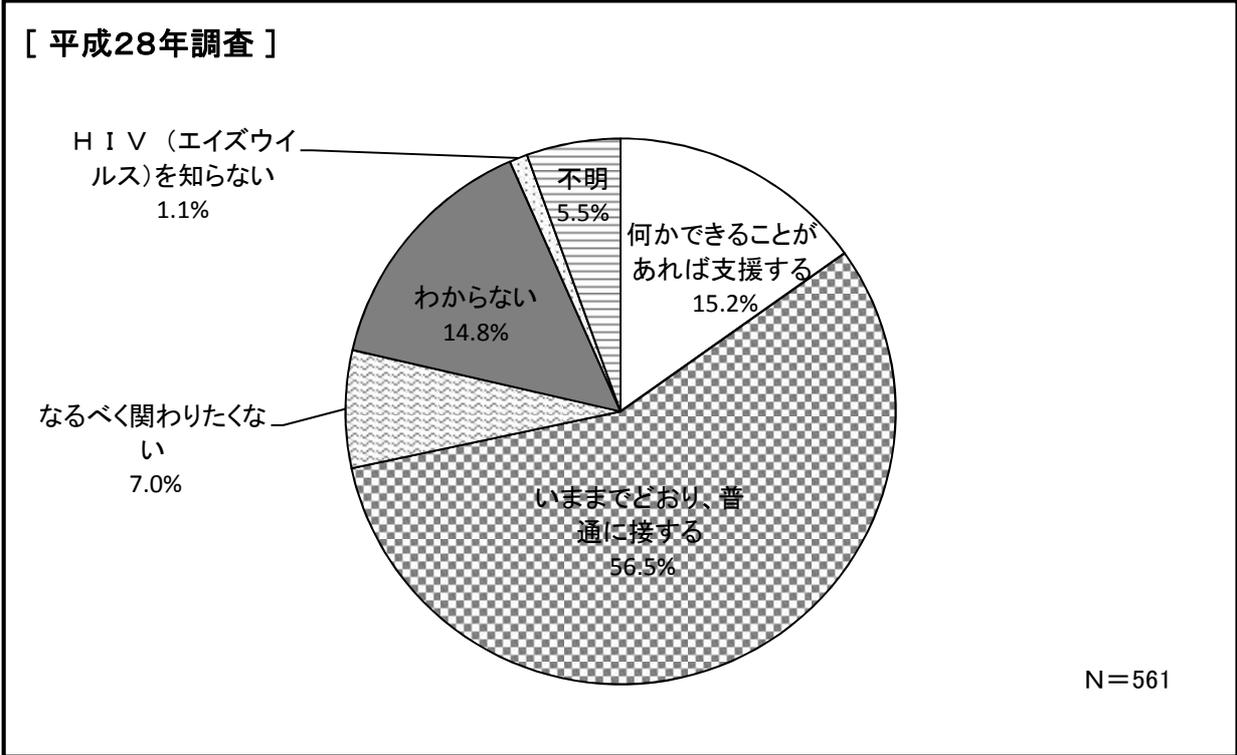
問22 職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、あなたはどうしますか



職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、あなたはどうしますかという質問について男女別にみると、「何かできることがあれば支援する」と回答した人の割合は、男性が11.2%、女性は12%となっています。

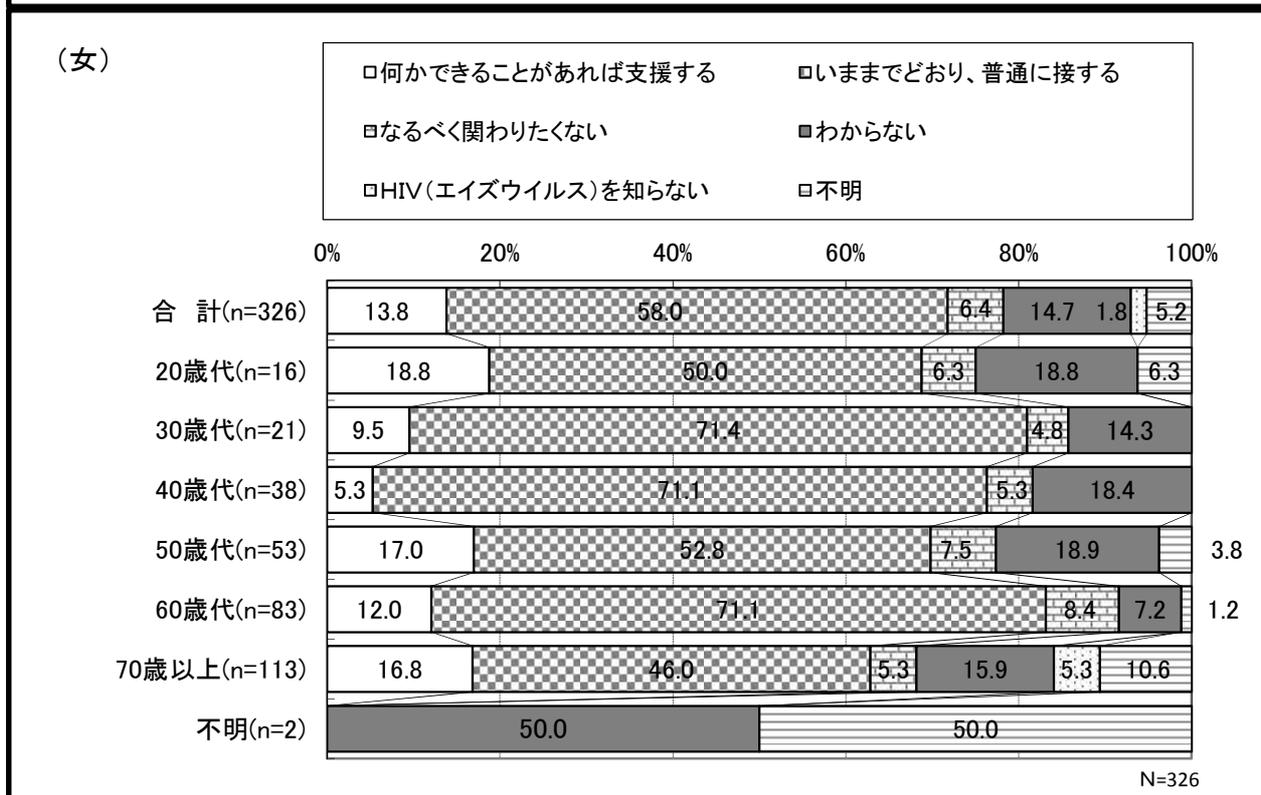
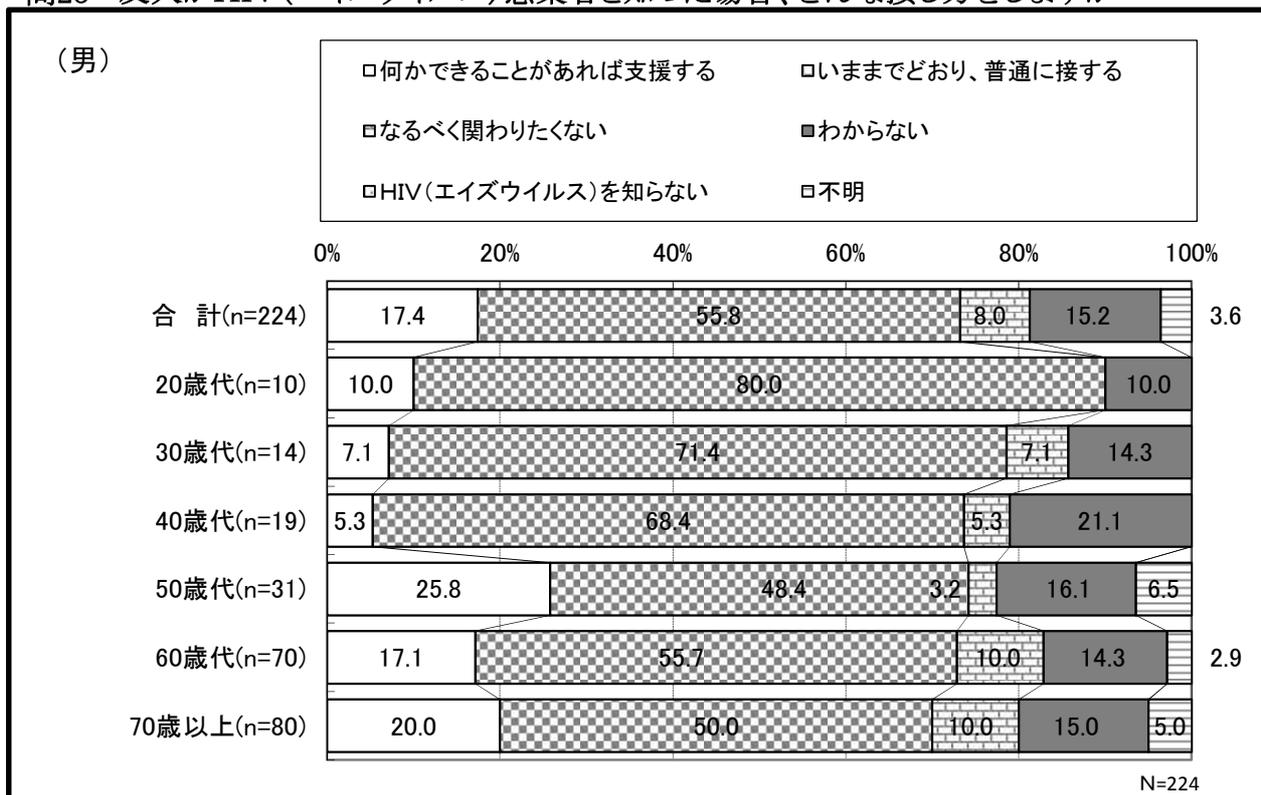
年代別では、男性は「50歳代」と「60歳代」が12.9%、女性は「50歳代」が17%と最も高くなっています。男女各年代共に「いままでどおり、普通に接する」と回答した人の割合が最も高くなっています。

問23 友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をしますか



友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をしますかという質問について、「いまでどおり、普通に接する」と回答した人の割合が最も高く56.5%でした。前回(平成23年)調査と比べると、ほぼ同様の傾向となっていますが、「なるべく関わりたくない」と回答した人が1.6%増加し、「不明」が2.6%減少して順位が入れ替わっています。

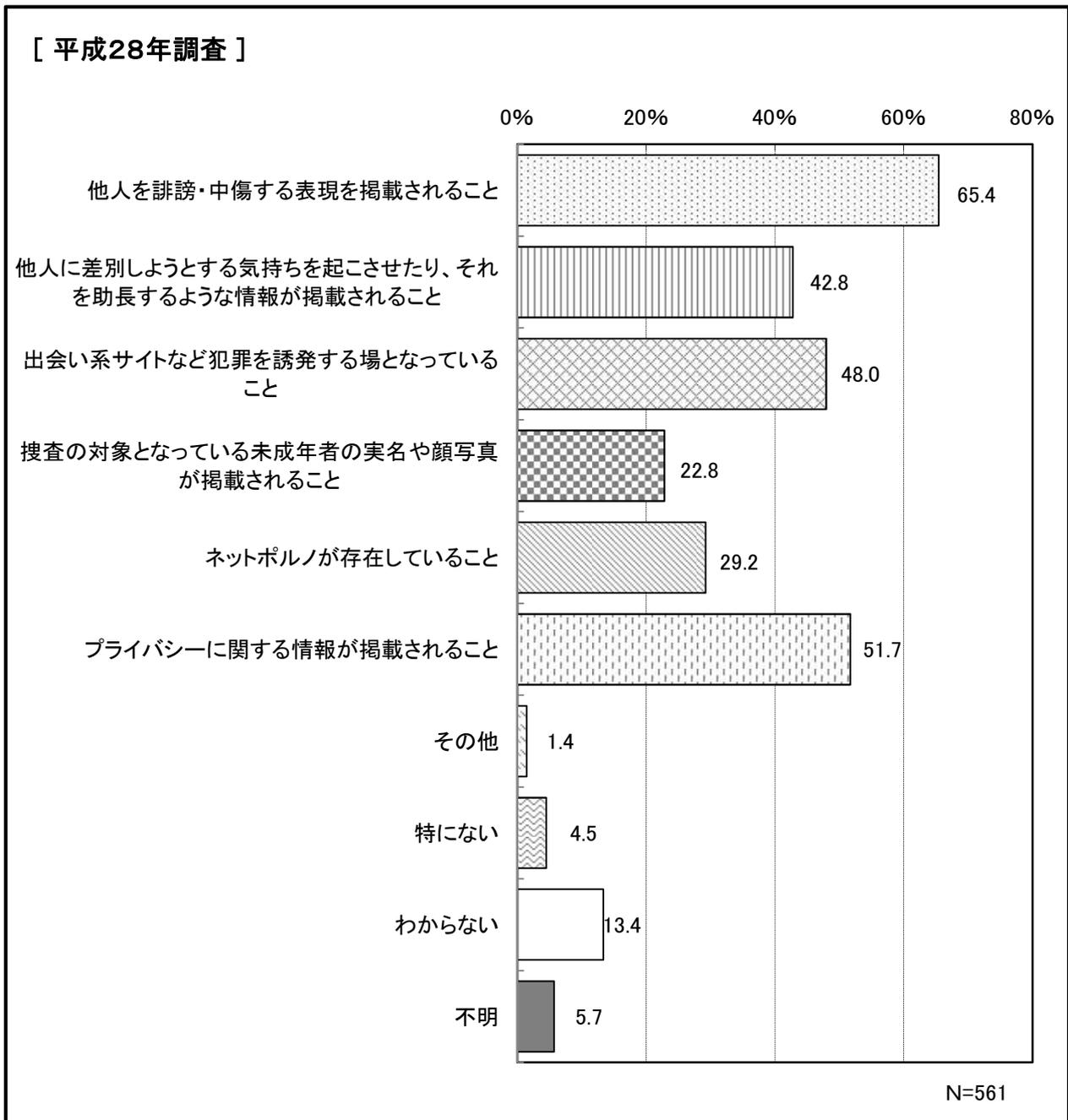
問23 友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をしますか



友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をしますかという質問について男女別にみると、「何かできることがあれば支援する」と回答した人の割合は、男性が17.4%、女性は13.8%となっています。

年代別では、男性は「50歳代」が25.8%、女性は「20歳代」が18.8%と最も高くなっています。男女各年代共に「いままでどおり、普通に接する」と回答した人の割合が最も高くなっています。

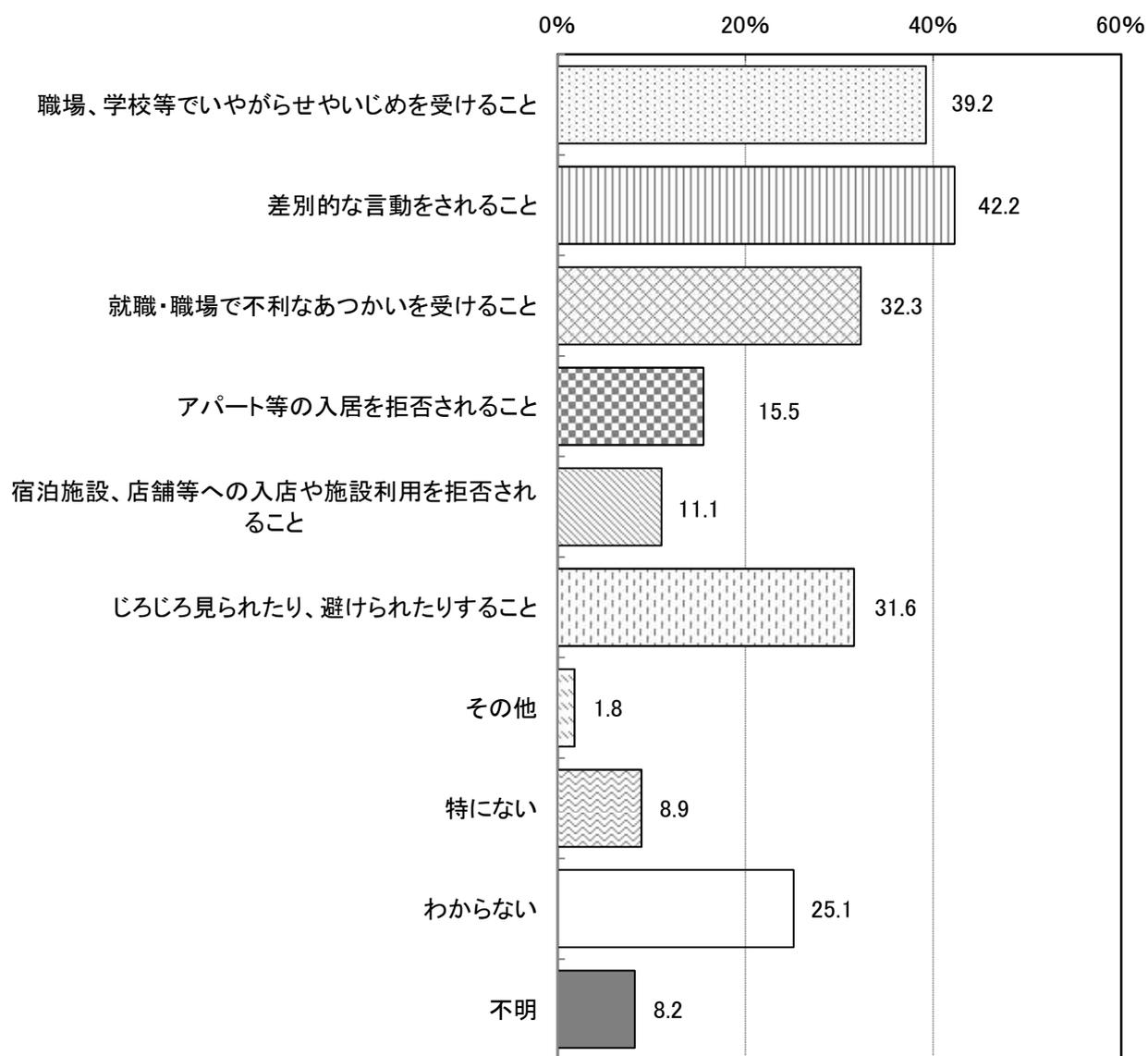
問24 インターネットによる人権侵害に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか



インターネットによる人権侵害に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますかという質問について、「他人を誹謗・中傷する表現が掲載されること」と回答した人の割合が最も高く65.4%でした。次いで「プライバシーに関する情報が掲載されること」が51.7%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が48%、「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること」が42.8%、となっています。

問25 性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)や性同一性障がい(生物学的な性と心の性が一致しないこと)に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか

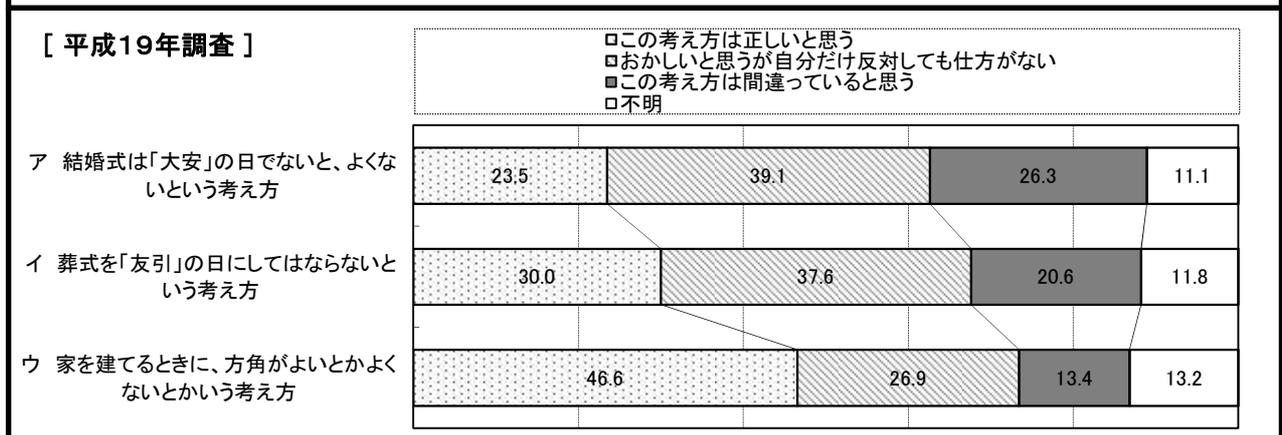
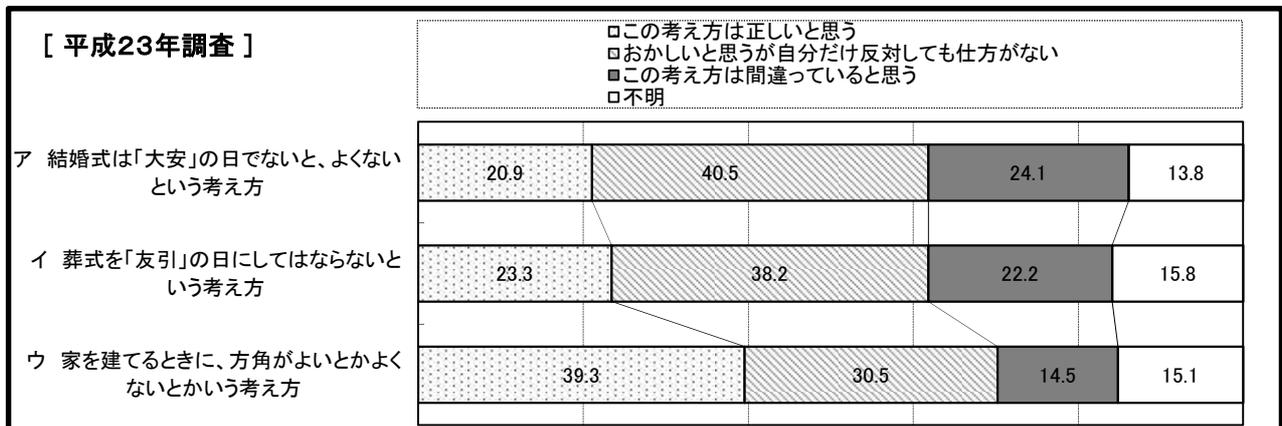
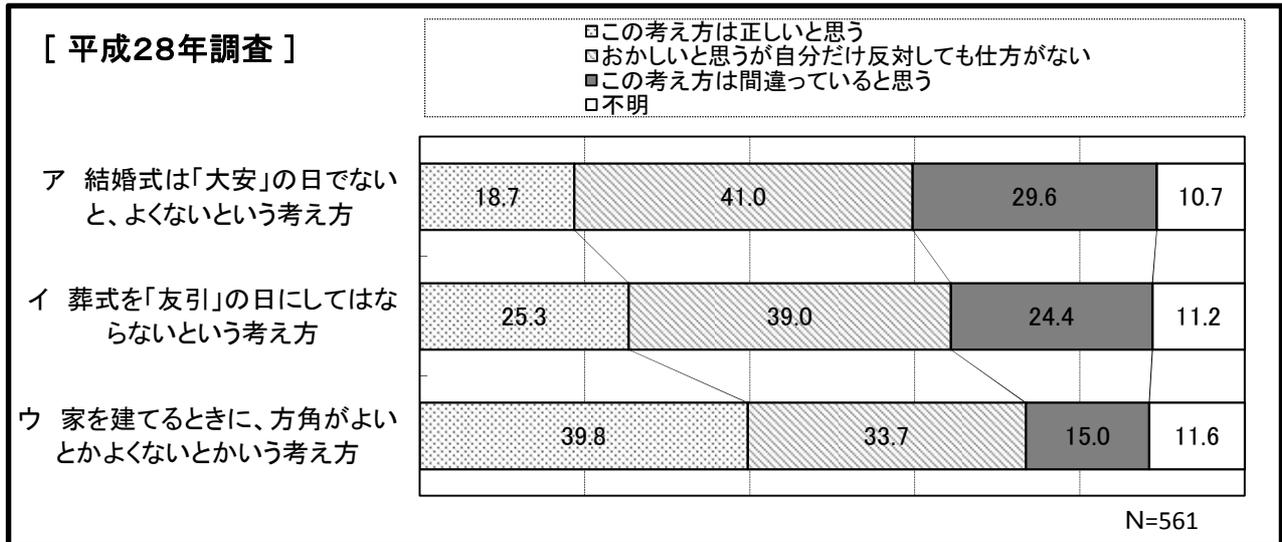
[ 平成28年調査 ]



N=561

性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)や性同一性障がい(生物学的な性と心の性が一致しないこと)に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますかという質問について、「差別的な言動をされること」と回答した人の割合が最も高く42.2%でした。次いで「職場、学校等でいやがらせやいじめを受けること」が39.2%、「就職・職場で不利なあつかいを受けること」が32.3%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が31.6%、となっています。

問26 日本には、いろいろ古くから言い伝えや考え方がありますが、あなたのお考えに近いものはどれですか



日本には、いろいろ古くから言い伝えや考え方がありますが、あなたのお考えに近いものはどれですかという質問について、「この考え方は正しいと思う」と回答した人の割合は、「結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方」では18.7%、「葬式を「友引」の日にしてはならないという考え方」では25.3%、「家を建てるときに、方角がよいとかよくないとかいう考え方」では39.8%となっています。

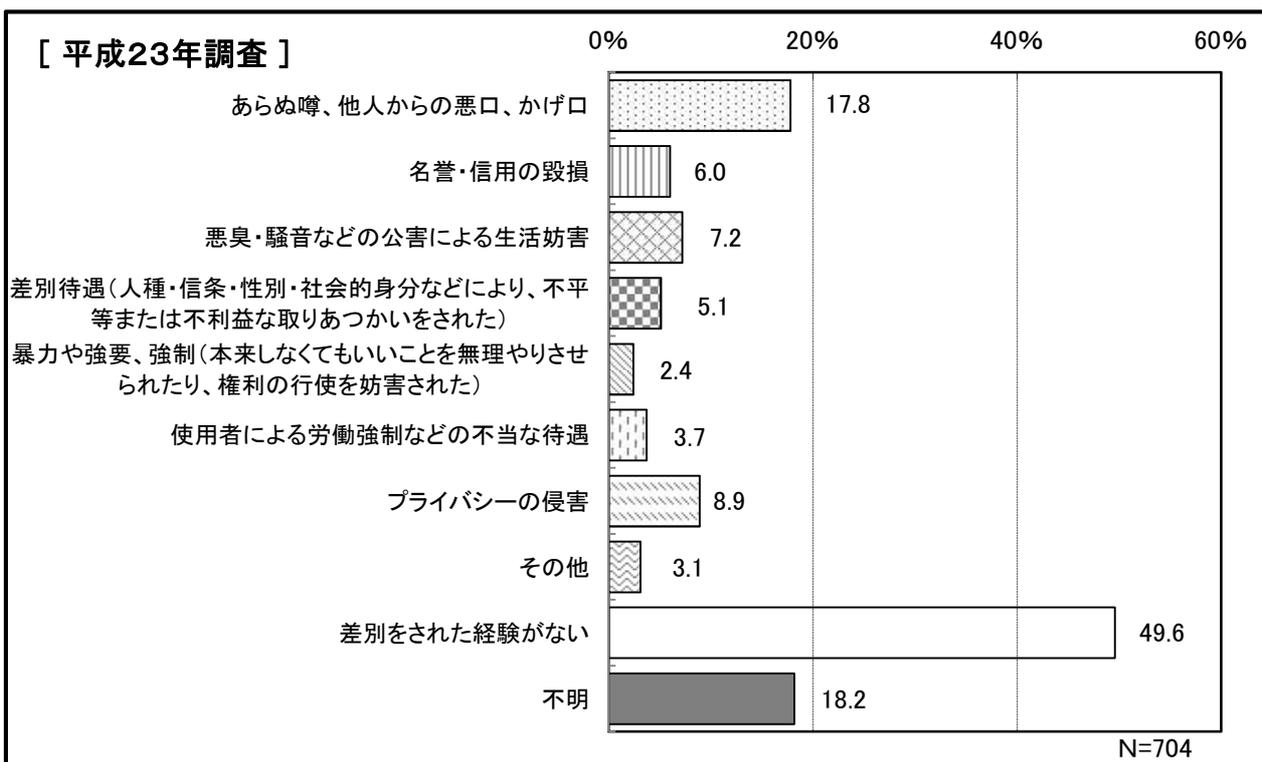
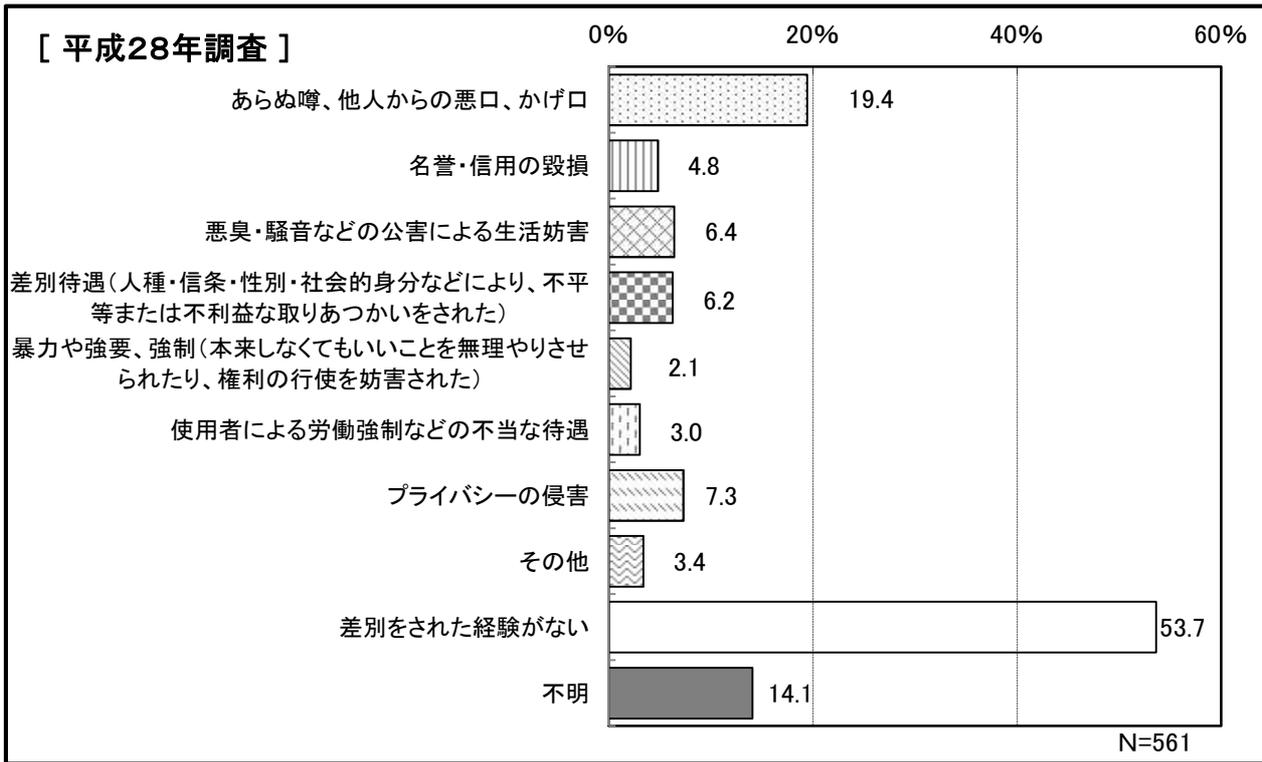
前回(平成23年)調査、前々回(平成19年)調査と比べると、「結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方」については「この考え方は正しいと思う」と回答した人の割合が、調査する度に減少し、ア・イ・ウ共に「おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない」と回答した人の割合は、調査する度に増加しています。







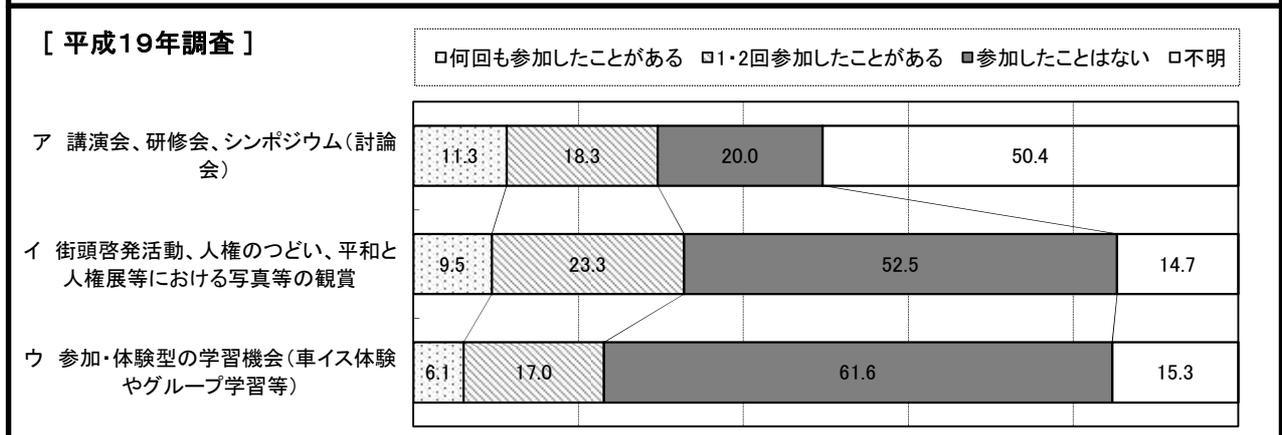
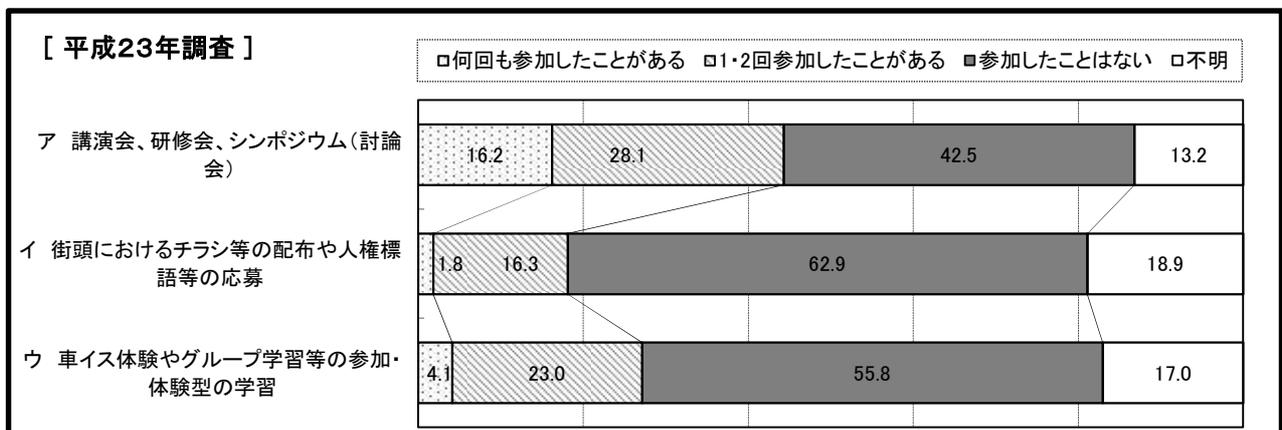
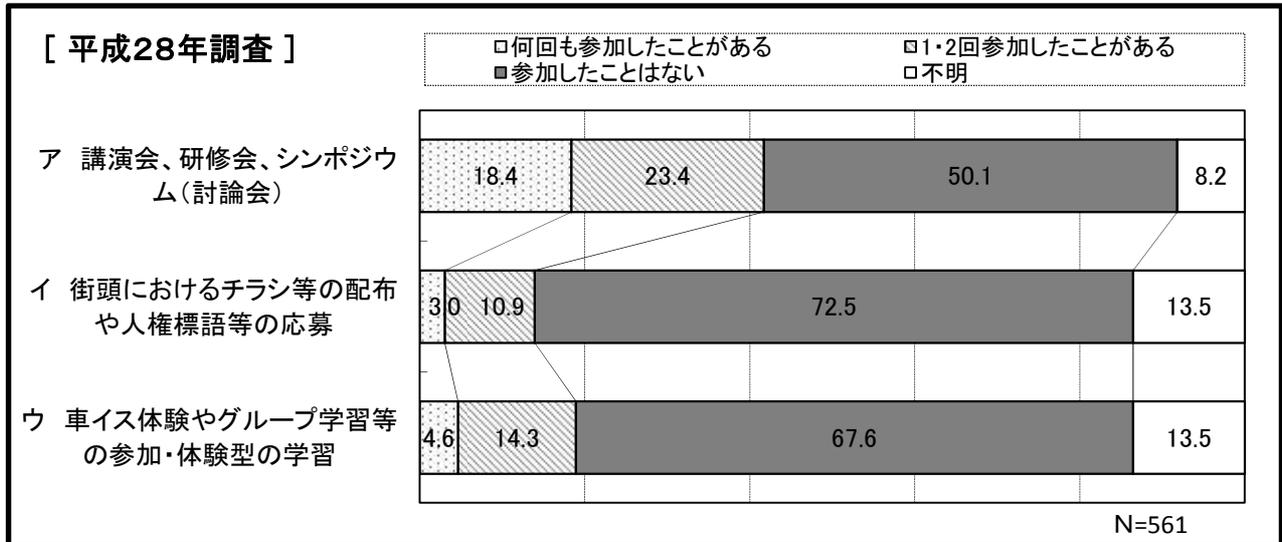
問27 最近(2、3年)ご自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか



最近(2、3年)ご自分の人権が侵害されたと思っただことがありますかという質問について、「差別をされた経験がない」と回答した人の割合が最も高く53.7%でした。次いで「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が19.4%、「不明」が14.1%となっています。

前回(平成23年)調査と比べると、「差別をされた経験がない」が4.1%増加していますが、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が1.6%及び「差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分などにより、不平等または不利益な取りあつかいをされた)」も1.1%増加しています。

問28 大分県や豊後大野市では、さまざまな人権啓発活動を実施しています。あなたはこのような啓発活動についてどの程度参加したことがありますか



大分県や豊後大野市では、さまざまな人権啓発活動を実施しています。あなたはこのような啓発活動についてどの程度参加したことがありますかという質問について、「何回も参加したことがある」又は「1・2回参加したことがある」と回答した人の割合は、「講演会、研修会、シンポジウム(討論会)」では41.8%、「街頭におけるチラシ等の配布や人権標語等の応募」では13.9%、「車イス体験やグループ学習等の参加・体験型の学習」では18.9%となっています。

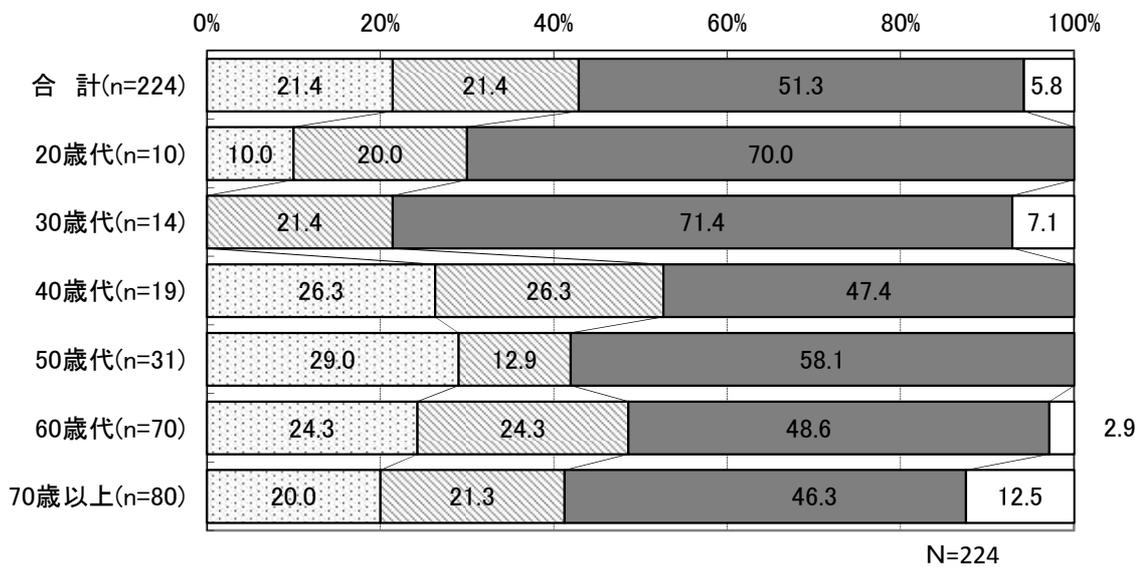
前回(平成23年)調査と比べると、「講演会、研修会、シンポジウム(討論会)」は2.5%、「街頭におけるチラシ等の配布や人権標語等の応募」は4.2%、「車イス体験やグループ学習等の参加・体験型の学習」は8.2%減少しています。

問28 ア 講演会、研修会、シンポジウム(討論会)

[平成28年調査]

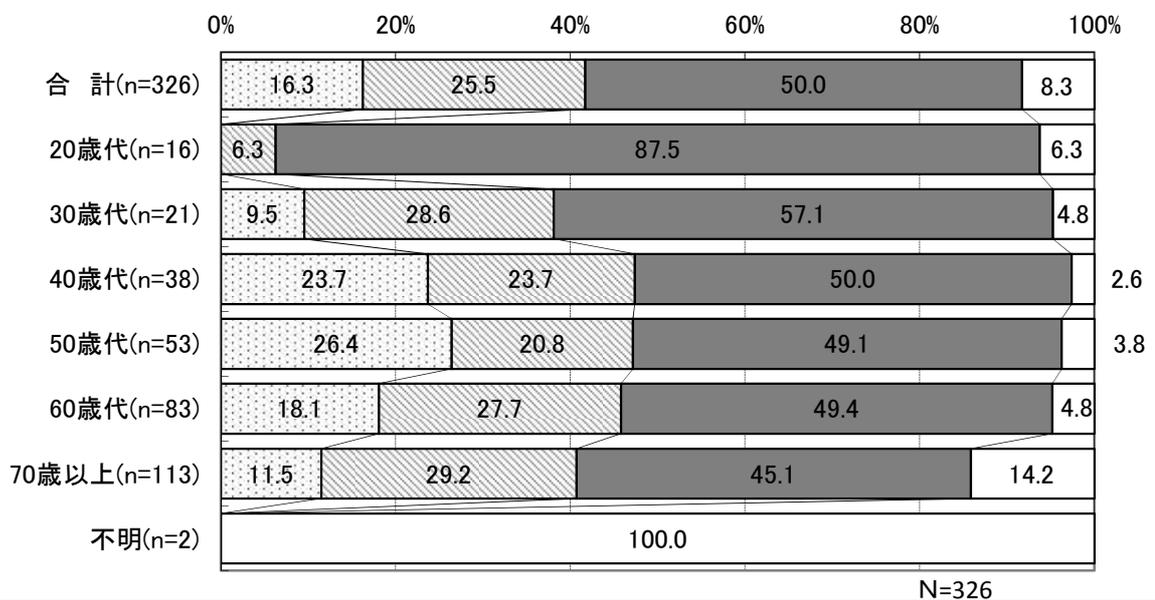
(男)

□何回も参加したことがある □1・2回参加したことがある □参加したことはない □不明



(女)

□何回も参加したことがある □1・2回参加したことがある □参加したことはない □不明



講演会、研修会、シンポジウム(討論会)の参加状況を男女別にみると、「何回も参加したことがある」又は「1・2回参加したことがある」と回答した人の割合は、男性の42.8%に対し、女性は41.8%となっています。

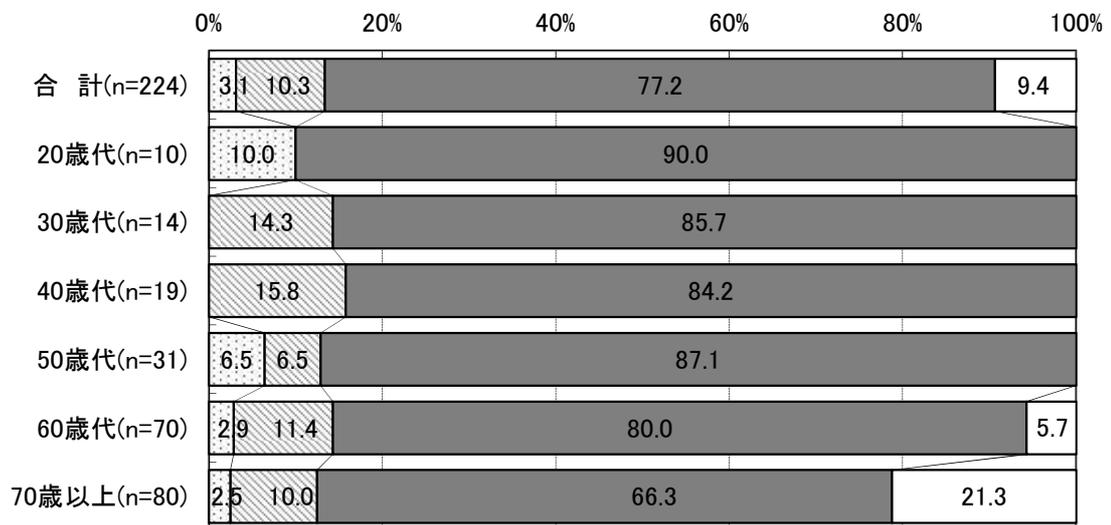
また、男性では「40歳代」が52.6%、女性も「40歳代」が47.4%と「何回も参加したことがある」又は「1・2回参加したことがある」と回答した人の割合が、最も高くなっています。

問28 イ 街頭におけるチラシ等の配布や人権標語等の応募

[平成28年調査]

(男)

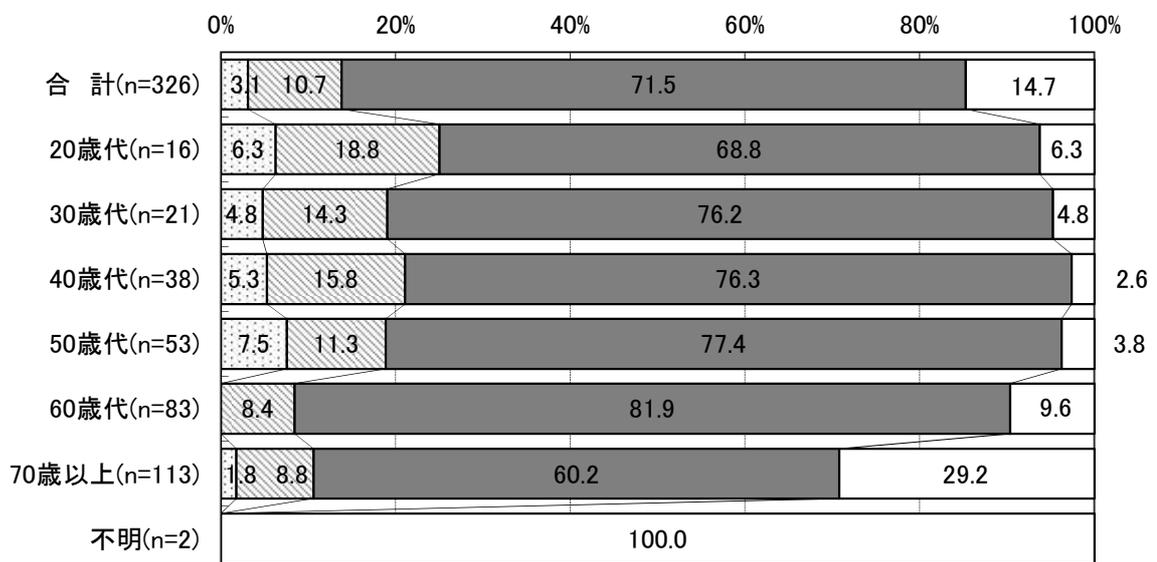
□何回も参加したことがある □1・2回参加したことがある □参加したことはない □不明



N=224

(女)

□何回も参加したことがある □1・2回参加したことがある □参加したことはない □不明



N=326

街頭におけるチラシ等の配布や人権標語等の応募の参加状況を男女別にみると、「何回も参加したことがある」又は「1・2回参加したことがある」と回答した人の割合は、男性の13.4%に対し、女性は13.8%となっています。

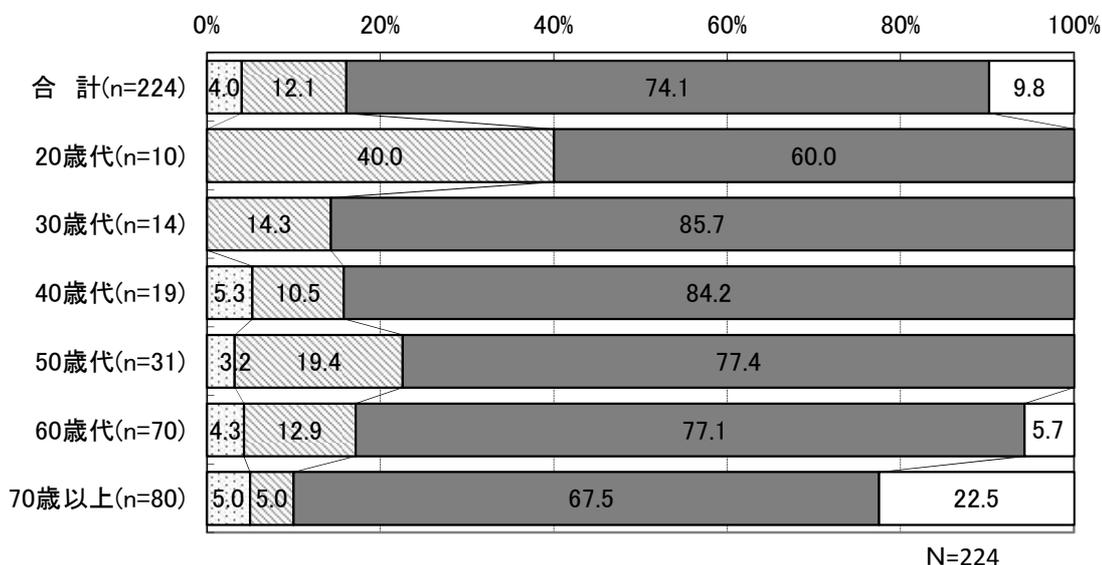
また、男性では「40歳代」が15.8%、女性は「20歳代」が25.1%と「何回も参加したことがある」又は「1・2回参加したことがある」と回答した人の割合が、最も高くなっています。

問28 ウ 車イス体験やグループ学習等の参加・体験型の学習

[平成28年調査]

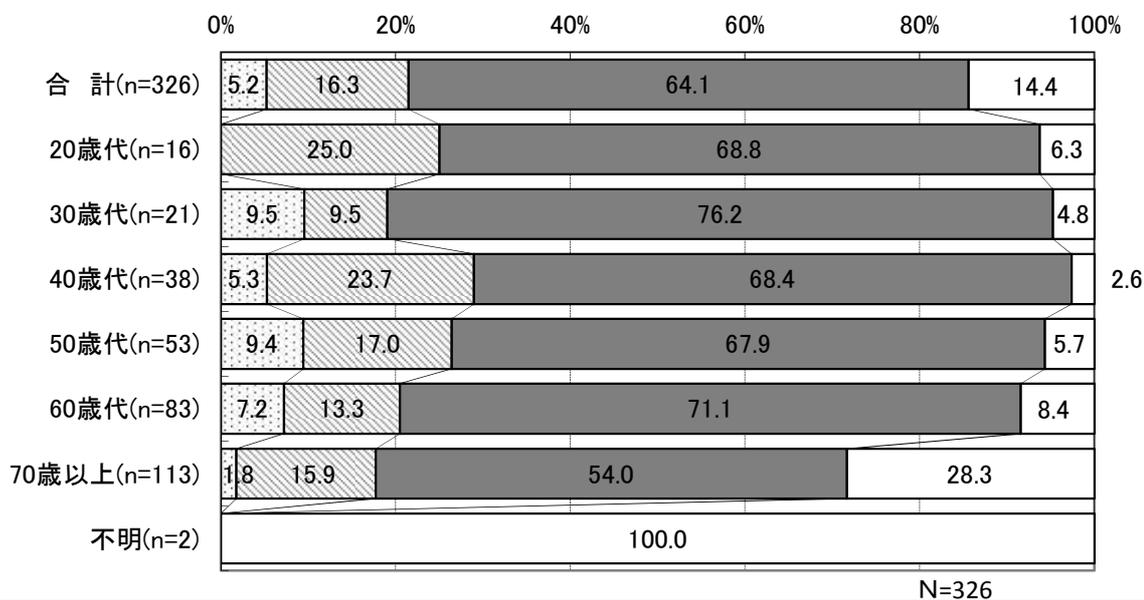
(男)

□何回も参加したことがある □1・2回参加したことがある □参加したことはない □不明



(女)

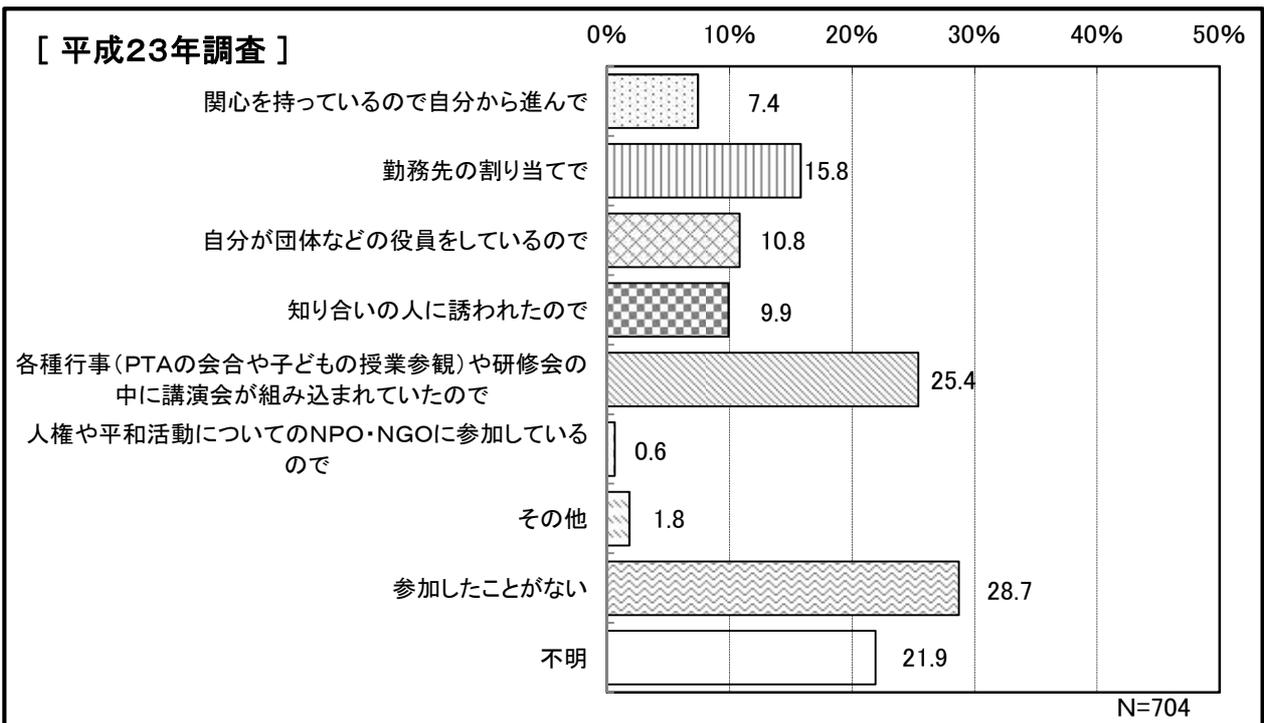
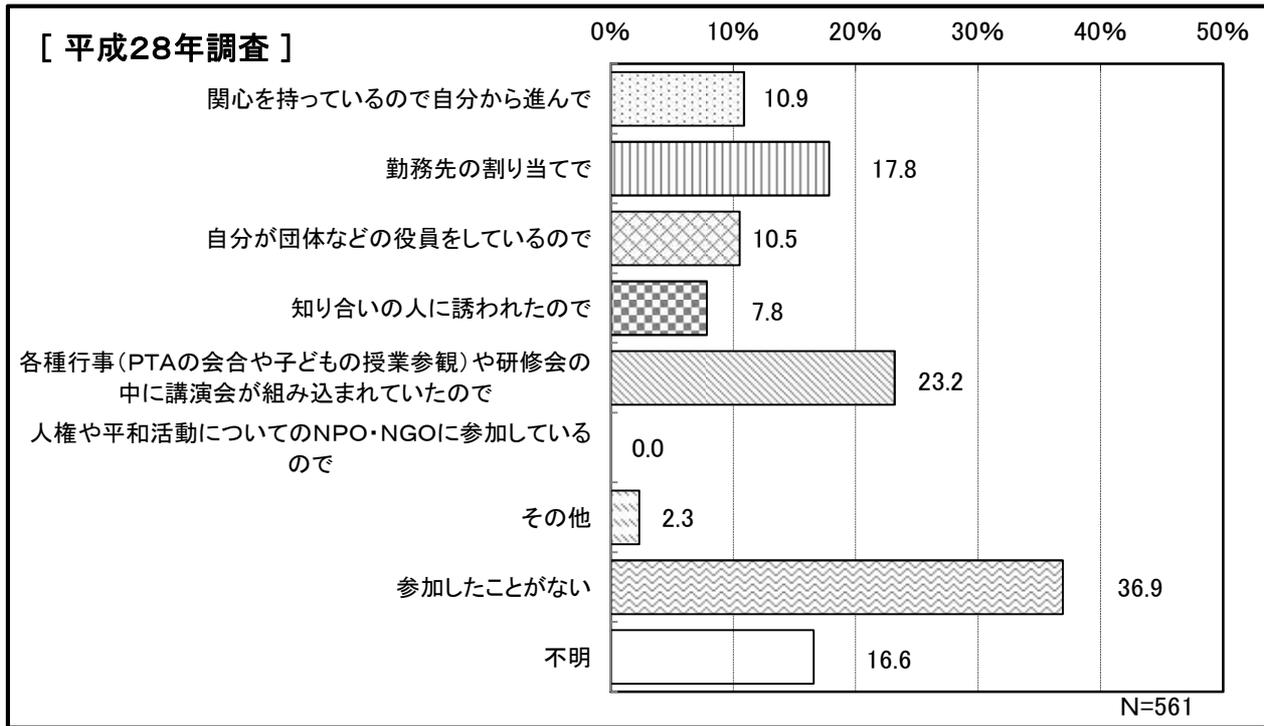
□何回も参加したことがある □1・2回参加したことがある □参加したことはない □不明



車イス体験やグループ学習等の参加・体験型の学習の参加状況を男女別にみると、「何回も参加したことがある」又は「1・2回参加したことがある」と回答した人の割合は、男性の16.1%に対し、女性は21.5%となっています。

また、男性では「20歳代」が40%、女性は「40歳代」が29%と「何回も参加したことがある」又は「1・2回参加したことがある」と回答した人の割合が、最も高くなっています。

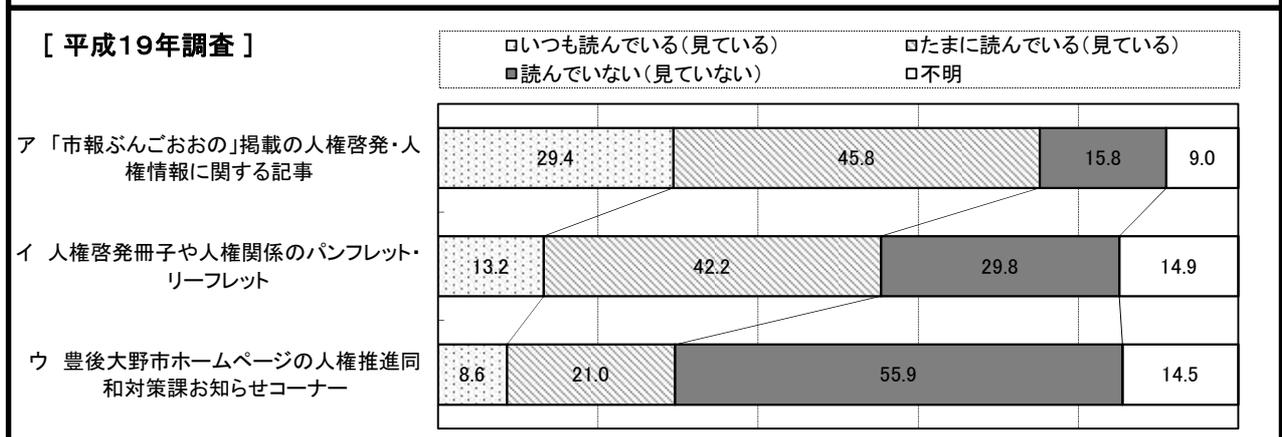
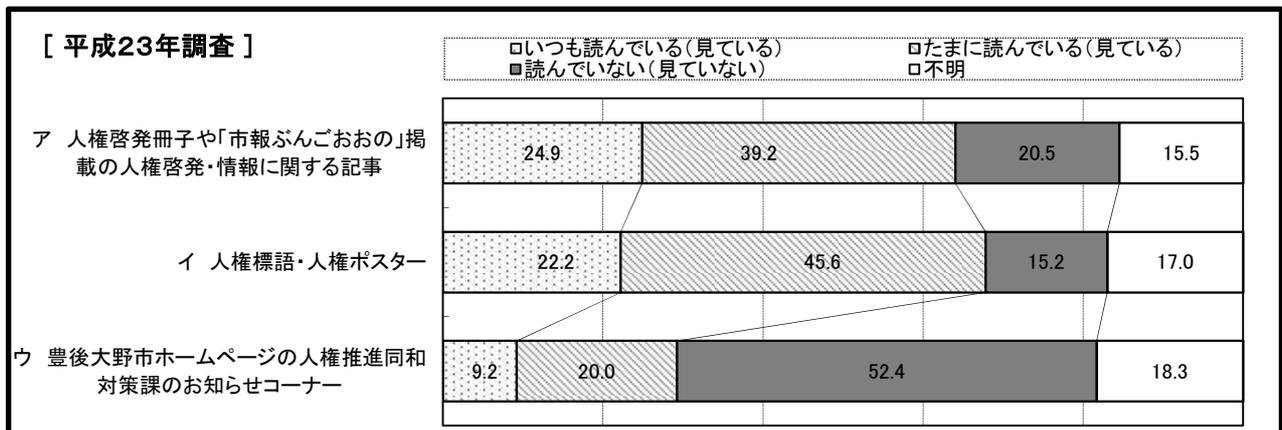
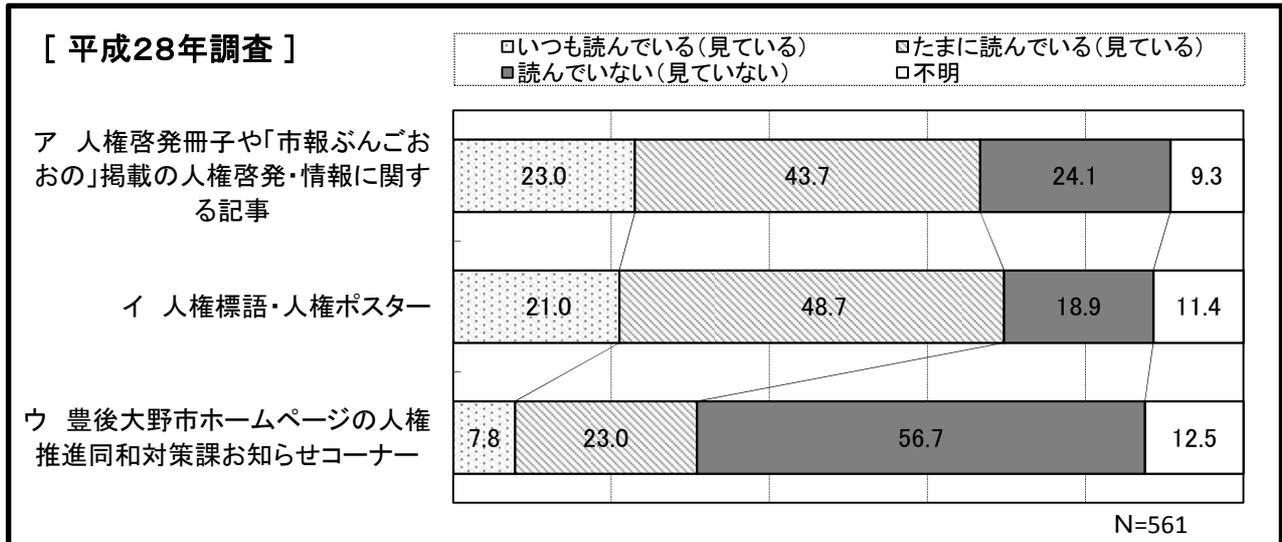
問29 人権問題の講演会や研修会に参加されたきっかけは何ですか



人権問題の講演会や研修会に参加されたきっかけは何ですかという質問について、「参加したことがない」と回答した人の割合が最も高く36.9%でした。次いで「各種行事(PTAの会合や子どもの授業参観)や研修会の中に講演会が組み込まれていたため」が23.2%、「勤務先の割り当てで」が17.8%となっています。

前回(平成23年)調査と比べると、「興味を持っているので自分から進んで」が3.5%、「勤務先の割り当てで」が2%、「その他」が0.5%、「参加したことがない」が8.2%増加しています。

問30 次のア～ウの項目について、あなたは見聞きしたことがありますか



次のア～ウの項目について、あなたは見聞きしたことがありますかという質問について、「いつも読んでいる(見ている)」又は「たまに読んでいる(見ている)」と回答した人の割合は、「人権啓発冊子や「市報ぶんごおおの」掲載の人権啓発・情報に関する記事」では66.7%、「人権標語・人権ポスター」では69.7%、「豊後大野市ホームページの人権推進同和対策課お知らせコーナー」では30.8%となっています。

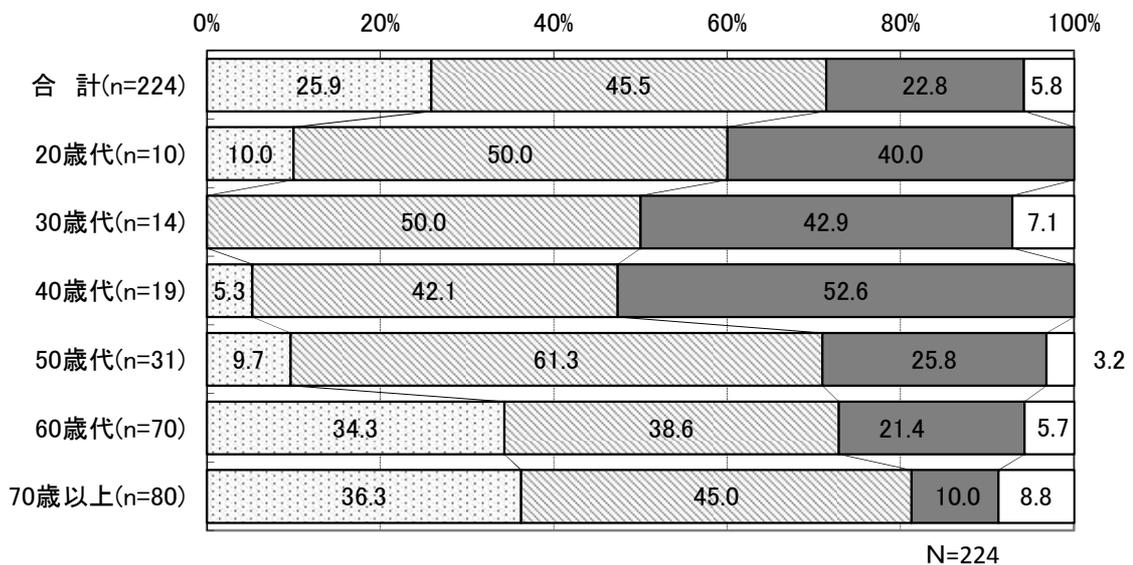
前回(平成23年)調査と比べると、「人権啓発冊子や「市報ぶんごおおの」掲載の人権啓発・情報に関する記事」は2.6%、「人権標語・人権ポスター」は1.9%、「豊後大野市ホームページの人権推進同和対策課お知らせコーナー」は1.6%増加しています。

問30 ア 人権啓発冊子や「市報ぶんごおおの」掲載の人権啓発・情報に関する記事

[平成28年調査]

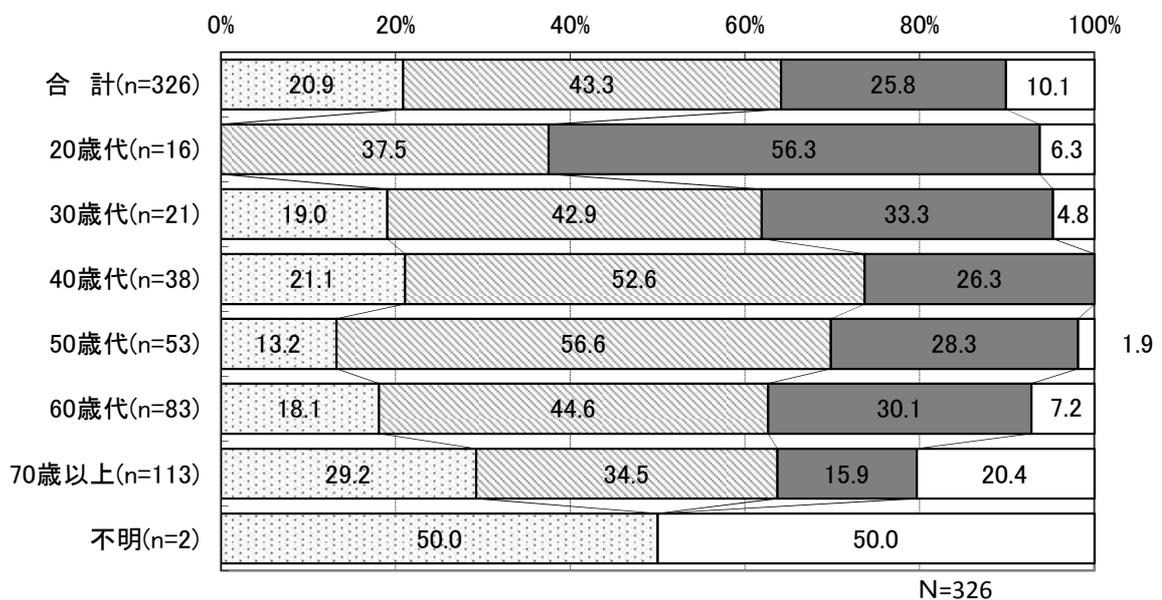
(男)

□いつも読んでいる(見ている) □たまに読んでいる(見ている) ■読んでいない(見えない) □不明



(女)

□いつも読んでいる(見ている) □たまに読んでいる(見ている) ■読んでいない(見えない) □不明



人権啓発冊子や「市報ぶんごおおの」掲載の人権啓発・情報に関する記事を見聞きしたことがあるかという質問について、男女別にみると、「いつも読んでいる(見ている)」又は「たまに読んでいる(見ている)」と回答した人の割合は、男性の71.4%に対し、女性は64.2%となっています。

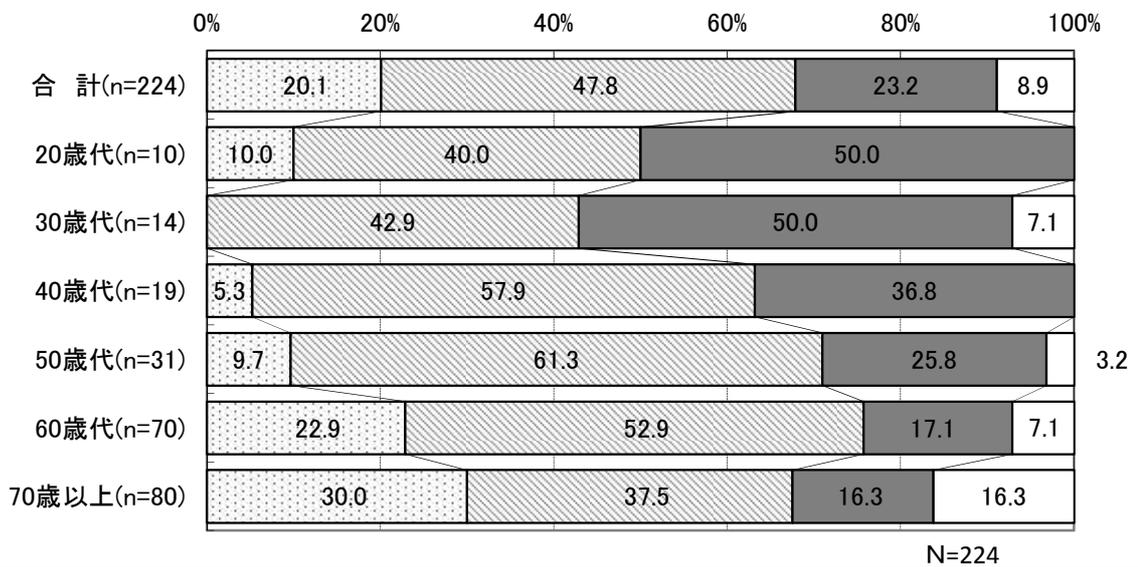
また、「いつも読んでいる(見ている)」又は「たまに読んでいる(見ている)」と回答した人の割合が、男性では「70歳以上」が81.3%、女性は「40歳代」が73.7%と最も高くなっています。

問30 イ 人権標語・人権ポスター

[平成28年調査]

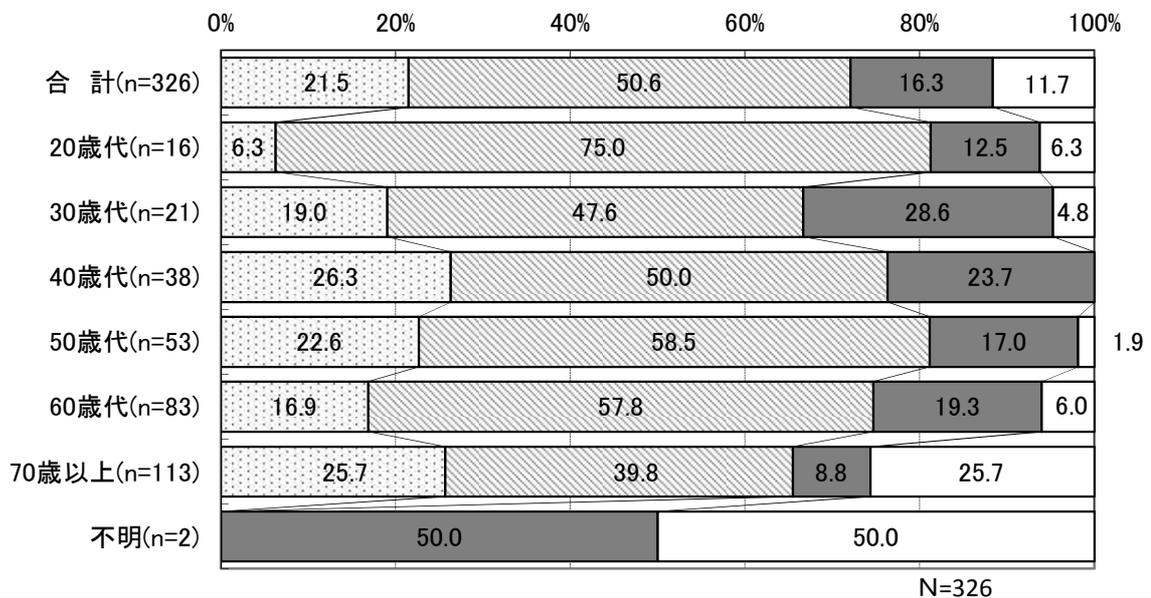
(男)

□いつも読んでいる(見ている) □たまに読んでいる(見ている) ■読んでいない(見えない) □不明



(女)

□いつも読んでいる(見ている) □たまに読んでいる(見ている) ■読んでいない(見えない) □不明



人権標語・人権ポスターを見聞きしたことがあるかという質問について、男女別にみみると、「いつも読んでいる(見ている)」又は「たまに読んでいる(見ている)」と回答した人の割合は、男性の67.9%に対し、女性は72.1%となっています。

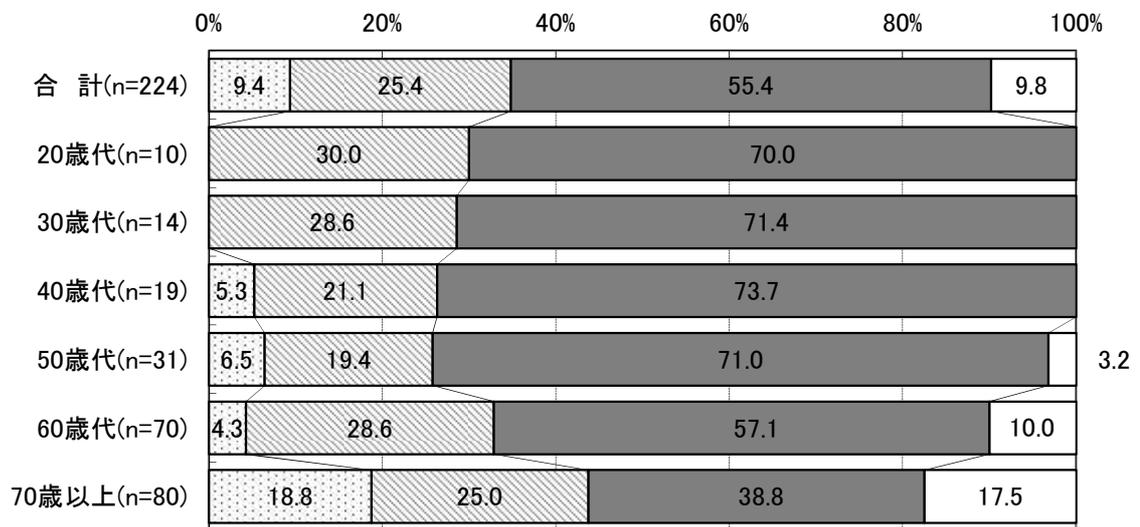
また、「いつも読んでいる(見ている)」又は「たまに読んでいる(見ている)」と回答した人の割合が、男性では「60歳以上」が75.8%、女性は「20歳代」が81.3%と最も高くなっています。

問30 ウ 豊後大野市ホームページの人権推進同和対策課お知らせコーナー

[平成28年調査]

(男)

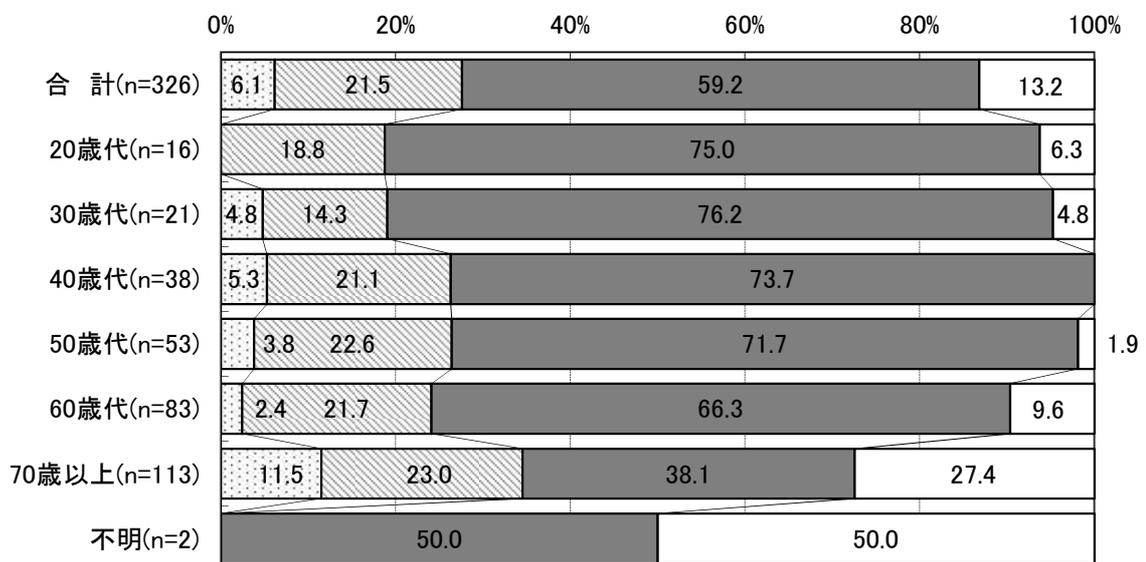
□いつも読んでいる(見ている) □たまに読んでいる(見ている) ■読んでいない(見ていない) □不明



N=224

(女)

□いつも読んでいる(見ている) □たまに読んでいる(見ている) ■読んでいない(見ていない) □不明

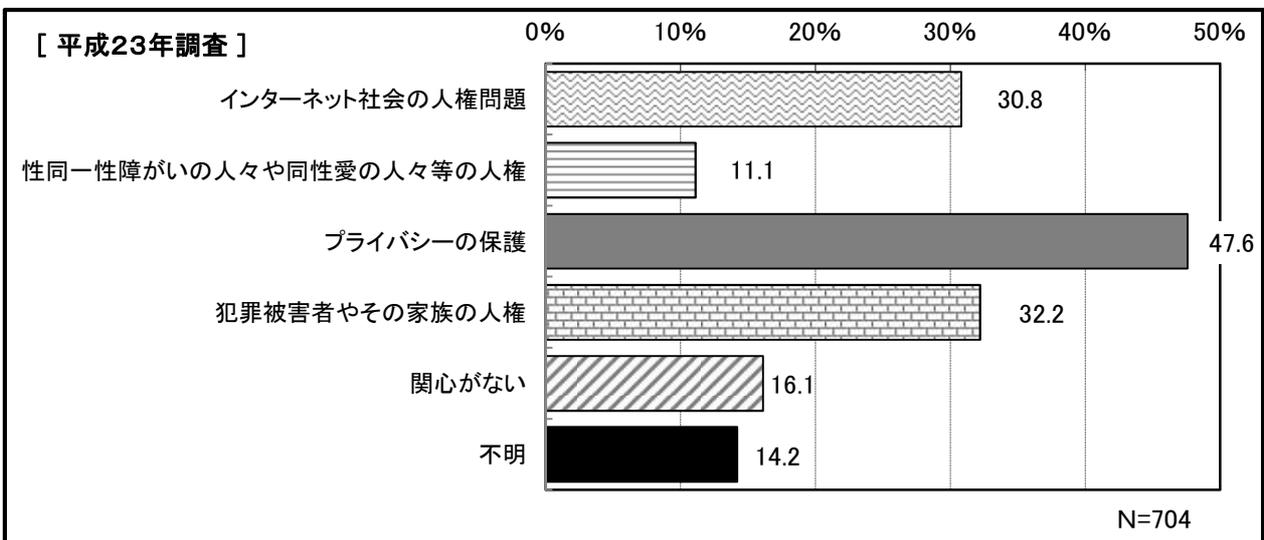
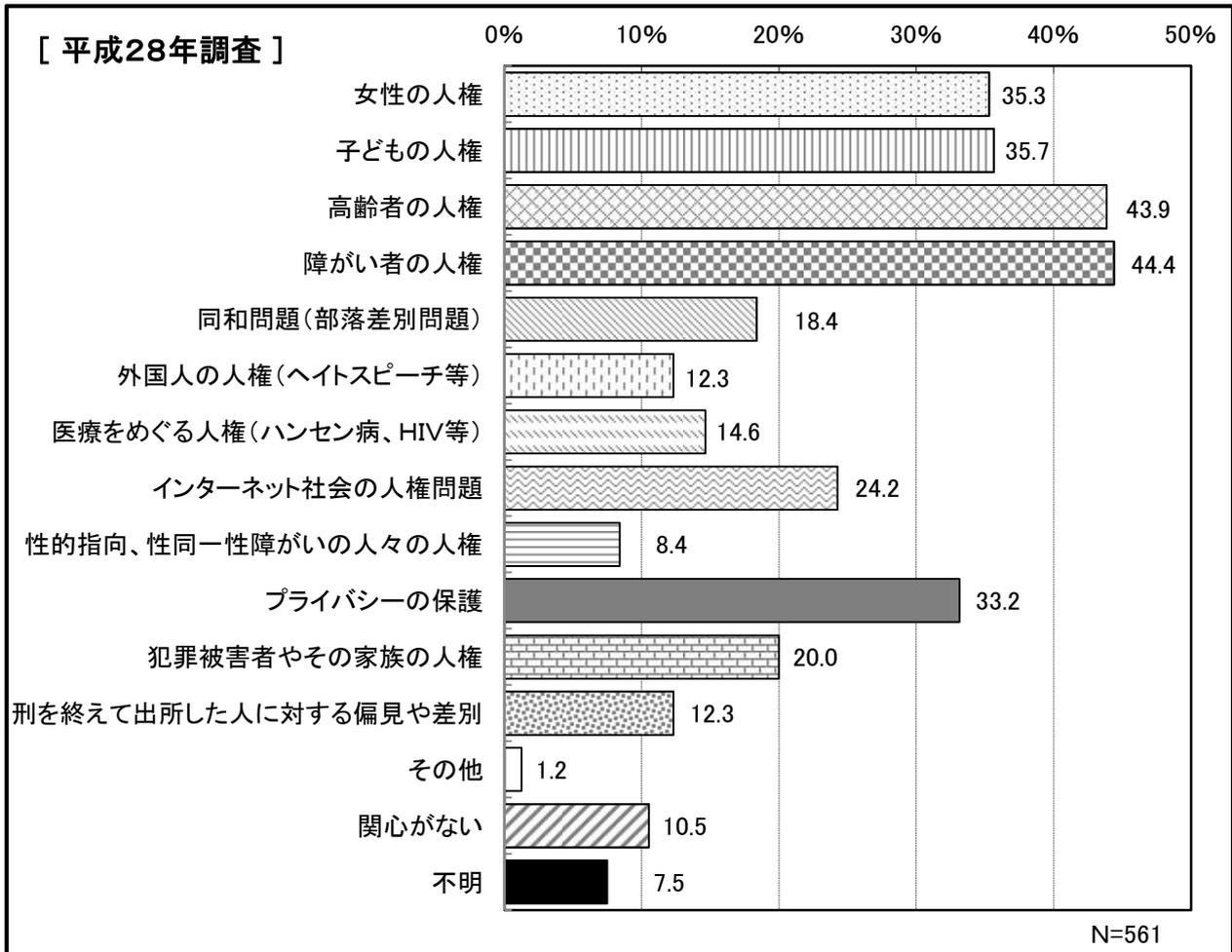


N=326

豊後大野市ホームページの人権推進同和対策課お知らせコーナーを見聞きしたことがあるかという質問について、男女別にみると、「いつも読んでいる(見ている)」又は「たまに読んでいる(見ている)」と回答した人の割合は、男性の34.8%に対し、女性は27.6%となっています。

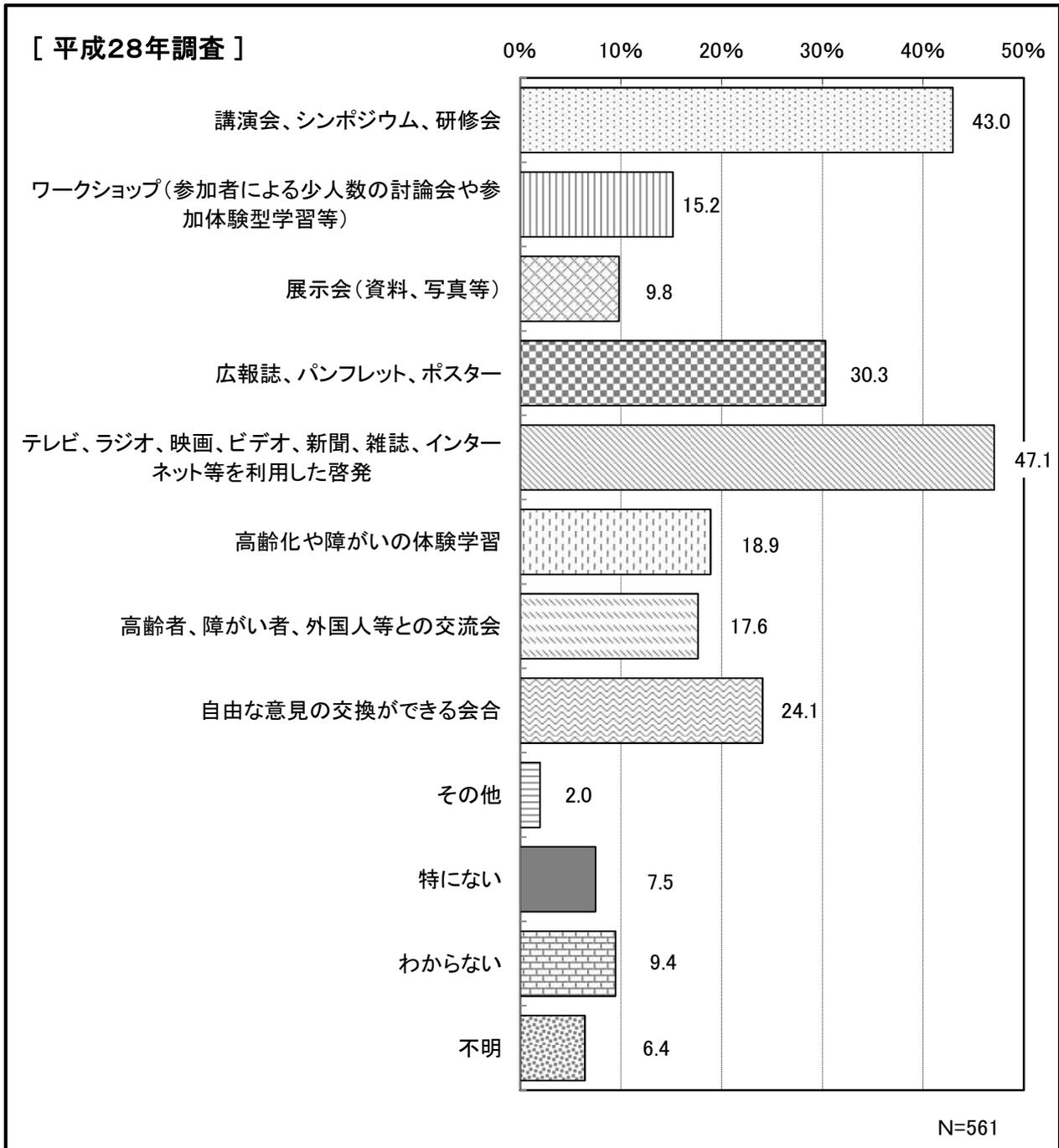
また、「いつも読んでいる(見ている)」又は「たまに読んでいる(見ている)」と回答した人の割合が、男性では「70歳以上」が43.8%、女性も「70歳以上」が34.5%と最も高くなっています。

問31 人権問題で関心のあるものについて選んでください



人権問題で関心のあるものについて選んでくださいという質問について、「障がい者の人権」と回答した人の割合が最も高く44.4%でした。次いで「高齢者の人権」が43.9%、「子どもの人権」が35.7%、「女性の人権」が35.3%、「プライバシーの保護」が33.2%、「インターネット社会の人権問題」が24.2%、「犯罪被害者やその家族の人権」が20%、「同和問題(部落差別問題)」が18.4%、「医療をめぐる人権(ハンセン病、HIV等)」が14.6%となっています。

問32 人権のたいせつさを多くの人々に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますか



人権のたいせつさを多くの人々に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますかという質問について、「テレビ、ラジオ、映画、ビデオ、新聞、雑誌、インターネット等を利用した啓発」と回答した人の割合が最も高く47.1%でした。次いで「講演会、シンポジウム、研修会」が43%、「広報誌、パンフレット、ポスター」が30.3%、「自由な意見の交換ができる会合」が24.1%、「高齢化や障がいの体験学習」が18.9%、「高齢者、障がい者、外国人等との交流会」が17.6%、「ワークショップ (参加者による少人数の討論会や参加体験型学習等)」が15.2%、「展示会 (資料、写真等)」が9.8%となっています。

---

## 第 3 部

### 調査結果のまとめと課題

---

## 調査結果のまとめと課題

### 1 女性の人権について

【問3】のあなたの身の回りでは、一般的に男女平等が実現していると思いますかという質問について、家庭・職場・地域生活において「男女平等が実現していると思う」と回答した人の割合は前回・前々回調査と比較して増加しています。このことは、男女平等の意識の高揚がうかがえ、啓発活動等の成果と考えられます。しかしながら、職場や地域生活では男性と女性の考え方にいまだ開きがあり、今後も職場等での啓発の推進が必要と思われれます。

【問4】の女性の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですかという質問について、「職場における男女の給与等の差別待遇」や「家庭内における夫から妻に対する暴力・暴言など」と回答した人の割合が前回・前々回調査に引き続いて高いことから、これまで進めてきた啓発事業に加え、男女平等社会実現のための環境整備を進めていくことが必要と思われれます。

【問5】の結婚、家庭、出産、子育てについて、あなたのお考えに近いのはどれでしょうかという質問について、「そう思わない」、「いちがいにはいけない」と回答した人の割合が増加しています。現在の複雑で多様な社会生活の中で、家庭観・結婚観・仕事観等で、自分らしい生き方を模索していることがうかがえ、「夫は外で働き、女は家庭を守るべきである」という因習から、「家庭は男女協働」に移行していると思われれます。

【問6】のあなたは、今後、女性が社会のあらゆる分野で平等に活躍するために、早急に取り組んでほしいものは何ですかという質問について、「男女を問わず家事・育児等ができる環境づくりをすすめる」や「保育所や介護サービスなどを充実させる」、「女性が安定した職業につけるようにする」と回答した人の割合が前回・前々回調査と同様に高くなっています。女性の社会進出により男女を問わず家事・育児ができる環境及び保育所や介護サービスの充実が必要と思われれます。

依然として、セクシュアル・ハラスメントや妊娠・出産等を理由とする不利益な取扱い（マタニティ・ハラスメント）、家庭や職場における男女差別、配偶者・パートナーからの暴力などの人権問題が発生しています。今後も、女性と男性が相互の立場を尊重して協力し合えるよう、この問題についての関心と理解を深めていくことが必要です。

### 2 子どもの人権について

【問7】の今の子どもがおかれている状況をどう感じているかという質問について、家庭や学校の中における子どもの状況は「幸せな生活を過ごしているように思う」と回答した人の割合が前回調査と比較して増加していますが、「だいたい幸せなように思う」と回答した人と合わせると減少しています。学校教育の在り方、いじめや虐待の多発、所得格差の大きい家庭環境の影響等が考えられます。今後もより一層の啓発の推進が必要と思われれます。

【問8】の子どもの人権上、問題があると思われるのはどのようなことですかという質問について、「仲間はずれ・無視などいやがることをしたり、いじめをおこなうこと」、「いじめを見て見ぬふりをする事」、「家庭で親が虐待・体罰をおこなうこと」

と回答した人の割合が前回・前々回調査に引き続き高いことから、今まで以上にいじめや虐待・体罰防止のための啓発を進めていくことが必要と思われます。

**【問 9】** の近所の子どもが虐待を受けている事実を知った場合、あなたはどのような行動をとると思いますかという質問について、「市役所や民生委員・児童委員などに連絡する」と回答した人の割合が最も高くなっており、公的機関・相談機関の重要性が今まで以上に増しています。一方で、「その子どもの通う学校・幼稚園・保育所（園）などに連絡する」と回答した人の割合が前回調査に比べ半減していることが気になります。子どもの人権を守るために、行政・地域・教育機関等が連携して取り組む必要があると思われます。

いじめや体罰、児童虐待、児童買春などの人権問題が発生しています。子どもが一人の人間として最大限に尊重されるよう、この問題についての関心と理解を深めていくことが必要です。

### 3 高齢者の人権について

**【問 10】** の今の高齢者がおかれている状況をどう感じているかという質問について、家庭や社会の中における高齢者の状況は「たいせつにされていると思う」と回答した人の割合は前回調査と比較して減少していますが、「だいたいたいせつにされていると思う」と回答した人と合わせると増加しています。法律や制度が整備され様々な取り組みにより、高齢者のおかれている環境がある程度整っているためと考えられます。しかしながら、家庭生活の中では核家族化などにより家庭介護の在り方などが懸念されます。

**【問 11】** の高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えますかという質問について、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やさまざまな不便があること」や「経済的に自立が困難なこと」と回答した人の割合が前回・前々回調査と同様に高くなっています。老後の生活に不安や不便を感じている人が多いことから、高齢者が安心して暮らせるように、行政・家族・地域・福祉施設等が連携して環境整備や高齢者の人権を守る啓発を推進する必要があると思われます。

高齢者に対する就職差別のほか、在宅介護・介護施設等における身体的・心理的虐待などの人権問題が発生しています。高齢者が生き生きと暮らせる社会にするため、この問題についての関心と理解を深めていくことが必要です。

### 4 障がい者の人権について

**【問 12】** の今障がい者の人権が保障されていると思いますかという質問について、法律や制度・現実の日常生活において「保障（たいせつに）されていると思う」と回答した人の割合が前回調査と比較して減少しています。法律が人権確立に直結しにくい差別の根強さが感じられ、一層の教育や障がい者との交流を通じた啓発が必要と思われます。

**【問 13】** のあなたは、障がい者の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですかという質問について、「人々の障がい者に対する理解が足りないこと」や「就職・職場で不利なあつかいをする」と回答した人の割合が前回・前々回調査と同様に高くなっています。障がい者がおかれている現状を一層理解するための啓発を進めていくことが必要と思われます。

【問 14】のもし、あなたが、職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますかという質問について、一般的には特別視しない実態がうかがえます。永年の啓発と障がい者との交流により、障がい者への人権意識の高まりが感じられます。今後一層の学習と障がい者に対する正しい理解が望まれます。

障がいのある人が職場において差別待遇を受けたり、店舗でのサービス等を拒否されるなどの人権問題が発生しています。「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成 28 年 4 月 1 日）の施行を受け、全ての人々が、障がいの有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会にするため、この問題についての関心と理解を深めていくことが必要です。

## 5 同和問題（部落差別問題）について

【問 15】のあなたが同和問題や被差別部落（同和地区）があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですかという質問について、若い世代は「学校で教わった」と回答した人が多く、学校教育の重要性が求められていると考えられます。また、年齢の高い人ほど「祖父母・父母などから」と回答した人が多くなっています。白紙の状態の子どもに偏見を植え付けるのは、まわりの大人であることが多く、同和問題に対する親自身の理解を深め、共に学習を進めることが必要と思われれます。

【問 16】の現在、同和問題（部落差別問題）が起こっている場面はどのようなときでしょうかという質問について、今回の調査でも「結婚のとき」と回答した人の割合が最も高くなっていますが、徐々にその割合は減少しています。また、「日常生活でのことばやしぐさ」と回答した人の割合は前回調査に比べて大幅に減少しています。啓発活動等により同和問題に対する理解が深まっているとも考えられますが、「わからない」と回答した人の割合が増加傾向にあることが気になります。

【問 17】のあなたの家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考えるでしょうかという質問について、「同和地区の人であろうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない」と回答した人の割合が前回調査と比較して増加していることは、これまでの啓発の成果と考えられます。しかしながら、「絶対に反対する」1.4%、「反対はするが、本人の意思が強ければやむをえないと思う」13.4%で、合わせて 14.8%の人が反対しており、今でも同和地区の人たちに対する差別意識が存在していることがわかります。強い意思を持って「関係ない・反対しない」と言える人たちが増えるような啓発活動が必要と思われれます。

【問 18】の同和問題（部落差別問題）をなくす方法について、次のア～クのような意見があります。あなたはどう思いますかという質問について、「私たちが、もっと人権意識にめざめ、差別を許さない態度と行動力を身につければ、差別はなくなる」及び「同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、まちづくりを進めれば、差別はなくなる」と回答した人の割合が前回調査と比較して増加していることは、同和問題に対する理解が深まっていると考えられます。しかしながら、「差別差別と騒がないで、そっとしておけば、差別はなくなる」と回答した人の割合も増加しており、「寝た子を起こすな」といった考えがまだ根強く残っています。この考え方は、差別意識を温存し、差別を容認することにつながります。

【問 19】の豊後大野市では、学校で「人権・同和教育」が行われていますが、あなたはどのようなお考えですかという質問について、「人権・同和教育を通じてあらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う」と回答した人の割合は前回・

前々回調査と比較して増加しています。小さい時に学ぶ機会を設ける必要性が裏付けされていると思われます。学校教育での学習機会の減少や関心が薄れてきている傾向にあります。学校教育における人権・同和教育の一層の推進が必要と思われます。

同和問題に関する偏見や差別意識から、結婚における差別、差別発言、差別落書き、インターネットへの書き込み等の人権問題が依然として存在しています。「部落差別の解消の推進に関する法律」(平成28年12月16日)が施行されました。この問題についての関心と理解を深めていくことが必要です。

## 6 外国人の人権について

【問20】の日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることをどう思いますかという質問について、「日本の国際化のため必要、歓迎すべきである」と回答した人は前回の調査と比較すると減少しています。一方で「交流は望ましいが、治安や社会環境の悪化を心配する」と回答した人は増加しています。これは、ヘイトスピーチや外国人の犯罪が報道されると、外国人であるということだけで恐れ、排除しようとする人が増えたためと考えられます。人種の違いを超え広い視野からの外国人に対する理解と共存の認識を啓発していく必要があると思われます。

【問21】の日本に住む外国人の人権を守るために次のような意見がありますが、あなたはどのように思いますかという質問について、「文化・習慣の違いを理解する」と回答した人の割合が高く、今後も文化や習慣の違いを理解するための啓発を進めていく必要があります。

外国人であることを理由とした不当な就職上の取扱い、アパートやマンションへの入居拒否、公衆浴場での入浴拒否などの人権問題が発生しています。また、特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動がヘイトスピーチであるとして社会的な関心を集める中、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」(平成28年6月3日)が施行されました。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人と接する機会は今後ますます増加することが予想されますが、文化等の多様性を認め、言語、宗教、生活習慣等の違いを正しく理解し、これらを尊重することが重要であるとの認識を深めていくことが必要です。

## 7 医療をめぐる人権について

【問22】のもし、あなたの職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、あなたはどうしますかという質問について、今回の調査でも「何かできることがあれば支援する」、「いままでどおり、普通に接する」と回答した人の割合が合わせて70%以上となっています。

【問23】のもし、あなたの友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をしますかという質問についても、今回の調査では「何かできることがあれば支援する」、「いままでどおり、普通に接する」と回答した人の割合が合わせて70%以上となっています。

病気に対しての正しい知識も広がり、市民の理解が浸透しているためと考えられます。しかしながら、「わからない」、「なるべく関わりたくない」という回答も依然としてあります。今後も継続した啓発や研修が必要と思われます。

エイズ、ハンセン病等の感染症に対する知識や理解の不足から、日常生活、職場、医療現場など社会生活の様々な場面で差別やプライバシー侵害などの人権問題が発生しています。感染症に対する正しい知識と理解を深めていくことが必要です。

## 8 様々な人権について

【問 24】のあなたは、インターネットによる人権侵害に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますかという質問について、「他人を誹謗・中傷する表現を掲載されること」、「プライバシーに関する情報が掲載されること」と回答した人の割合が高くなっています。今までは学習の機会が少ない人権問題でしたが、これからは取り組むべき重要な課題となっています。特に子どもや利用機会の多い若い世代に対して、インターネットの正しい使い方等を理解してもらい、「人を傷つけること」や「犯罪に巻き込まれること」などがないような啓発に取り組む必要があると思われる。

インターネットの普及により、個人の名誉が毀損されたり、差別を助長するおそれのある表現が掲載されるほか、近年ではいわゆるリベンジポルノとされる画像が流出・拡散されるなど、その匿名性、情報発信の容易さを悪用した人権問題が特に青少年を中心に発生しています。この問題について、個人の名誉やプライバシー、インターネットを利用する際のルールやマナーに関する正しい理解を深めていくことが必要です。

【問 25】のあなたは、性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）や性同一性障がい（生物学的な性と心の性が一致しないこと）に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますかという質問について、「差別的な言動をされること」、「職場、学校等でいやがらせやいじめを受けること」と回答した人の割合が高くなっています。また、「わからない」と回答した人が 25.1%もあることから、言葉の意味についても正しく理解し、私たち一人ひとりが多様な性のあり方を理解する必要があります。今後は、職場や学校に対しての啓発や研修が求められていると思われます。

性的指向や性同一性障がいについては、根強い偏見があり、社会生活の様々な場面で人権問題が発生しています。この問題についての関心と理解を深めていくことが必要です。その他にも、社会の複雑化・高度化・情報化が進展したことにより、様々な問題が表面化し、人権問題は多様化しています。より豊かな社会を目指すためには、それまで配慮されてこなかった人権を守る活動を始める必要があります。

## 9 人権全般について

【問 26】の日本には、いろいろ古くから言い伝えや考え方がありますが、あなたのお考えに近いものはどれですかという質問について、「この考え方は正しいと思う」と回答した人の割合は減少傾向にあります。しかしながら、「おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない」と回答した人の割合が増加傾向にあり、今後もより一層の啓発活動が必要と思われる。

迷信や因習を「おかしい」と思っている、「世間体」を気にしたり、あまり深く考えずに迷信を信じている人たちの言うままに行動してしまうこともあります。そのような態度は、「差別はおかしい」と感じていながらもそれを容認してしまうことになりかねません。他人の意見や世間体ばかりにとらわれず、広い視野を持ち、自分自身で

考え判断することが大切です。

**【問 27】** のあなたは、最近（2、3年）ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますかという質問について、「差別をされた経験がない」と回答した人の割合は増加傾向にあり、これは啓発活動等の成果と考えられます。しかしながら、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」と回答した人の割合も増加しており、今後もより一層の啓発の推進が必要と思われます。

**【問 28】** の現在、大分県や豊後大野市では、さまざまな人権啓発活動を実施しています。あなたはこのような啓発活動についてどの程度参加したことがありますかという質問について、「参加したことはない」と回答した人の割合が増加しています。特に若い世代の参加が少なく参加者が固定化傾向にあるので、今後の取り組みの工夫が必要と思われます。

**【問 29】** のあなたが、人権問題の講演会や研修会に参加されたきっかけは何ですかという質問について、「各種行事や研修会の中に講演会が組み込まれていたのでは」や「勤務先の割り当てで」と回答した人の割合が、前回調査と同様に高くなっています。一方で「関心を持っているので自分から進んで」と回答した人の割合は前回調査と比較してわずかに増加しています。自ら進んで参加する人や知り合いの人に誘われて参加する人が増えるような取り組みが必要と思われます。

**【問 30】** の次のア～ウの項目について、あなたは見聞きしたことがありますかという質問について、「いつも読んでいる（見ている）」、「たまに読んでいる（見ている）」と回答した人の割合を合わせると、各項目とも前回調査よりも増加しています。市報や人権標語・ポスターは6割以上の人が見ており、人権啓発の有効な手段として今後も内容を工夫しながら活用していく必要があると思われます。

**【問 31】** の下記の中の人権問題で関心のあるものについていくつでも選んでくださいという質問について、「障がい者の人権」や「高齢者の人権」と回答した人の割合が高くなっていますが、その他の様々な人権についても関心を持っているようです。複雑で多様化した社会の中で、いろいろな違いを認め合い、お互いを尊重し、共生していける社会を築いていく必要があると思われます。

**【問 32】** のあなたは、人権のたいせつさを多くの人に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますかという質問について、「メディアを利用した啓発」や「講演会、シンポジウム、研修会」と回答した人の割合が高くなっています。この結果を基に、今後もより効果的な啓発を実施することが必要と思われます。

---

## 第 4 部

### 年代別自由回答集

---

# 年代別自由回答集

※ 人権施策・人権教育に関するご意見、ご要望を原文通りに掲載しています。

## 【20歳代】

### 女性

- 1 学校で人権についてよく勉強しました。今でも、差別やいじめがありますけど、いつかはなくなればいいなと思います。今度は、講演会などに参加できたらいいなと思います。改めて、アンケートに答えられてよかったと思いました。
- 2 子供の人権について、学校教師に対する教育が必要だと思う。子供の健康な精神の発達を阻害しないように心理学の知識が学校教師にも親にも必要だと思う。真面目で大人しくて聞き分けのいい子が「良い子」と一般的に思われています。本当はそんな子供ほど危険です。最近やっとTV番組やインターネットで正しい知識が広まってきましたが、まだ十分ではないと思います。子供を守るべき大人が子供の心の健康を害することのないように、傷つけることのないように子供達のがびのがびと育ち、真の思いやりを持った優秀な大人に成長し、様々な才能を発揮できる、そんな日本になることを願っています。

## 【30歳代】

### 男性

- 1 少し言い過ぎた意見も述べましたが、このアンケート調査は良い事だと思います。定期的にこのような調査をし、今後の人権問題対策に活用して下さい。若者の間では差別意識が少なくなっているような気がします。私の周りだけかもしれませんが。
- 2 人権、人権と叫ぶ人ほど、人権をふりかざしてやりたい放題。
- 3 市役所や図書館等に様々な人権問題に関する本や書籍を設置してほしい。

### 女性

- 1 高齢者がとても多く、買い物などを1人でしていると心配になる。子供や孫なども一緒に居れる様な環境を作ってほしい。
- 2 小学校1年生の内から人に対しての学習相手や人との関わり方を学ぶ事がとても大切だと思います。大人になってしまうと考え、思いを変えるのはむづかしい。
- 3 はっきり言って人権侵害や差別はなくならないと思います。ですが、人権侵害や差別をなくそうとする努力や学習は絶対に必要だと思います。いつか本当に差別のない世が来ますように。

## 【40歳代】

### 男性

- 1 アンケートもいいが、目に見える社会にしないといけない。
- 2 以前より減りましたが、役場窓口の対応が今ひとつの時があります。(感じの良い対応を希望します。)

## 女性

- 1 同和問題は小学校の頃、学校で学び初めて知りました。ですが、ずっと疑問でした。本当に必要なのかと言うことが。しかし、最近になって豊後大野市内でそれが原因で結婚を反対された人がいると言う話をきき、さらに、疑問が増えました。同和地区を知らない人たちにまで、同和教育をしてそういう地区がありますと教えるのもどうかと思うし、かといって、この時代にそんな理由で結婚できない人がいるというのも問題だと思うし、すごくむずかしいことだと思つづく思います。
- 2 高齢者の就職60才まで。働けるのに退職しなければならない方、日常生活で「する事が無い」とつぶやく一人暮らしで不安と聞く。日本はこれで安定？平和なのか、日本はこれでいいのか、未来の子供達乗り越え生活が出来るのか切実に感じます。
- 3 PTAや団体の役員などで人権学習へ参加する機会があり、いろんな会(内容)があるんだなと思って参加するたびに勉強になります。本当は差別がなくなり、人権学習が特別なものでなくなる、そんな社会ならもっといいのに…とも思う今日この頃です。
- 4 私は人権、特に部落差別については人権学習で初めて知った。知らなくて自然に接する方がよいこともあるのではないかと思う。又、部落差別をうけていると思っている方の考えをしりたい。(自分たちが被害者と過剰に反応しているように思うことがある。)
- 5 私は聴力障害があります。聴力や視覚障害者等は見た目では障害者と判断できない人もいますので、初対面の人に自分の障害についていつも説明します。聴力障害を表すマーク等ありますが、知らない人がほとんどです。障害者マークについて、たくさんの人が認識できる様になればと思います。
- 6 同和問題を取り上げるからいけないので、もういいかげんやめてほしい。取り上げなければ子供達も知らない。
- 7 このアンケートでは○をつけた番号のとおりいざ自分がその立場になったら本当に実行できるのかと聞かれたら正直、自信のない回答もあります。市の職員の方々がこれから行おうとしている事に少しでも協力できたらと思いますので、今まで以上に市報などに目を通していきたいと思います。特に交流会や意見交換のできる場所がもっと増えるといいかと思います。
- 8 転勤族としてひとこと。田舎は地域意識がとても強い。ヨソ者は習慣や慣習にうとく、悪気はないけど気付かない事が多い。自分達に出来る事はやるし、地域に迷惑をかけないよう努力もする。(認められる事はあまりないが)「人権教育」というが、年輩の方々の意識が変わらない限り、背中を追い育つ若者、子供達も変わらないと思われます。

## 【50歳代】

### 男性

- 1 解放会館(隣保館)の意義・存在を広める。
- 2 今はいろいろな人権問題があり、同和だけが人権問題でないことと思います。これからのようなことをすれば同和問題が解決できるのかを考えていく必要がある。特に若い人は同和問題に関心がないと思う。
- 3 悪人(差別者)は弱い為、いつも結託すると思う。周囲の善人の団結力が必要。「差別は悪い事」を悪人(差別者)に教えてやる事から。

- 4 固定資産税の通知書の宛名が、世帯主は実名だが、配偶者は「他1名」である。共有の財産だから共有名義で「他1名」もきちんと納税しているのに。(昔からの慣習だろうが。)このような表記ひとつにも人権意識があるとよいと思います。
- 5 今後とも一層の活動の向上を願います。

## 女性

- 1 大人になってからの人権についての理解、考え方をかえることはとても大変だと思います。きちんと子どもの頃から正しい考え方をできるような人権教育が必要だと思います。そのためには、大人自らが「人を大切にする心」をみがく必要があると思います。人権問題は、社会生活を営むための基礎です。決してあきらめず、きちんとした啓発活動を行政が責任を持って継続して下さい。
- 2 同和問題が、今であるの？と感じた。無関心が一番の問題と思えます。
- 3 差別をなくそうとする教育活動は大変良いことだし賛同しますが、市が行うことは部落差別にこだわりすぎているのではないかと思います(もちろん大切なこと歴史もわかりますが)が、今は子供、女性etc色々あります。又、高齢化社会の中、高齢者の人権について考え学び助け合う地域作りを重要と考えており、なかなか施設、地域までに広がりを見られないように思えてなりません。まずは、日本一の高齢者地域の活気あふれる町づくりを願う心豊かな人作りを！
- 4 人権差別あってはならない事と思いますが、色々な人がいますので、考え方を平等にすると言う事は困難だと思います。色々な家庭に生まれ人生の途中で色々な出来事がある分けですので、五体満足で意気がっていてもいつどこでどうなるのかが人生、高齢になり介護される側にいつどうなるかもわからない。障害も外見に見える障害と内面的な障害は違うけど、一応障害者手帳は発行されるが、癌の場合は部位によっては障害者扱いにはならない。そう言った点からでも行政自体が差別をしているのでは？と思う点もあります。精神病患者にしても色々ランクがあり全てを平等に差別をなくすのであれば、福祉補助も平等にと言う線引きも難しい事と思いますが、差別と区別の違いや人を思いやる分かち合い助け合える様に市民教育、人間教育をして頂ければと思います。又、弱者も病に負けず努力する精神力を身につけて欲しいですね。福祉に甘えず自助努力出来る人間教育を行政に望みます。
- 5 市の人権講座に何度も参加させていただいていますが講座の内容が毎年同じようで残念です。ご苦労されて検討されていることと思いますが、例えば部落差別に関する講座であれば、当事者(差別を受けた方のお話)の生の声をきく機会を設定したり、受講者の声(講座を受講した前と後の変化)を紹介したり、何が人権侵害なのかを正しく知るとりくみが足りないと感じています。知りたい、ききたいと思える魅力ある人権講座になるようご検討をおねがいたします。
- 6 関心のある人は講演会などに足を運ぶでしょうが、ほとんどの人は面倒に思うだろうし、情報を発信しても、気に留める事も無いでしょう。私自身はPTA関係で研修会などに参加して、人に対して気を付ける様心掛けていますが、理想と現実のギャップに(特に研修会の後は)強いストレスを感じます。年令が上がる程、教育も難しいと思うので、学校で子供たちやPTA保護者などの教育が有効だと思います。

## 【60歳代】

### 男性

- 1 ・女性の自治委員が少ない。・原子力発電所が国会や東京電力の本社のある関東圏内に無いのはおかしい。安全というなら関東圏内に作るべき。・被選挙権は不平等。年収別、職業別に枠をもうけるべきであり、試験を行い、能力的に無知な人は排除すべき。学習すれば可。・国会議員は、絶対に献金寄付を受けてはいけない。お金持ちよりの政治を行う為。
- 2 きっかけは何であれ、やさしさの連鎖、実意あるやさしさを受け、伝えると云う場、ふれあうキッカケ作りそれしか無いと思います。
- 3 研修を受けるまでは、同和については知らなかった。研修を受けたことにより、どこに部落があるか知った。何か複雑な気分です。研修を受けなければ良かったような気分です。それと、部落の方が高級車に乗り月10回程ゴルフに行っていることも知っています。何か、何か複雑です。これって心の底に差別心があるのでしょうか？部落差別についてはよく分かりません。部落より、子供、女子、障がい者等に対する人権啓発が良い気がするが・・・。
- 4 同和問題については「寝た子を起こす」論者なので、同和教育は止めてほしい。私が中学生の時、学校で知らされなかったら知らなかったかもしれない。50年前に一切の同和教育を止めたら今頃は無くなっていた。
- 5 市の取り組みに感謝しています。今後もガンバッテください。
- 6 人権問題は自治区単位で進めないとなかなか浸透しないと思う。
- 7 人権問題の講師が、本当に講師として立派な人間ですか？口だけのように思える。
- 8 自分がそのような立場だと毎日いやだと思う。いつも相手の事を思う心をやしなったら今、もっとも多い自殺などなくなるのではないのでしょうか。大切にして来た命のだいじさ、終身をむかえるまで永く生きられると思います。この事で予算を少しでも多くとってもよい。
- 9 豊後大野市は様々な人権問題について講演会や研修会を開催しており、積極的な取り組みをしているのではないかと考えております。今後の担当課の活躍を期待しております。
- 10 世の中なにかと言えば裁判にする。国も金、国民も金、取れるものなら何でも。国も役所も病院もあらゆる所でびくびく説明しては金を取る。それでも・・・。
- 11 非常にむづかしい設問でした。
- 12 人権問題に対する歴史的な背景等を学習するのは分かるが、あえて現在の子供等に教育するのはどうか？特に部落差別については、これからはむしろ障害者、高齢者の問題を多めに提供すべき。
- 13 小職自身は、余り差別を受けた経験がなく、障害者や子どもの人権については理解できるが、その他については、よく判らない。ワークショップ等での事例学習や参加体験を行うことが必要であろう。
- 14 差別する言葉、文字をなくしたい。

- 15 当豊後大野市の取り組みと全国の市町村の取り組みの違いはあるのかな？ 予算的なところもあるかと思うので、厳しく、やさしい市政に大変かと思いますが、お取組みをお願いします。

## 女性

- 1 いつまで同和の事が話題になるのか理解できません。
- 2 現在は人権は非常に尊重されていると思います。五感から入る報道で、私達子供のころよりずいぶん改善されていると思います。
- 3 日常生活において人権、人々の平等などは幼い頃からの語りかけ、教育などがやはり必要ではないでしょうか。映画や本などでうける事による幼い頃からの感動力や経験が心を動かすのではないかと思います。
- 4 一人一人の心の持ちようが大事。
- 5 人権のたいせつさは、まだ豊後大野市では良く伝達は出来ていないと思います。第一障害者の働く場所がない。みなさんが理解していないので障害者の気持ちがわからない。へんげんな目で見える人が多い三重町である。
- 6 親の虐待や学校でのいじめ等で、子供さんが自殺するニュースを見たり聞いたりするたびに、自分の身近な所でそんな事件はおきて欲しくないと思う今日この頃です。たぶん私は自分から動くタイプではないので、行政の皆さんの幅広い視点で、私達の治安、安全な暮らしのサポートをお願いします。
- 7 先日障害者の施設で十数名の多くの方々が殺害されました。そのことを考えたとき、障害者に対する考え方が正しくないことを強く感じました。教育をしても徹底できずに、犯人のような考えにおちいるのです。学校、社会、家庭で障害者も1人の尊い人間だということを話し合うべきだと思います。こんな考え方を記す私も障害者に助けられているということ。遺伝子の力は神の技で、誰もその一生を選べないのです。たまたまそんな生まれ方をしたことについて、もし自分だったらと考えることも大切です。みんな、この世の中で幸せに暮らせる条件を与えることが大切ではないでしょうか。神から与えられたいろいろな能力、容姿、家族を生かし合って生きること。それを幸福と思えるような教育が大切だと思います。
- 8 私は問31で⑫に丸を付けました。それ以外の方々は、それぞれが自分の意見をしっかり持っていれば何も他人が集まって話し合う事はないと思います。私はすべての方に、私対あなたという考えで接して生きて来たので、どなたも特別ではありません。体が不自由である友には出来る事をしてあげただけ。耳が聞こえない友に手話が出来なくてゴメンネとあやまるだけ。ヒフ病で誰も近づかない友とパンを半分こした事もある。「心」で友を選びました。又、彼女らも「心」で私を友にしてくれた。ただ問31の⑫方は、本当に手をさしのべたいと思う。上から目線で生きて行ける様に道をさしめしてあげたい。人は生まれた時からの悪人なんていない。何らかの力で弱い所を見つけこませた人も悪いけど、本気で生きて行くなら手をさしのべたい。その他の人々は家庭や学校で正しく教えてもらって下さい。ただ私が1種だけ差別して良いといわれれば、学校の先生はすべてキライです。親が貧しい生活しか出来ない事で小1～中3までずっと先生にいじめられました。名前は忘れたけど顔は忘れない。一生忘れない。許したくない。この様なアンケートをする事がもうおかしいヨ。自然にすべて自然に何かするべき役割が自然と廻って来ます。介護もしました。苦しい事もありました。でも自然に生きていけば何もわずらう事はないのです。これまとめて何をしたいんですか？いつか教えて下さい。

- 9 教育は家庭の内から始まるので、親が正しい知識を理解し手本(おとしよりや立場の低い人に対する接し方など)を示し続けて教えていけると良いと思います。
- 10 体調をこわし、家族に出来るだけ世話にならない様、努力する事に心がけています。
- 11 数年前の事です。全自治委員のプライバシーの侵害と思われるような資料が全戸に配布されたことがあります。当事者の思いはどうだったのか、他人には計りしれないこともあり、人権問題は思いやりの心を育てる道徳が基本となると思います。
- 12 人権問題など、いちばんむずかしいと思います。意見などあまりいえない自分がなさけないと思います。もっとずばっと言える自分になりたいと思います。
- 13 どんな障がいがあろうと、どこに生まれようと、人は皆、平等に生きる権利がある。決して差別があってはならない。同じ人間だもの。学校人権教育基本方針に改めて目を通しました。今後は研修会等積極的に参加して意識を改めたいと強く思ったところです。ありがとうございました。
- 14 家庭で人権についてどれだけ話題になるか又家の中でおきている小さな事(ことばづかい等)に気づき話題としているか等を知りたいです。あらためて何をするという事ではなく、毎日の生活の中で人権の大切さ等が学べる事が望ましいと思う。(家族の会話が必要では)
- 15 自分の身や身近に起きた時に、置き換えて考えられる様になれば、少しは差別もなくなるのではと思います。

## 【70歳以上】

### 男性

- 1 人権問題は今まで耳から入る情報が主で幾度となく参加して来ましたが、その知識が日常生活の中で100%活用され生きた知識となり得ているか正直に反省すれば自信が100%とは言えない不安さがあります。長年の生活習慣の中に息づいているような差別偏見を完全に除去する事は言うは易くなかなか困難な面があります。ここをどう教育して行くかです。1つは体験学習ではないか、しかし、これが又むずかしいなあと思っています。
- 2 現在すでに70才をこえた老人二人で住んでおりますが、これから先何が起こるかわかりません。不安ですが、出来るだけ毎日を楽しく過ごして行ける様に頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。
- 3 本市は他市町村より人権問題には以前から人種差別等についてかなり進んでいると思います。同和差別など余り差別々と事を大きくする必要はないと思います。社会的に人権思想等とり上げ啓発する方が良いのではと思います。
- 4 明るい人権教育、まいしんして行きたいと思います。
- 5 今更人権問題について変える事はない。
- 6 自分は先の太平洋戦争で頭を負傷し耳が難聴で人との会話が不自由で何回かき返すといやがらせを受ける事があります。差別はしてはいけません。戦傷病者手帳所持者です。
- 7 豊後大野市では、学校教育で良く人権教育がなされているので、このままつづけて行けば良いと思います。

- 8 人は人、自分は自分という社会になっている様な気がする。人権に関する意識が低く、外野席にいる自分を恥じています。
- 9 人権問題はあまり取り上げてほしくありません。

## 女性

- 1 あまり同和など言わない方が良いと思う。私は皆と同じように付き合う性格だから。
- 2 子供の時から学習を深めて行く。学校教育、地域での活動など具体的な場の研修会などの推進が必要ではないでしょうか。
- 3 高齢になると歩くこと、車に乗ること、不便、不自由になって参加したくてもできない。いろいろな出来事はテレビ、ラジオ、新聞などで知るしかない。残念なことは、近くの公民館などでの学習会に参加したいと思ってもついやめてしまう。意にそわない解答かと思いますがお許し下さい。
- 4 私も高齢者ですがまだ元気です。人権問題に関する事は勉強したいと思います。(認知症について)
- 5 アンケートを実施することが、理解促進の一步であり積極的な取り組みがうかがえます。一人一人の小さな一歩ですが、コツコツと地道に活動を継続してゆくことが大切に使われます。身の回りから意識改革を始めてみましょう。事務局のみなさんご苦労さまです。
- 6 今日、同和・人権問題関係なし。今、世界に問題おかしい。
- 7 人権の大切をポスターで教える。現在の小・中・高の学生に道徳教育の充実。
- 8 私の二男(48才)は生まれつき知的障害者で兄の結婚を何度も破談にされつらい思いをしてきました。同和の人達の心の痛みが良くわかります。早く人は皆平等である世の中でありたいと思います。
- 9 いやがらせを受けるが、相手をみる力を養うような笑いをそえた話しがあるといいなと思う。いい返せばおしまい。がまんする事も必要。人を見る目を養う事と思うがむずかしいです。
- 10 現在主人が障害者になって毎日呑みびりとした生活ですので、色々な勉強のため何か参加したいなあと思っています。
- 11 私は後期高齢者の一老女です。中傷で何十年間と差別をうけ悩み相談に数十回伺いましたが、一向に改善されず、一人でどんなに頑張っても権力に勝てません。教えてください・何か私が悪い事をしたのでしょうか。私は真っすぐに生きてまいりました。弱者の私に負担をかけ、人権は守られてるのでしょうか。苦悩しています。
- 12 同和問題の件ですが社会の人(世間)が、同和同和と言いすぎるのではないのでしょうか。私も子供の頃に父母から聞いたことがあります。父母から聞かずにいれば知らなかったのにと大人になって思いました。あまりさわぎすぎで知らないでよい子供にも知らされて行くのではないのでしょうか。そーっとしてあげたら、いつか無くなって消えて行くのではと思います。

- 13 個人的な思考では、豊後大野市に限らず(特に豊後大野市は)人権は普通の人より大切にされていると思う。このアンケートに付きしんげんに答えました。いいかげんにしないでこの結果を何かで公表して下さい。
- 14 人権と同和問題は一緒には考えられない。
- 15 男女平等のとらえ方がよくわからない。男性と女性は生まれながらにして、体の構成も違うし、どの点を平等と決めるのか理解にとまどうというかわかりません。大まかに男、女各々の役目的なものがあるのではないのでしょうか。女だからといって極たんに差別されたりするのはいけないとは思うけど“平等”はもともと無理なのではと考えます。各々で人権が尊重されるべきではないのでしょうか。
- 16 あまりしないで良い。
- 17 社会は一つになる様にならばいいと思います。

---

# 第 5 部

## 単 純 集 計 表

---

**豊後大野市人権問題に関する市民意識調査**  
( 単純集計表 )

問1 性別 (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男	224	39.9
2	女	326	58.1
	不明(無回答・無効)	11	2.0
	合計	561	100.0

問2 年齢 (7月1日現在の満年齢) (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	20歳代	26	4.6
2	30歳代	35	6.2
3	40歳代	57	10.2
4	50歳代	84	15.0
5	60歳代	153	27.3
6	70歳以上	194	34.6
	不明(無回答・無効)	12	2.1
	合計	561	100.0

問3 <1> 男女平等の実現状況(家庭では) (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男女平等が実現していると思う	263	46.9
2	やや女性に不利益だと思う	221	39.4
3	女性に不利益だと思う	59	10.5
	不明(無回答・無効)	18	3.2
	合計	561	100.0

問3 <2> 男女平等の実現状況(職場では) (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男女平等が実現していると思う	204	36.4
2	やや女性に不利益だと思う	215	38.3
3	女性に不利益だと思う	53	9.4
	不明(無回答・無効)	89	15.9
	合計	561	100.0

問3 <3> 男女平等の実現状況(地域生活では) (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男女平等が実現していると思う	246	43.9
2	やや女性に不利益だと思う	223	39.8
3	女性に不利益だと思う	71	12.7
	不明(無回答・無効)	21	3.7
	合計	561	100.1

問4 女性の人権上、問題があると思われること

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	職場における男女の給与等の差別待遇	304	54.2
2	家庭内における夫から妻に対する暴力・暴言など	207	36.9
3	地域や職場における性的いやがらせ	138	24.6
4	職場における上司からのいじめ	149	26.6
5	女性のヌード写真など掲載した雑誌・新聞や出会い系サイト、ネットポルノなどが氾らんしている	184	32.8
6	その他	49	8.7
	不明(無回答・無効)	117	20.9
	合計	1,148	

問5 ア 女性は結婚する方が幸せになれる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	96	17.1
2	そう思わない	58	10.3
3	いちがいにはいえない	322	57.4
4	わからない	29	5.2
	不明(無回答・無効)	56	10.0
	合計	561	100.0

問5 イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	62	11.1
2	そう思わない	198	35.3
3	いちがいにはいえない	222	39.6
4	わからない	17	3.0
	不明(無回答・無効)	62	11.1
	合計	561	100.1

問5 ウ 結婚したら、必ず子どもをもつべきである

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	153	27.3
2	そう思わない	86	15.3
3	いちがいにはいえない	242	43.1
4	わからない	22	3.9
	不明(無回答・無効)	58	10.3
	合計	561	99.9

問5 エ 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	164	29.2
2	そう思わない	101	18.0
3	いちがいにはいえない	224	39.9
4	わからない	19	3.4
	不明(無回答・無効)	53	9.4
	合計	561	99.9

問6 女性が社会のあらゆる分野で平等に活躍するために、早急に取り組んでほしいもの

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	男性を優先する社会通念、習慣、しきたりを改める	259	46.2
2	自治委員、審議会委員など各種委員に女性を登用する	170	30.3
3	女性が安定した職業につけるようにする	318	56.7
4	雇用や職場における昇格、昇進などの男女格差をなくす	271	48.3
5	保育所や介護サービスなどを充実させる	364	64.9
6	学校教育や生涯学習の場で男女平等についての学習を充実させる	166	29.6
7	男女を問わず家事・育児等ができる環境づくりをすすめる	419	74.7
8	その他	7	1.2
	不明(無回答・無効)	40	7.1
	合計	2,014	

問7 <1> 今の子どもがおかれている状況をどう感じているか(家庭の中では)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	幸せな生活を過ごしているように思う	153	27.3
2	だいたい幸せなように思う	262	46.7
3	あまり幸せではないように思う	42	7.5
4	幸せではないように思う	8	1.4
5	わからない	61	10.9
	不明(無回答・無効)	35	6.2
	合計	561	100.0

問7 <2> 今の子どもがおかれている状況をどう感じているか(学校の中では)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	幸せな生活を過ごしているように思う	103	18.4
2	だいたい幸せなように思う	244	43.5
3	あまり幸せではないように思う	48	8.6
4	幸せではないように思う	11	2.0
5	わからない	111	19.8
	不明(無回答・無効)	44	7.8
	合計	561	100.1

問8 子どもの人権上、問題があると思われるのはどのようなことか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	仲間はずれ・無視などいやがることをしたり、いじめをおこなうこと	410	73.1
2	いじめを見て見ぬふりをすること	342	61.0
3	学校で教師が体罰(たいばつ)をおこなうこと	79	14.1
4	家庭で親が虐待(ぎゃくたい)・体罰(たいばつ)をおこなうこと	289	51.5
5	進学・就職等の選択での子どもの意見を無視すること	135	24.1
6	多様な能力を評価せずに、学力評価を優先すること	255	45.5
7	テレビやテレビゲーム・マンガなどで殺人、暴力的な場面が多いこと	289	51.5
8	児童買春・児童売春・児童ポルノ等の対象となること	139	24.8
9	その他	13	2.3
10	わからない	31	5.5
	不明(無回答・無効)	37	6.6
	合計	2,019	

問9 近所の子どもが虐待(ぎゃくたい)を受けている事実を知った場合、どのような行動をとると思うか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	市役所や民生委員・児童委員などに連絡する	412	73.4
2	その子どもに事情を聞いてみる	158	28.2
3	その子どもの祖父母や親戚に連絡をする	160	28.5
4	その子どもの通う学校・幼稚園・保育所(園)などに連絡する	236	42.1
5	近所の人と相談する	210	37.4
6	警察に連絡する	196	34.9
7	そうしたことに、まったくかかわらない	14	2.5
8	その他	11	2.0
	不明(無回答・無効)	31	5.5
	合計	1,428	

問10 <1> 今の高齢者がおかれている状況をどう感じているか(家庭の中では)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	たいせつにされていると思う	113	20.1
2	だいたいたいせつにされていると思う	302	53.8
3	あまりたいせつにされていないと思う	71	12.7
4	たいせつにされていないと思う	8	1.4
5	わからない	41	7.3
	不明(無回答・無効)	26	4.6
	合計	561	99.9

問10 <2> 今の高齢者がおかれている状況をどう感じているか(社会の中では)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	たいせつにされていると思う	97	17.3
2	だいたいたいせつにされていると思う	305	54.4
3	あまりたいせつにされていないと思う	90	16.0
4	たいせつにされていないと思う	13	2.3
5	わからない	32	5.7
	不明(無回答・無効)	24	4.3
	合計	561	100.0

問11 高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えるか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	経済的に自立が困難なこと	377	67.2
2	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	178	31.7
3	悪徳商法や詐欺(さぎ)の被害者になることが多いこと	231	41.2
4	家庭内での生活においていやがらせや虐待(ぎゃくたい)を受けること	63	11.2
5	病院や施設において劣悪(れつあく)なあつかいや虐待(ぎゃくたい)を受けること	118	21.0
6	高齢者の意見や行動が尊重されないこと	146	26.0
7	一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やさまざまな不便があること	414	73.8
8	転居や施設入所などによる生活環境の変化に対する不安があること	246	43.9
9	その他	33	5.9
10	わからない	42	7.5
	不明(無回答・無効)	45	8.0
	合計	1,893	

問12<1> 今の障がい者の人権が保障されていると思うか(法律や制度の上では) (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	保障されていると思う	108	19.3
2	だいたい保障されていると思う	260	46.3
3	あまり保障されていないと思う	80	14.3
4	保障されていないように思う	20	3.6
5	わからない	62	11.1
	不明(無回答・無効)	31	5.5
	合計	561	100.1

問12<2> 今の障がい者の人権が保障されていると思うか(現実の日常生活では) (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	たいせつにされていると思う	79	14.1
2	だいたいたいせつにされていると思う	245	43.7
3	あまりたいせつにされていないと思う	110	19.6
4	たいせつにされていないと思う	20	3.6
5	わからない	77	13.7
	不明(無回答・無効)	30	5.3
	合計	561	100.0

問13 障がい者の人権上、問題があると思われるのはどのようなことか (MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	結婚問題で周囲が反対すること	224	39.9
2	就職・職場で不利なあつかいをする事	281	50.1
3	差別的な言動をすること	213	38.0
4	悪徳商法の被害者が多いこと	45	8.0
5	アパートなど住宅への入居が困難なこと	164	29.2
6	スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと	105	18.7
7	じろじろ見られたり避けられたりすること	206	36.7
8	人々の障がい者に対する理解が足りないこと	335	59.7
9	その他	21	3.7
10	わからない	53	9.4
	不明(無回答・無効)	47	8.4
	合計	1,694	

問14 職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思うか (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	賛成	140	25.0
2	どちらかといえば賛成	91	16.2
3	特に気にしない	268	47.8
4	反対	8	1.4
5	その他	16	2.9
	不明(無回答・無効)	38	6.8
	合計	561	100.1

問15 同和問題や被差別部落(同和地区)があることをはじめて知ったのは、どのよう  
にしてか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	祖父母・父母などから	93	16.6
2	近所の人から	24	4.3
3	学校の友達から	10	1.8
4	職場の同僚から	16	2.9
5	学校で教わった	138	24.6
6	講演会・研修会などで	57	10.2
7	県や市町村の広報紙で	28	5.0
8	テレビ・新聞・本・インターネットなどで	14	2.5
9	同和問題は知っているがきっかけは覚えていない	106	18.9
10	その他	11	2.0
11	同和問題を知らない	19	3.4
	不明(無回答・無効)	45	8.0
	合計	561	100.2

問16 同和問題(部落差別問題)が起こっている場面はどのようなときか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	進学するとき	19	3.4
2	就職するとき	104	18.5
3	友人関係を結ぶとき	54	9.6
4	結婚するとき	278	49.6
5	日常生活でのことばやしぐさ	45	8.0
6	その他の場合	11	2.0
7	部落差別はない	104	18.5
8	わからない	148	26.4
	不明(無回答・無効)	35	6.2
	合計	798	

問17 家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考  
えるか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	同和地区の人であろうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない	205	36.5
2	同和地区の人であることが気にはなるが、本人の意思を尊重し、反対はしない	143	25.5
3	反対はするが、本人の意思が強ければやむをえないと思う	75	13.4
4	絶対に反対する	8	1.4
5	わからない	96	17.1
	不明(無回答・無効)	34	6.1
	合計	561	100.0

問18 ア 差別差別と騒がないで、そっとしておけば、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	284	50.6
2	そう思わない	132	23.5
3	わからない	99	17.6
	不明(無回答・無効)	46	8.2
	合計	561	99.9

問18 イ 同和地区の人々が、安定した仕事に就き暮らしが良くなれば、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	194	34.6
2	そう思わない	152	27.1
3	わからない	149	26.6
	不明(無回答・無効)	66	11.8
	合計	561	100.1

問18 ウ 同和地区の人々が、もっと積極的に差別の不当性を訴えて、人々に働きかければ、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	59	10.5
2	そう思わない	268	47.8
3	わからない	161	28.7
	不明(無回答・無効)	73	13.0
	合計	561	100.0

問18 エ 私たちが、もっと人権意識にめざめ、差別を許さない態度と行動力を身につければ、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	261	46.5
2	そう思わない	97	17.3
3	わからない	138	24.6
	不明(無回答・無効)	65	11.6
	合計	561	100.0

問18 オ 同和地区の人々が、分散して住むようにすれば、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	55	9.8
2	そう思わない	243	43.3
3	わからない	194	34.6
	不明(無回答・無効)	69	12.3
	合計	561	100.0

問18 カ 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、まちづくりを進めれば、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	229	40.8
2	そう思わない	97	17.3
3	わからない	172	30.7
	不明(無回答・無効)	63	11.2
	合計	561	100.0

問18 キ 法律で差別を禁止すれば、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	57	10.2
2	そう思わない	268	47.8
3	わからない	166	29.6
	不明(無回答・無効)	70	12.5
	合計	561	100.1

問18 ク 同和問題の学習や研修の機会を増やせば、差別はなくなる

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	137	24.4
2	そう思わない	184	32.8
3	わからない	174	31.0
	不明(無回答・無効)	66	11.8
	合計	561	100.0

問19 学校で「人権・同和教育」が行われていますが、どのような考えか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	人権・同和教育を通じてあらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う	324	57.8
2	人権・同和教育より国語や算数などの教科の指導に力を入れる方がよいと思う	22	3.9
3	人権・同和教育をする必要はない	51	9.1
4	人権・同和教育がどんな教育か、よく知らない	96	17.1
5	その他	20	3.6
	不明(無回答・無効)	48	8.6
	合計	561	100.1

問20 日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることを、どう思うか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	日本の国際化のため必要、歓迎すべきである	223	39.8
2	交流は望ましいが、治安や社会環境の悪化を心配する	272	48.5
3	外国人との交流は必要ない	2	0.4
4	わからない	37	6.6
	不明(無回答・無効)	27	4.8
	合計	561	100.1

問21 ア 文化・習慣の違いを理解する

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	454	80.9
2	そう思わない	18	3.2
3	わからない	39	7.0
	不明(無回答・無効)	50	8.9
	合計	561	100.0

問21 イ 交流が活発になるように、法律や制度を見直す

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	163	29.1
2	そう思わない	134	23.9
3	わからない	191	34.0
	不明(無回答・無効)	73	13.0
	合計	561	100.0

問21 ウ 国際理解教育をすすめる(国際交流員や青年海外協力隊員から世界の  
実情を学ぶ)

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	そう思う	321	57.2
2	そう思わない	30	5.3
3	わからない	140	25.0
	不明(無回答・無効)	70	12.5
	合計	561	100.0

問22 職場や地域でハンセン病の元患者がいるとわかったら、どうするか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何かできることがあれば支援する	65	11.6
2	いままでどおり、普通に接する	352	62.7
3	なるべく関わりたくない	12	2.1
4	わからない	65	11.6
5	ハンセン病を知らない	37	6.6
	不明(無回答・無効)	30	5.3
	合計	561	99.9

問23 友人がHIV(エイズウイルス)感染者と知った場合、どんな接し方をするか

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何かできることがあれば支援する	85	15.2
2	いままでどおり、普通に接する	317	56.5
3	なるべく関わりたくない	39	7.0
4	わからない	83	14.8
5	HIV(エイズウイルス)を知らない	6	1.1
	不明(無回答・無効)	31	5.5
	合計	561	100.1

問24 インターネットによる人権侵害に関することで、現在、どのような人権問題があると思うか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	他人を誹謗(ひぼう)・中傷(ちゆうしょう)する表現を掲載されること	367	65.4
2	他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような情報が掲載されること	240	42.8
3	出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	269	48.0
4	捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	128	22.8
5	ネットポルノが存在していること	164	29.2
6	プライバシーに関する情報が掲載されること	290	51.7
7	その他	8	1.4
8	特にない	25	4.5
9	わからない	75	13.4
	不明(無回答・無効)	32	5.7
	合計	1,598	

問25 性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)や性同一性障がい(生物学的な性と心の性が一致しないこと)に関することで、現在、どのような人権問題があると思うか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	職場、学校等でいやがらせやいじめを受けること	220	39.2
2	差別的な言動をされること	237	42.2
3	就職・職場で不利なあつかいを受けること	181	32.3
4	アパート等の入居を拒否されること	87	15.5
5	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	62	11.1
6	じろじろ見られたり、避けられたりすること	177	31.6
7	その他	10	1.8
8	特にない	50	8.9
9	わからない	141	25.1
	不明(無回答・無効)	46	8.2
	合計	1,211	

問26 ア 結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	この考え方は正しいと思う	105	18.7
2	おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない	230	41.0
3	この考え方は間違っていると思う	166	29.6
	不明(無回答・無効)	60	10.7
	合計	561	100.0

問26 イ 葬式を「友引」の日にしてはならないという考え方

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	この考え方は正しいと思う	142	25.3
2	おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない	219	39.0
3	この考え方は間違っていると思う	137	24.4
	不明(無回答・無効)	63	11.2
	合計	561	99.9

問26 ウ 家を建てるときに、方角がよいとかよくないとかいう考え方 (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	この考え方は正しいと思う	223	39.8
2	おかしいと思うが自分だけ反対しても仕方がない	189	33.7
3	この考え方は間違っていると思う	84	15.0
	不明(無回答・無効)	65	11.6
	合計	561	100.1

問27 最近(2、3年)ご自分の人権が侵害されたと思ったことがあるか (MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	あらぬ噂(うわさ)、他人からの悪口、かげ口	109	19.4
2	名誉・信用の毀損(きそん)	27	4.8
3	悪臭・騒音などの公害による生活妨害	36	6.4
4	差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分などにより、不平等または不利益な取りあつかいをされた)	35	6.2
5	暴力や強要、強制(本来しなくてもいいことを無理やりさせられたり、権利の行使を妨害された)	12	2.1
6	使用者による労働強制などの不当な待遇	17	3.0
7	プライバシーの侵害	41	7.3
8	その他	19	3.4
9	差別をされた経験がない	301	53.7
	不明(無回答・無効)	79	14.1
	合計	676	

問28 ア 講演会、研修会、シンポジウム(討論会) (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何回も参加したことがある	103	18.4
2	1・2回参加したことがある	131	23.4
3	参加したことはない	281	50.1
	不明(無回答・無効)	46	8.2
	合計	561	100.1

問28 イ 街頭におけるチラシ等の配布や人権標語等の応募 (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何回も参加したことがある	17	3.0
2	1・2回参加したことがある	61	10.9
3	参加したことはない	407	72.5
	不明(無回答・無効)	76	13.5
	合計	561	99.9

問28 ウ 車イス体験やグループ学習等の参加・体験型の学習 (SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	何回も参加したことがある	26	4.6
2	1・2回参加したことがある	80	14.3
3	参加したことはない	379	67.6
	不明(無回答・無効)	76	13.5
	合計	561	100.0

問29 人権問題の講演会や研修会に参加されたきっかけは

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	関心を持っているので自分から進んで	61	10.9
2	勤務先の割り当てで	100	17.8
3	自分が団体などの役員をしているので	59	10.5
4	知り合いの人に誘われたので	44	7.8
5	各種行事(PTAの会合や子どもの授業参観)や研修会の中に講演会が組み込まれていたため	130	23.2
6	人権や平和活動についてのNPO・NGOに参加しているため	0	0.0
7	その他	13	2.3
8	参加したことがない	207	36.9
	不明(無回答・無効)	93	16.6
	合計	707	

問30 ア 人権啓発冊子や「市報ぶんごおおの」掲載の人権啓発・情報に関する記事

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	いつも読んでいる(見ている)	129	23.0
2	たまに読んでいる(見ている)	245	43.7
3	読んでいない(見ていない)	135	24.1
	不明(無回答・無効)	52	9.3
	合計	561	100.1

問30 イ 人権標語・人権ポスター

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	いつも読んでいる(見ている)	118	21.0
2	たまに読んでいる(見ている)	273	48.7
3	読んでいない(見ていない)	106	18.9
	不明(無回答・無効)	64	11.4
	合計	561	100.0

問30 ウ 豊後大野市ホームページの人権推進同和対策課お知らせコーナー

(SA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	いつも読んでいる(見ている)	44	7.8
2	たまに読んでいる(見ている)	129	23.0
3	読んでいない(見ていない)	318	56.7
	不明(無回答・無効)	70	12.5
	合計	561	100.0

問31 人権問題で関心のあるものは

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	女性の人権	198	35.3
2	子どもの人権	200	35.7
3	高齢者の人権	246	43.9
4	障がい者の人権	249	44.4
5	同和問題(部落差別問題)	103	18.4
6	外国人の人権【レイシズム(人種差別)、ヘイトクライム(人種等を理由とする犯罪)、ヘイトスピーチ(特定の民族や国籍の人々に対する差別的言動)等】	69	12.3
7	医療をめぐる人権【ハンセン病、HIV(エイズウイルス)等】	82	14.6
8	インターネット社会の人権問題	136	24.2
9	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)、性同一性障がいの人々の人権	47	8.4
10	プライバシーの保護	186	33.2
11	犯罪被害者やその家族の人権	112	20.0
12	刑を終えて出所した人に対する偏見や差別	69	12.3
13	その他	7	1.2
14	関心がない	59	10.5
	不明(無回答・無効)	42	7.5
	合計	1,805	

問32 人権のたいせつさを多くの人々に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思うか

(MA)

No.	カテゴリ	件数	割合
1	講演会、シンポジウム、研修会	241	43.0
2	ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型学習等)	85	15.2
3	展示会(資料、写真等)	55	9.8
4	広報紙、パンフレット、ポスター	170	30.3
5	テレビ、ラジオ、映画、ビデオ、新聞、雑誌、インターネット等を利用した啓発	264	47.1
6	高齢化や障がいの体験学習	106	18.9
7	高齢者、障がい者、外国人等との交流会	99	17.6
8	自由な意見の交換ができる会合	135	24.1
9	その他	11	2.0
10	特になし	42	7.5
11	わからない	53	9.4
	不明(無回答・無効)	36	6.4
	合計	1,297	

---

## 第 6 部

### 参 考 资 料

---

# 人権問題 に関する 市民意識調査

## 調査へのご協力のお願い

豊後大野市政の推進につきましては、日頃からご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、豊後大野市では、市民のみなさんの人権が尊重され、差別や偏見のない住みよい社会をつくるため様々な取り組みを行っていますが、定期的に人権問題に関するご意見を調査し、その結果を今後の施策に役立てさせていただいております。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。  
回答は、**8月31日までに裏面の要領によりご返答ください。**



大分県人権啓発イメージキャラクター  
こころちゃん

豊後大野市

# 人権問題に関する市民意識調査

平成 28 年 8 月

## ■調査のお願い

1. この調査は、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえでの基礎資料として活用するため、市民のみなさまに、人権問題についてのお考えをお聞きするものです。
2. この調査は、市民のみなさんの中から、無作為に 1,200 名の方を選び、調査票をお送りしています。
3. 無記名でお答えいただき、結果は統計的に処理しますので、個人の回答内容が外部に漏れたり、あなた自身にご迷惑をかけることはいっさいありません。
4. この調査は、個人の秘密を厳守し上記目的以外に使用することはありません。

## ■記入上の注意

1. あて名の方ご本人のお考えや、感じておられることをお気軽にお答えください。
2. お答えは、ボールペンや鉛筆などで、あてはまるものの番号に、○印をつけてください。
3. ご記入いただきました調査票については、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成 28 年 8 月 31 日までに近くのポストにご投函ください。

(注) 文字が小さい、読みづらい場合は、拡大版調査票をお渡ししますのでご連絡ください。

この調査に関するご質問などは、下記までお願いします。

豊後大野市 人権推進同和対策課 人権推進同和対策係

〒879-7198

豊後大野市三重町市場 1 2 0 0 番地

電 話 0974-22-1001 (内線 2492)

F A X 0974-22-3361



問4 女性の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から3つ選んでください。

1. 職場における男女の給与等の差別待遇
2. 家庭内における夫から妻に対する暴力・暴言など
3. 地域や職場における性的いやがらせ
4. 職場における上司からのいじめ
5. 女性のヌード写真など掲載した雑誌・新聞や出会い系サイト、ネットポルノなどが氾らんしている
6. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）

問5 結婚、家庭、出産、子育てについて、あなたのお考えに近いのはどれでしょうか。アからエについて、1から4のあてはまる番号を1つ選んでください。

	そう思う	そう思わない	えい ないが いい には いい	わ か ら な い
ア 女性は結婚する方が幸せになれる	1	2	3	4
イ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4
ウ 結婚したら、必ず子どもをもつべきである	1	2	3	4
エ 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである	1	2	3	4

問6 あなたは、今後、女性が社会のあらゆる分野で平等に活躍するために、早急に取り組んでほしいものは何ですか。次の中から4つ選んでください。

1. 男性を優先する社会通念、習慣、しきたりを改める
2. 自治委員、審議会委員など各種委員に女性を登用する
3. 女性が安定した職業につけるようにする
4. 雇用や職場における昇格、昇進などの男女格差をなくす
5. 保育所や介護サービスなどを充実させる
6. 学校教育や生涯学習の場で男女平等についての学習を充実させる
7. 男女を問わず家事・育児等ができる環境づくりをすすめる
8. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）

☆ 次は、子どもの人権についておたずねします

問7 今の子どもがおかれている状況をどう感じているか、お答えください。〈1〉・〈2〉  
それぞれ1つずつ選んでください。

〈1〉 家庭の中では、どうだと思いますか。

1. 幸せな生活を過ごしているように思う
2. だいたい幸せなように思う
3. あまり幸せではないように思う
4. 幸せではないように思う
5. わからない

〈2〉 学校の中では、どうだと思いますか。

1. 幸せな生活を過ごしているように思う
2. だいたい幸せなように思う
3. あまり幸せではないように思う
4. 幸せではないように思う
5. わからない

問8 子どもの人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から  
4つ選んでください。

1. 仲間はずれ・無視などいやがることをしたり、いじめをおこなうこと
2. いじめを見て見ぬふりをすること
3. 学校で教師が体罰（たいばつ）をおこなうこと
4. 家庭で親が虐待（ぎゃくたい）・体罰（たいばつ）をおこなうこと
5. 進学・就職等の選択での子どもの意見を無視すること
6. 多様な能力を評価せずに、学力評価を優先すること
7. テレビやテレビゲーム・マンガなどで殺人、暴力的な場面が多いこと
8. 児童買春・児童売春・児童ポルノ等の対象となること
9. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）
10. わからない



問11 高齢者が生活していく上で、どのようなことが不便・支障と考えますか。次の中から4つ選んでください。

1. 経済的に自立が困難なこと
2. 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
3. 悪徳商法や詐欺（さぎ）の被害者になることが多いこと
4. 家庭内での生活においていやがらせや虐待（ぎゃくたい）を受けること
5. 病院や施設において劣悪（れつあく）なあつかいや虐待（ぎゃくたい）を受けること
6. 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
7. 一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やさまざまな不便があること
8. 転居や施設入所などによる生活環境の変化に対する不安があること
9. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）
10. わからない

☆ 障がい者の人権についておたずねします

問12 今の障がい者の人権が保障されていると思いますか。〈1〉・〈2〉それぞれ1つずつ選んでください。

〈1〉 法律や制度の上では、どうだと思いますか。

1. 保障されていると思う
2. だいたい保障されていると思う
3. あまり保障されていないと思う
4. 保障されていないように思う
5. わからない

〈2〉 現実の日常生活では、どうだと思いますか。

1. たいせつにされていると思う
2. だいたいたいせつにされていると思う
3. あまりたいせつにされていないと思う
4. たいせつにされていないと思う
5. わからない

問13 あなたは、障がい者の人権上、問題があると思われるのはどのようなことですか。 いくつでも選んでください。

1. 結婚問題で周囲が反対すること
2. 就職・職場で不利なあつかいをする事
3. 差別的な言動をすること
4. 悪徳商法の被害者が多いこと
5. アパートなど住宅への入居が困難なこと
6. スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと
7. じろじろ見られたり避けられたりすること
8. 人々の障がい者に対する理解が足りないこと
9. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）
10. わからない

問14 もし、あなたが、職場で障がい者と一緒に働くとしたら、どのように思いますか。次の中から 1つ選んでください。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. 特に気にしない
4. 反対
5. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）

☆ 同和問題（部落差別問題）についておたずねします

問15 あなたが同和問題や被差別部落（同和地区）があることをはじめて知ったのは、どのようにしてですか。 1つ選んでください。

1. 祖父母・父母などから
2. 近所の人から
3. 学校の友達から
4. 職場の同僚から
5. 学校で教わった
6. 講演会・研修会などで
7. 県や市町村の広報誌で
8. テレビ・新聞・本・インターネットなどで
9. 同和問題は知っているがきっかけは覚えていない
10. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）
11. 同和問題を知らない

問16 現在、同和問題（部落差別問題）が起こっている場面はどのようなときでしょうか。いくつでも選んでください。

1. 進学するとき
2. 就職するとき
3. 友人関係を結ぶとき
4. 結婚するとき
5. 日常生活でのことばやしぐさ
6. その他の場合（ )
7. 部落差別はない
8. わからない

問17 あなたの家族の一人が同和地区出身の人と結婚するという話があったときにどう考えるでしょうか。次の中から1つ選んでください。

1. 同和地区の人であろうとなかろうと関係はない、そのことで反対はしない
2. 同和地区の人であることが気にはなるが、本人の意思を尊重し、反対はしない
3. 反対はするが、本人の意思が強ければやむをえないと思う
4. 絶対に反対する
5. わからない

問18 同和問題（部落差別問題）をなくす方法について、次のア～クのような意見があります。あなたはどう思いますか。それぞれについて、次の1から3のあてはまる番号を1つ選んでください。

	そう思う	そう思わない	わからない
ア 差別差別と騒がないで、そっとしておけば、差別はなくなる	1	2	3
イ 同和地区の人々が、安定した仕事に就き暮らしが良くなれば、差別はなくなる	1	2	3
ウ 同和地区の人々が、もっと積極的に差別の不当性を訴えて、人々に働きかければ、差別はなくなる	1	2	3
エ 私たちが、もっと人権意識にめざめ、差別を許さない態度と行動力を身につければ、差別はなくなる	1	2	3
オ 同和地区の人々が、分散して住むようにすれば、差別はなくなる	1	2	3
カ 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、まちづくりを進めれば、差別はなくなる	1	2	3
キ 法律で差別を禁止すれば、差別はなくなる	1	2	3
ク 同和問題の学習や研修の機会を増やせば、差別はなくなる	1	2	3

問19 豊後大野市では、学校で「人権・同和教育」が行われていますが、あなたはどのようなお考えですか。次の中から1つ選んでください。

1. 人権・同和教育を通じてあらゆる差別をなくす教育が行われており、よいことだと思う
2. 人権・同和教育より国語や算数などの教科の指導に力を入れる方がよいと思う
3. 人権・同和教育をする必要はない
4. 人権・同和教育がどんな教育か、よく知らない
5. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）

☆ その他の人権問題についておたずねします

問20 日本の国際化が進む中、外国人との交流が盛んになることを、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 日本の国際化のため必要、歓迎すべきである
2. 交流は望ましいが、治安や社会環境の悪化を心配する
3. 外国人との交流は必要ない
4. わからない

問21 日本に住む外国人の人権を守るために次のような意見がありますが、あなたはどのように思いますか。それぞれについて、次の1から3の中からあてはまる番号を1つ選んでください。

	そう思う	そう思わない	わからない
ア 文化・習慣の違いを理解する	1	2	3
イ 交流が活発になるように、法律や制度を見直す	1	2	3
ウ 国際理解教育をすすめる（国際交流員や青年海外協力隊員から世界の実情を学ぶ）	1	2	3



問25 あなたは、性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）や性同一性障がい（生物学的な性と心の性が一致しないこと）に関する事で、現在、どのような人権問題があると思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

1. 職場、学校等でいやがらせやいじめを受けること
2. 差別的な言動をされること
3. 就職・職場で不利なあつかいを受けること
4. アパート等の入居を拒否されること
5. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
6. じろじろ見られたり、避けられたりすること
7. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）
8. 特にない
9. わからない

☆ 人権問題全般についておたずねします

問26 日本には、いろいろ古くから言い伝えや考え方がありますが、あなたのお考えに近いものはどれですか。  
次のア～ウについてあてはまる番号を1つ選んでください。

	この考え方は正しい	自分だけが正しいと思ってしまう	この考え方は間違っている
ア 結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方	1	2	3
イ 葬式を「友引」の日にはならないという考え方	1	2	3
ウ 家を建てるときに、方角がよいとかよくないとかいう考え方	1	2	3

問27 あなたは、最近（2、3年）ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。いくつでも選んでください。

1. あらぬ噂（うわさ）、他人からの悪口、かげ口
2. 名誉・信用の毀損（きそん）
3. 悪臭・騒音などの公害による生活妨害
4. 差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分などにより、不平等または不利益な取りあつかいをされた）
5. 暴力や強要、強制（本来しなくてもいいことを無理やりさせられたり、権利の行使を妨害された）
6. 使用者による労働強制などの不当な待遇
7. プライバシーの侵害
8. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）
9. 差別をされた経験がない

問28 現在、大分県や豊後大野市では、さまざまな人権啓発活動を実施しています。あなたはこのような啓発活動についてどの程度参加したことがありますか。次のア～ウについてあてはまる番号を1つ選んでください。

	が何回も参加したことがある	1・2回参加したことがある	参加したことはない
ア 講演会、研修会、シンポジウム(討論会)	1	2	3
イ 街頭におけるチラシ等の配布や人権標語等の応募	1	2	3
ウ 車イス体験やグループ学習等の参加・体験型の学習	1	2	3

問29 あなたが、人権問題の講演会や研修会に参加されたきっかけは何ですか。次の中にあてはまるものがあつたら、いくつでも選んでください。

1. 関心を持っているので自分から進んで
2. 勤務先の割り当てで
3. 自分が団体などの役員をしているので
4. 知り合いの人に誘われたので
5. 各種行事（PTAの会合や子どもの授業参観）や研修会の中に講演会が組み込まれていたため
6. 人権や平和活動についてのNPO・NGOに参加しているため
7. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）
8. 参加したことがない

問30 次のア～ウの項目について、あなたは見聞きしたことがありますか。  
それぞれについて、次の1から3の中からあてはまる番号を1つ選んでください。

	いつも読んでいる (見ている)	たまに読んでいる (見ている)	読んでいない (見えない)
ア 人権啓発冊子や「市報ぶんごおおの」掲載の人権啓発・情報に関する記事	1	2	3
イ 人権標語・人権ポスター	1	2	3
ウ 豊後大野市ホームページの人権推進同和対策課お知らせコーナー	1	2	3

問31 下記の中の人権問題で関心のあるものについていくつでも選んでください。

1. 女性の人権
2. 子どもの人権
3. 高齢者の人権
4. 障がい者の人権
5. 同和問題（部落差別問題）
6. 外国人の人権  
レイシズム（人種差別）、ヘイトクライム（人種等を理由とする犯罪）  
ヘイトスピーチ（特定の民族や国籍の人々に対する差別的言動）等
7. 医療をめぐる人権【ハンセン病、HIV（エイズウイルス）等】
8. インターネット社会の人権問題
9. 性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）、性同一性障がいの人々の人権
10. プライバシーの保護
11. 犯罪被害者やその家族の人権
12. 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別
13. その他（具体的に記入してください：\_\_\_\_\_）
14. 関心がない



人権問題に関する市民意識調査  
【 報 告 書 】

平成29（2017）年3月

---

編集・発行 豊後大野市 人権推進同和対策課  
〒879-7198 豊後大野市三重町市場1200番地  
TEL 0974-22-1001 FAX 0974-22-3361

---